

第九十回帝國議會 院 勞働關係調整法案委員會會議錄(速記)第八回

付託議案

勞働關係調整法案(政府提出)

昭和二十一年八月二日(金曜日)午前十時四十二分開議

出席委員

委員長 逢澤 寛君

理事 江崎 眞澄君 理事 龍澤 脩作君

理事 竹田 儀一君 理事 岡部 得三君

理事 古賀喜太郎君

今井 はつ君 花月 純誠君

原 侑君 村上 勇君

山田 善三君 川崎 秀二君

關谷 勝利君 赤松 勇君

辻井民之助君 土井 直作君

山下 榮二君 東 隆君

木下 榮君 藤井 正男君

中野 四郎君

八月一日委員安平鹿一君辭任ニ付其ノ補闕トシテ中原健次君ヲ議長ニ於テ選定シタ

出席國務大臣

內務大臣 大村 清一君

文部大臣 田中耕太郎君

商工大臣 星島 二郎君

厚生大臣 河合 良成君

運輸大臣 平塚常次郎君

國務大臣 膳 桂之助君

出席政府委員

司法事務官 岡田 善一君

厚生事務官 吉武 惠市君

厚生事務官 富樫 總一君

運輸事務官 加賀山之雄君

本日ノ會議ニ付シタ議案

勞働關係調整法案(政府提出)

○逢澤委員長 是ヨリ會議ヲ始メマス、前日ニ引續キマシテ質問ヲ保留シテ居リマス赤松勇君ニ之ヲ許シマス——赤松君

○赤松委員 前日ニ引續キマシテ膳國務大臣ニ政府ノ所信ヲ御尋ネシタイト思フノデアリマス、先ヅ最初ニ御尋ネシタイコトハ終戰以來聯合國、就中「アメリカ」ノ日本ノ民主化ニ對スル絶大ナル理解ト援助ハ、我々勞働階級ト致シマシテハ全ク深甚ノ謝意ヲ表スルノデアリマス、最近「アチソ」聲明ヲ契機ト致シマシテ、一般ニ恰モ「マ」司令部ハ日本ノ勞働運動ノ民主化ニ一ツノ桿ヲ振メルカノ如キ疑懼ヲ持チ、或ハソレヲ嚙スル者モアルノデアリマスケレドモ、私共ノ「マ」司令部ニ對スル心カラナル信賴ト感謝ノ念ハサウ云フ巷ノ噂ニ對シマシテ聊カモ變ル所ハナイノデアリマス、政府ハ屢々本勞調法ハ「マ」司令部トノ基本的諒解ノ下ニ提案サレタノデアルト云フコトヲ言ツテ居ルノデアリマスガ、一體基本的ナ諒解トハ何ヲ意味スルノデアルカ、其ノ内容ニ付キマシテ御尋ネシタ

イト思フノデアリマス

○吉武政府委員 只今ノ赤松君ノ御尋ネデアリマスガ、勞調法ニ付キマシテハ、實ハ「マ」司令部ノ方トモ事前ニ打合セラシタト云フコトダケデゴザイマス、左様御諒承願ヒマス

○赤松委員 事前ニ打合セラシタト云フコトハ即チ「マ」司令部ノ積極的ナ意圖ガ強ク表明サレテ居ルト解釋シテ宜シイデセウカ

○吉武政府委員 今ノ赤松委員ノ言ハレル何レトモ私共ハ申上ゲ兼ネルノデアリマスガ、併シ内容ニ付キマシテハ勞働顧問ガ十數名來ラレテ居リマシテ色々指導ヲ受ケテ居ツタノデアリマス、積極的ニドウデアツタカト云フ點ニ付キマシテハ私共トシテ申上ゲ兼ネルノデアリマス

○赤松委員 十數名ノ顧問ガ來ラレテ政府ノ申入レヲ諒解シタノダト云フ御話デアリマスガ、私ノ聞ク所ニ依リマスレバ、「マ」司令部ガ責任アル政府ニ對スル諒解事項或ハ指示事項ヲ致シマス場合ニハ、我々日本人ノヤウニ單ニ口先ダケデ言フヤウナコトハ考ヘラレナイ、隨ヒマシテサウ云フ場合ニ例ヘバ口先ダケデ打合セガ出來タト云フコトハ是ハ其ノ顧問個々ノ主觀的意圖デアリマシテ、「マ」

司令部ソレ自身ノ支配的見解デアルト云フ風ニハ我々ニハ取レナイノデアリマス、若シモサウ云フ打合セテ諒解シタト云フコトノ支配的ナ見解デアラナラバ、當然ソレニ對スル「ステートメント」公文書ヲ以テ意思表示ヲサレテ居ルト思ヒマスカラ、其ノ「ステートメント」ヲ御發表願ヒタイト思ヒマス

○吉武政府委員 司令部トノ關係ニ付キマシテハ、正式ニ書面ニ依ツテ指示ノアル場合モアリマスシ或ハ又口頭デ指示ノアル場合モアリ、其ノ點ニ付キマシテハ一定ノ形式ノミデハナイノデアリマス、書面デハ別ニ載イテ居リマセヌト云フコトハ畢竟スルニ「マ」司令部ノ個々ノ顧問ノ主觀的ナ打合セニ過ギナイト思フ、隨ヒマシテ私共ト致シマシテハ、勞調法ニ關シマシテハ政府ノ自主的見解ノ下ニ提案ガナサレ、ソレヲ受動的ニ諒解スルト云フノデハナクテ、唯政府ノ自主性ヲ尊重シテ「マ」司令部ハ其ノ成行ヲ見テ居ルト云フ風ニ諒解シテ宜イト存ジマス、尙ホソレデ質問ヲ打切りマシテ、續イテ膳國務大臣ニ御尋ネシテ見タイト思フノデアリマスガ、「アチソ」聲明ハ御承知ノ如ク一部少

數ノ暴力的ナ或ハ破壊的ナ大衆運動指導ニ對スル警告デアリマシテ是レ亦當然ノ警告デアルト私達ハ了承スルノデアリマス、先日モ委員會ニ於キマシテ私ハ續々申上ゲマシタ如ク、我ガ國ノ勞働運動ニハ暴力的ナ或ハ破壊的ナ大衆運動指導ノ支配的ナ傾向ト云フモノハ全然見受ケラレナイノデアリマス、隨ヒマシテ私共ノ現在展開シテ居リマス勞働運動ト云フモノハ、勞働組合法ニ規定セラレテ居リマスル所ノ團結體、罷業權ノ正當ナル行使ヲ妨ゲテ居ルモノデハナイ、即チ團結體、罷業權ノ正當ナル行使ノ線ニ沿ツテ展開シテ居ルト思フノデアリマス、隨ヒマシテ此ノ勞調法ガ本委員會ヲ通過シ更ニ議會ヲ通過致シマスル時ニ、之ニ關聯シテ日本ノ勞働階級ガ勞調法反對ノ「ゼネスト」ヲ敢行致シマスル際ニ、當然團結體、罷業權ハ認メラレテ居ルノデアリマスガ故ニ、之ニ對シマシテ政府ハ如何ナル態度ヲ以テ御臨ミニナルノデアルカ、飽クマデモ勞調法ヲサウ云フ社會的ナ危機ノ發生、即チ國家ヲ二ツニ分裂スルヤウナサウ云フ危機ヲ敢テシテマデ本法案ノ議會通過ヲ御望ミニナルノデアルカドウカ、特ニ私ハ其ノ「ゼネスト」ノ發生致シマシタ場合ノ政府

ノ御所信ニ付テ御尋ネシテ見タイ
ト思ヒマス

○膳國務大臣 只今ノ御質問ニ御
答ヘ致シマス、一ツ御斷リ申上ゲ
テ置キマスガ、只今ノ御質問ハ、

「ゼネスト」ガ官吏間ニ起キタ場
合ニ政府ハ如何ナル態度ヲ以テ之
ニ酬ユルカト云フコトガ最後ノ骨
子ノヤウデアリマスガ、私サウ云
フ方面ニ付テ御答ヘスル權限ヲ持
ツテ居リマセヌ、私ノ職務ハ日本
ノ經濟安定ヲ圖リマスル爲ニ如何
ナル方策ヲバ樹ツベキカト云フコ
トガ私ノ本務デアリマス、隨テ其
ノ答辯ハ然ルベキ主管ノ方面ニ一
ツ御傳ヘ致スコトニ致シマス、唯
此ノ勞働關係調整法並ニ國結構及
ビ罷業權ノ問題デアリマスルガ、
是ハ政府所管大臣其ノ他ガ數次聲
明或ハ御答辯申上ゲテ居リマスル
通り、成程勞働組合法ニ於キマシ
テ國結構及ビ罷業權ハ認メラレテ
居リマスルガ、是ハ他ノ總テノ國
ノ秩序、行政ノ根本、又總テノ他
ノ色々ノ權利ヲ無視——無視ト云
フ言葉ハ當リマセヌカモ知リマセ
ヌケレドモ、ソレ等ヲ超越シテ、
總テノ權利ニ絕對ニ君臨スル權利
ダトハ考ヘテ居リマセヌ、ヤハリ
一方ニ國結構モアリ罷業權モアリ
マスルケレドモ、ソレニ對シテハ
ヤハリ國ノ秩序ヲ維持スル義務モ
アリマスシ、又一ツノ産業カラ申
シマシテモ、ヤハリ産業ヲ經營ス
ル一ツノ經營ノ權利モアルノデア

リマシテ、オヒヒノ間ノ權利ノ濫
用ノナイヤウニ調整スル、是レ即
チ勞働調整法ノ根本ノ趣旨ト存ズ
ルノデアリマシテ、政府ノ見解ト
シマシテ、今期出マシタ勞働調整
法ノ根本趣旨ハ、之ニ依ツテ勞働
權、國結構乃至罷業權ニ對シテ不
當ノ彈壓ヲスルモノニアラズシテ
國結構及ビ罷業權ガ正當ナ範圍デ
正當ナ秩序ノ下ニ、民主主義化ヲ
助長スル爲ニ其ノ一ツノ途ヲ與ヘ
テ居ル、サウ云フ趣旨ノ下ニ是ガ
役立ツ、又是非サウナクテハナラ
ヌ、斯様ニ信ジマスルガ故ニ提案
ニナツタモノト信ジテ居リマス

言ハレタノデアリマスガ、現在勞
働調整法ニ對シマシテ、私共ガ之ヲ拒
否スル爲ニ、自ラ勞働組合法ニ依
ツテ保障サレ或ハ「ボツダム」宣
言ニ依ツテ保障サレマシタ基本的人
權ヲ尊重スルコト云フ建前カラ、
其ノ權利ヲ行使スルコトガ果シテ
國家ノ秩序ヲ根本的ニ破壞スルモ
ノデアリマセウカ、斷ジテサウデ
ハナイ、御承知ノ如ク現在全國各
地ニ於キマシテハ、一方のニ資本
地ノ「ロックアウト」ガ盛シニ行
ハレテ居ルノデアリマス、資本案
ノ企業權ニ當然伴フ所ノ義務ガ一
方的ニ抛擲サレテ居ルノデアリマ
ス、ソレニ對シマシテハ政府ハ殆
ド之ニ對スル取締ヲ行ハウトシナ
イ、物資調整法ニ依リマシテ生産
再開ニ關スル代理行為或ハ生産再
開命令ヲ發スルト云フハレタノデア
リマスケレドモ、一體ソレ等ノ事
實ヲ外ニ致シマシテ、勞働階級ニ
ノミ其ノ團體權、罷業權ヲ根本的
ニ壓殺スルガ如キ態度ニ出ルト
云フコトハ、是ハ明白ニ「ボツダ
ム」宣言ニ對スル違反行為デア
ル同時ニ又勞働階級ノ基本的人權利
ヲ否定スルモノデアルト思フノデ
アリマス、先日モ内務大臣ハ「ス
トライキー」ニ對シテハ政府ハ絕對
ニ干涉シナイ、所謂爭議權ノ尊重
ニ關シマシテ、極メテ理解アル明
確ナ御答辯ヲ本委員會ニ於テ願
ツタノデアリマスガ、膳國務大臣ハ
内務大臣ノ御答辯ト相反スルガ如

キ御答辯ヲ只今サレタノデアリ
マス、若シモ現在ノ勞働調整法ニ反對
シテ自ラ有スル爭議ノ權利ヲ正シ
ク行使致シマス場合、ソレガ國家
ノ秩序ヲ破壞スルモノト致シマス
レバ、サウ云フ行為ヲ誘發スル所
ノ政府ノ態度ソレ自身ガ國家ノ秩
序ヲ破壞スルモノデハナイカト考
ヘルノデアリマス、膳國務大臣ハ
只今絕對的ナ爭議權ト云フモノハ
アリ得ナイ、相對的ナ意味ニ於テ
爭議權ヲ認メルト云フハレタノデア
リマスガ、具體的ニ現在例ヘバ國
鐵ニ於テ勞働法反對、運賃値上反
對、減價反對ト云フ三反綱領ヲ掲
ゲテ、現在着々交渉カラ更ニ新シ
イ重大ナル闘争段階ニ入りツ、ア
ルノデアリマスケレドモ、ソレニ
對シマシテ、是ハ絕對的ナ爭議權
ノ行使デアアル、隨テ國家ノ秩序ヲ
亂スモノデアルト云フ御見解ヲ以
テ之ニ對處セラレルノデアアルカド
ウカ、此ノ點ニ關シマシテハ私ハ
膳國務大臣ノ御答辯ヲ拔萃シテ全
國ノ勞働委員會ニ配付スルト同時ニ
ソレノ關係方面ニモ其ノ御答辯
ヲ配付致シマシテ、更ニ勞働階級
ニモソレヲ配付致シマシテ政府ノ
所信ガ斯クノ如ク二ツニ分レテ居
ルト云フ點、更ニ又勞働階級ノ權
利デアアル爭議權ヲ膳國務大臣ガ否
定シタト云フコトノ事實ヲ總ヘタ
イト思フノデアリマスルガ、ソレ
ニ對シテ確信ヲ以テ、信念ヲ以テ
膳國務大臣ハ、現在具體的ニ展開

サレヨウトシテ居ル所ノ其ノ爭議
權ノ行使ニ對シテ、ソレヲ國家秩
序ノ破壞デアアル、或ハ非合法的ナ
爭議デアルト云フ御見解ヲ御持チ
ニザリマスガ

○赤松委員 然ラバ御尋ネ致シマ
ス、第一ニ自分ハ此ノ問題ノ所管
外デアアルガ故ニ答辯ヲ避ケタイト
云フコトデアリマスガ、少クトモ
經濟安定ト云フコトハ現在我が國
ニ取リマシテ國策ノ基本デアリマ
ス、其ノ基本的人權利ヲ遂行サレ
ソレ等ノ全面的ナ計畫ヲ立テラレ
而モ其ノ計畫ヲ實施スル參謀本部
トシテノ役割ヲ演ゼラレマス膳國
務大臣即チ經濟安定本部ノ長官ガ
勞働調整法ニ關聯シテ起ツテ來ル勞働
者階級ノ發意ニ對シマシテ、自分
ハ所管外デアアルト云フテ答辯ヲ避
ケラレルコトハ、其ノ責任ノ所在
ヲ極メテ曖昧ニスルモノデアルト
思フノデアリマス、第二ニ、只今
爭議權ニハ絕對權ト云フモノハナ
イノデアアル、爭議權ハ飽クマデモ
相對的ナモノデアルト云フコトヲ

言ハレタノデアリマスガ、現在勞
働調整法ニ對シマシテ、私共ガ之ヲ拒
否スル爲ニ、自ラ勞働組合法ニ依
ツテ保障サレ或ハ「ボツダム」宣
言ニ依ツテ保障サレマシタ基本的人
權ヲ尊重スルコト云フ建前カラ、
其ノ權利ヲ行使スルコトガ果シテ
國家ノ秩序ヲ根本的ニ破壞スルモ
ノデアリマセウカ、斷ジテサウデ
ハナイ、御承知ノ如ク現在全國各
地ニ於キマシテハ、一方のニ資本
地ノ「ロックアウト」ガ盛シニ行
ハレテ居ルノデアリマス、資本案
ノ企業權ニ當然伴フ所ノ義務ガ一
方的ニ抛擲サレテ居ルノデアリマ
ス、ソレニ對シマシテハ政府ハ殆
ド之ニ對スル取締ヲ行ハウトシナ
イ、物資調整法ニ依リマシテ生産
再開ニ關スル代理行為或ハ生産再
開命令ヲ發スルト云フハレタノデア
リマスケレドモ、一體ソレ等ノ事
實ヲ外ニ致シマシテ、勞働階級ニ
ノミ其ノ團體權、罷業權ヲ根本的
ニ壓殺スルガ如キ態度ニ出ルト
云フコトハ、是ハ明白ニ「ボツダ
ム」宣言ニ對スル違反行為デア
ル同時ニ又勞働階級ノ基本的人權利
ヲ否定スルモノデアルト思フノデ
アリマス、先日モ内務大臣ハ「ス
トライキー」ニ對シテハ政府ハ絕對
ニ干涉シナイ、所謂爭議權ノ尊重
ニ關シマシテ、極メテ理解アル明
確ナ御答辯ヲ本委員會ニ於テ願
ツタノデアリマスガ、膳國務大臣ハ
内務大臣ノ御答辯ト相反スルガ如

キ御答辯ヲ只今サレタノデアリ
マス、若シモ現在ノ勞働調整法ニ反對
シテ自ラ有スル爭議ノ權利ヲ正シ
ク行使致シマス場合、ソレガ國家
ノ秩序ヲ破壞スルモノト致シマス
レバ、サウ云フ行為ヲ誘發スル所
ノ政府ノ態度ソレ自身ガ國家ノ秩
序ヲ破壞スルモノデハナイカト考
ヘルノデアリマス、膳國務大臣ハ
只今絕對的ナ爭議權ト云フモノハ
アリ得ナイ、相對的ナ意味ニ於テ
爭議權ヲ認メルト云フハレタノデア
リマスガ、具體的ニ現在例ヘバ國
鐵ニ於テ勞働法反對、運賃値上反
對、減價反對ト云フ三反綱領ヲ掲
ゲテ、現在着々交渉カラ更ニ新シ
イ重大ナル闘争段階ニ入りツ、ア
ルノデアリマスケレドモ、ソレニ
對シマシテ、是ハ絕對的ナ爭議權
ノ行使デアアル、隨テ國家ノ秩序ヲ
亂スモノデアルト云フ御見解ヲ以
テ之ニ對處セラレルノデアアルカド
ウカ、此ノ點ニ關シマシテハ私ハ
膳國務大臣ノ御答辯ヲ拔萃シテ全
國ノ勞働委員會ニ配付スルト同時ニ
ソレノ關係方面ニモ其ノ御答辯
ヲ配付致シマシテ、更ニ勞働階級
ニモソレヲ配付致シマシテ政府ノ
所信ガ斯クノ如ク二ツニ分レテ居
ルト云フ點、更ニ又勞働階級ノ權
利デアアル爭議權ヲ膳國務大臣ガ否
定シタト云フコトノ事實ヲ總ヘタ
イト思フノデアリマスルガ、ソレ
ニ對シテ確信ヲ以テ、信念ヲ以テ
膳國務大臣ハ、現在具體的ニ展開

サレヨウトシテ居ル所ノ其ノ爭議
權ノ行使ニ對シテ、ソレヲ國家秩
序ノ破壞デアアル、或ハ非合法的ナ
爭議デアルト云フ御見解ヲ御持チ
ニザリマスガ

了解シテ居ル所ニ依リマスルト、

詰リ罷業權ガ國家ノ國政ニ對シ、又社會一般ノ公益ニ重大ノ利害ノアリマスル問題ニ對シテ統制ノアル一ツノ爭議ノ制限ヲスル、爭議權ガ無限ニ何ノ權利ノ上ニモ色々ナ問題ノ上ニモ絕對ニアルノデハナク、ヤハリ一ツノ社會ノ秩序、國家ノ秩序、公益ヲ尊重スルト云フ埒内デ初メテ認メラレル趣旨デ其ノ意味デ調整法ノ立案ガアルモノト了解スル、斯クノ如キコトヲ申上ゲタニ過ギナイノデアリマシテ、此ノ見解ハ私ハ「ボツダム」宣言ニモ決シテ違反スル所以デモナケレバ、勞働組合法ソレ自身モ無制限ニ公益ヲモ構ハズ、又國家行政運行ノ阻止ニモ構ハズ、團結權或ハ爭議權ガ無制限ニ認メラレテ居ルトハ私ハ考ヘテ居リマセヌ斯ウ云フヤウナ趣旨ヲ申上ゲタ譯デ、只今ノ御質問ニ對シマシテモ左様ナ意味デ私ノ答辯ガ斯ク、デアツタト云フコトヲ御諒承下サルノハ結構デアリマスルガ、アナタガ獨斷サレタヤウナ意味デ私ハ申シテ意味モ頭アリマセヌカラ、ソレハ甚ダ迷惑ダト存ジ、左様ニ申上ゲル次第デアリマス

○赤松委員 更ニ御尋ね致シマスルガ、然ラバ統制アル爭議行為、即チ公益ニ反シナイ、或ハ秩序ニ反シナイ統制アル爭議行為ト云フノハ一體何デアリマセウカ、其ノ定義ヲ具體的ニ下シテ載キタイト思ヒマス

○膳國務大臣 現在勞働關係調整法案ガ其ノ内容トシテ示シテアルノガ即チ今ノ御問ヒニ對スル御答ヘデアリマス、即チ官吏等ガ罷業ヲスルト云フコトハ國ノ要請ヲ根本ニ破壞スルモノデアルカラ是ハ差控ヘラレタイ、又交通、電氣其ノ他極ク嚴重ナル意味ノ公益事業ニ對シテハ抜打的ノ爭議ハ公益ニ反スルカラ、是ハ何ト申シマスカ秩序アル或ル一ツノ手續ノ後ニ於テ爭議權ノ行使ガ願ヒタイ、斯ウ云フヤウナ點ニ付テ爭議權ノ一ツノ境界ヲ作ツテ行カウ、是ガ即チ今ノ御問ヒニ對スル御答ヘニナルト思ヒマス、現在ノ法律ニ於テモ先程何カ全國ノ事業家ノ中ニ或ハ資本攻勢的ノ態度ヲ取ツテ云々ト云フヤウナ假設ノ例ヲ御述ベニナツテ居リマシタガ、一般ノ産業ニ對スル爭議權ノ權限ハ何モ此ノ調整法ノ中デ制限サレルノデハナイ、斯様ニ私ハ承知致シテ居リマス

○赤松委員 膳國務大臣ハ極メテ抽象的ナ意味ニ於キマシテ、公益又ハ國家ノ秩序ニ反スル爭議行為ニ對シテハ、ソレヲ制限スルモノデアルト云フコトヲ申サレタノデアリマス、膳國務大臣ニ私ハ此ノ勞働關係調整法ハ現下ノ日本ノ客觀情勢ノ下ニ於テ、斷ジテ妥當性ヲ持ツモノデナイト云フコトヲ再度申上ゲテ見タイト思フノデアリマス

○膳國務大臣 現實ニ或ル法律ガ施行セラレマシタ結果、國內ニ或ル不秩序ガ起キタ場合ニ、是ハ經濟ノ安定ニ重大ノ關係ガアルカラ何カ前ニモ考ヘガアルダラウ、此ノ問題ハ先程カラ縷々申上ゲマス通り、私ハ日本全體ノ經濟安定ニ關スル根本方策ノ審議立案等ニハ關與致シテ居リマスケレドモ、其ノ日本ノ秩序ノ維持ノ問題ハ、是ハ內務大臣ノ專管ニ屬シテ居リマスノデ、私ガ今其ノ問題ニ對シテハ何等答辯ヲ申上ゲル自由ヲ持ツテ居リマセヌ、尙ホソレニ關聯シテ一言附加ヘテ申上ゲテ置キマスガ、此ノ勞働關係調整法ノ官吏ノ罷業權ノ制限並ニ公益事業ニ對スル罷業權ノ或ル程度ノ制限、是ガ非常ニ勤勞大衆ノ憤懣ヲ買ツテ居ル、成程今新聞紙ニ見エ、或ハ「デモンストレーション」ニ現ハレル所ハ、左様ニ私モ客觀的ニ拜承スルノデアリマスガ、實ハ是ハ

私ハ甚ダ意外ニ存ジテ居リマス所デ、是ハ當局カラ此ノ法案ノ制定ニナリマシタ事情等ニ付テハ既ニ御説明ノアツタコトト思ヒマスルガ、私ハ親シク自分自身デ此ノ法案ノ立案ノ略ノ最初カラ關係シテ居リマスルノデ、實ハ私此ノ問題ニ付テ斯クノ如キ議論ガ勤勞大衆ノ間ニアラウトハ實ハ甚ダ意外ニ存ジテ居リマスル次第デアリマスト申シマスルノハ、爭議ニ付テ一定ノ秩序ヲ保ツ必要ノアルト云フコトハ勞働組合立法案ノ當時カラ既ニ言ハレタノデアリマシテ、私ハ御人ヲ申スコトヲ遠慮致シマスルケレドモ、相當勞働問題ニ直接御關係ノ方、又勞働運動ニ非常ナ御同情ノアル方モ、勞働組合法ト勞働關係ノ調整ニ關スル法律ハ同時ニ出ナケレバ意味ノ成サナイノダト云フコトニ付テハ相當強イ御主張ノアツタコトト存ジマス、尙ホ其ノ後勞働關係調整法ノ立案ニ私モ一人ノ委員トシテ參與シテ居リマシタケレドモ、其ノ問題ガ最後ノ決定ノ段階ニ至ルマデ、此ノ問題ニ付テ勞働組合關係方面ニ全面的ニ御反對ガアルトハ私共考ヘテ居リマセヌデシタ、此ノ爭議權ノ制限ニ付キマシテハ、當時政府モ非常ニ慎重ノ態度ヲ執ラレマシテ、原案ニ付テハ何等御指示ガアリマセヌ、全ク官吏ノ罷業權ノ制限及ビ公益事業ノ罷業權ノ制限ニ付キマシテハ、勞働關係カラ出ラ

レマシタ小委員ト、事業關係カラ出マシタ小委員トノ意見ノ一致ニ依ツテ、初メテ政府ガソレナラバ制限スルコトニシヨウト云フ決意ヲシタト云フ事實ハ、歴然タルモノガアルノデアリマシテ（拍手）實ハ此ノ問題ガ愈々勞働關係ノ法制審議會ニ現ハレマシタ時ニ、勞働關係ノ委員諸君ガ初メテ之ニ付テ賛成デナイカノ如キ意思ノ現ハレマシタコトニ付キマシテハ、私共ハ實ハ非常ニ驚キマシテ、其ノ席上デ私ハ深く遺憾ノ意ヲ表シタノデアリマシテ、決シテ其ノ後ノ情勢ガマア色々變ツタコトモゴザイマセウ、併シナガラ有様ニ申シマスレバ官吏ノ罷業權、公益事業ノ罷業權ノ制限ノ問題ハ、決シテ政府ガ、或ハ事業家側ダケガ強メテ出來上ツタモノデハナイ、斯ウ云フコトヲ皆様ハドウゾ一ツ御記憶ノ中ニ新タニシテ置カレンコトヲ切望致シマス

○達澤委員長 赤松君ニ申上ゲマスガ、膳國務大臣ニ對スル質疑ハ此ノ位デ如何デスカ

○赤松委員 イヤ、モウ一點デ終リマス、私ハ只今、經濟安定本部長官ニ、又國務大臣ニ就任サレマシタル膳國務大臣ガ不誠意極マル、而モ曾テ我が國ニ於キマシテ勞働組合法案ガ出來上リマスル時ニ、眞先ニ資本家陣營ヲ代表サレマシテ、勞働組合法ノ壓企ヲ殺テ、更ニ數十年間ニ亘リマシテ日

本ノ労働階級ニ挑戦シテ參ラレマシタ其ノ長イ間「イデオロギー」ガ未ダニ全然拂拭サレズ、而モ新シイ事態ニ對處スル政治的感覺ガ全然ナイト云フコトニ一驚ヲ禁ジ得ナイノデアリマス、私共ハ斯クノ如キ國務大臣、斯クノ如キ經濟安定本部長官ガ日本ノ基本的ナ安定經濟政策ヲオヤリニナルト云フコトハ、労働階級ノ名ニ於テ不信任ヲ表明シマスルト同時ニ、甚ダ迷惑ニ存ズル次第デアリマス、特ニ私ハ新シク發生スル、又ハ發生セントスル「ストライキ」ニ對シマシテ、其ノ所管事項ヲ内務大臣ニ摺替ヘラレマシタト云フコトハ、是ハ決シテ輕視スベキコトデハナイト思フノデアリマス、根本的ニ申上ゲマスルナラバ、内務大臣ノ所管ニ歸結、歸納サレタト云フコトハ、取モ直サズ「ストライキ」ニ對スル政府ノ對處方針ト云フモノガ取締以外ニナイト云フコトバ暗黙ニ表明サレテ居ルモノト思フノデアリマス、一觀今日内務官僚如キモノニ依ツテ果シテ此ノ重大ナル社會的危機ニ對處スル基本的政策ガ執レルデアリマセウカ、隣國務大臣ハ現在ノ社會的危機ニ臨ム所ノ基本的ナ認識ニ於テ缺クルモノガ甚ダシイノデアリマス、私ハ其ノ認識ガ如何ニ間違ツテ居ルカト云フコトヲ、コ、數日間或ハ數十日間ノ中ニ具體的ニ隣國務大臣ノ前ニ其ノ事實ヲ御披露

スル機會ノアルト云フコトヲバ、茲ニ強ク強調シテ置キマス、尙ホ一言申上ゲテ置キマスルガ、只今極メテ挑戰的ニ、労働關係者ノ中ニ於テ當初此ノ法案ニ對シテ贊成シタ者ガアルト云フコトヲ言ハレマシタケレドモ、私ハサウ云フ國務大臣ノ挑戰ニ對シマシテハ、労働階級ノ名ニ於キマシテ一言申上ゲテ置キタイト思フノデアリマス、一體政府ハ労働階級トツノ協調的ナ政策ヲ次メラレマスル場合ニ、日本ノ全労働階級ノ實質ノ代表者ヲ御加ヘニナツタデアリマセウカ、勿論我々ノ同志ノ中カラ參加致シマシタル代表者ヲ私ハ言ツテ居ルノデハナイノデアリマス、ソレヲ労働階級ノ代表デナイト私ハ申シテ居ルノデハナイノデアリマスケレドモ、例ヘバ鐵道會議ニ現ハレマシタ官僚的ナ意圖ヲ見マシテモ、アノ鐵道會議ノ中ニ労働組合ノ代表ヲ僅カ四名加ヘルコトニ依ツテ、アノ重大ナル問題ヲ一舉ニ決シヨウトシタデハナイカ、隣國務大臣ハ長イ間日本ノ労働問題ニ關係シテ居ラレマスルケレドモ、サウ云フ労働問題解決ノ際ニ當リマシテ、本當ニ労働階級ノ聲ヲ聽クヤウニ、是ハ政府自身モサウデアリマスガ、労働階級ノ眞實ノ聲ヲ聽クヤウナ方策ヲ講ゼラレタノデアルカドウカ、私ハ遺憾ナガラ此ノ點ニ於キマシテハ、政府ハ根本的ニ労働階級ヲ信

賴シナイ、サウ云フ觀點ニ立脚シマシテ從來労働政策ヲ立ツテ來タノデアル、隨ヒマシテ政府ノ労働政策デ一回モ成功シタ例ガエリマスカ、私ハ隣國務大臣ガ滔々トシテ此處デサウ云フ問題ニ關シマシテ白々シイ態度ヲ以テ我々ニ對シテ御答辯ヲ願フド云フコトハ、甚ダ憤懣ニ堪ヘナイノデアリマス、尙ホ一言申上ゲテ置キマスルガ、假令私ガ當初労働法ニ贊成ヲ致シマシテモ、私ハ社會黨ノ數十萬人ノ黨員ノ一人デアリマス、又日本三百萬組織労働者ノ一人デアリマス、隨ヒマシテ其ノ組織、其ノ機關ニ於キマシテ、勞調法反對ニソレハ幾多ノ政治問題デアリマシテ、勿論人間ニハ様々ナ考ヘ方ガアリマスケレドモ、最後ノ決定ハ總テ組織、機關ニ於テナサルノデアリマス、恐ラク政府ノ大臣閣下ニ致シマシテモ、一ツノ問題ニ付キマシテオヒニ見解ガ分レテ居リマシテモ、閣議ニ於テ、或ハ省議ニ於テ、或ハ議會ニ於テ、決定サレマシタナラバ、ヤハリ其ノ決定ニ對シテハ御服シニナルデアリマセウ、我々モ同様デアリマシテ、一ツノ機關、組織ニ於テ決定サレマシタナラバ、其ノ決定ニ服從スルノハ是レ亦當然ノ義務デアリマス、隨ヒマシテ、私ハ屢ミ不愉快ナコトヲ聞クノデアリマスガ、過日モ三萬ノ労働者大會ノ代表者ガ議會ニ陳情ニ參リマ

シタ際ニ、ヤハリ植原國務大臣ハ同様ナコトヲ笑ヒ話デ申サレマシタノデ、私ハ其處デ植原國務大臣ニ對シテ嚴重ナル抗議ヲシタノデアリマスガ、兎ニモ角ニモ私達ノ方デ黨議若シクハ組織機關ニ於テ決定サレ、ソレガ黨ノ決定又ハ労働組合ノ決定トシテ其ノ決定ニ服從ヲ致シマシテ、其ノ決定ニ基イテ行動スルト云フコトハ決シテ間違ヒデハナイ(委員長、時間ガ經過シタデハナイカ、迷惑極マルデヤナイカ、時間ヲ守レ)ト呼ブ者アリ)

○達澤委員長 御靜カニ……

○赤松委員 サウ云フ點ニ於テ私ハ隣國務大臣ノ只今ノ御答辯ニ對シテハ甚ダ不滿デアリマスト共ニ今後サウ云フウナ不眞面目ナ答辯ヲシテ戴カナイヤウニ持ニ要求シテ置キマス

○隣國務大臣 一寸私ノ申シタコトヲ訂正シテ置キタイト思ヒマス、私ガ労働問題ニ對シマス現在ノ主管ハ厚生大臣ト内務大臣ト、斯ウ申上ゲタ方ガ適當デアツタト思ヒマスノデ、其ノ點ハ訂正致シマス、ソレカラ今ノ點デアリマスガ、是ハ御意見ノヤウデアリマスカラ私長ク申シマセウケレドモ、私經濟安定本部ノ總務長官ニ近ク就任スルトノコトデアリマスガ、私ノ心境ハ過去ニ私ガ私人トシテドウ云フヤウナコトヲ申シタカ、又ドウ云フコトデアツタカト云フ

コトト、私ガ公人トシテ考ヘル場合トハ截然ト區別ヲシテ置キタイト云フコトヲ此ノ前此ノ委員會ノ御席デ申上ゲマシタ、今ハ元ト時勢ガ變ツテ居リマス、假リニ私ニ或ル考ヘガアルトシマシテモ、數年前ノ私ノ頭ニ考ヘテ映ツテ居リマス日本ノ現在及ビ是カラ來ル社會情勢ト、此ノ間ニハ著シイ違ヒガアリマス、私安定本部長官トシテ命ヲ拜スル積リニナリマシタ時ニ、總テノ社會事象ヲ自分ノ氣持ノ中ニ何等前提モナク鏡ノヤウニ映シタイト云フ覺悟デ此ノ就任ヲ御受ケシタ譯デアリマス、又ソレバカリデハアリマセウ、私ハ此ノ前モ申上ゲタト思ヒマスルガ、餘リニ物ヲ此ノ主義ダ、アノ主義ダト片付ケテ、ソレデ是カラノ經濟ノ安定ハ出來ナイト思ヒマス、私ハ經濟ノ安定ハ國民生活ノ安定ダト申上ゲマシタ、此ノ線ニ沿フ政策ガ眞ニ宜イコトガアリマスレバ、ドウ云フ方ノ言フ意味デモ、ドウ云フ主義ノ方ノ述ベラレル政策デモ、之ヲ十分ニ考慮スルニ著デナイノデアリマシテ、ドウゾ私人ト公人トソコノ間ニ區別ノアルコトハ皆様ガハツキリト御認識ヲシテ戴キタイト思ヒマス、一言釋明致シマス

○達澤委員長 土井直作君ニ申上ゲマス、隣國務大臣ニ對スル簡單ナ御質問デシタラ此ノ際許シマスガ……

○土井委員

ソレデハ極メテ簡單ニ質問致シマス、膳國務大臣ガ經濟安定本部ノ長官トシテ御就任ニナルノデアリマスガ、此ノ經濟安定本部ノ役柄ト云フモノハ我が日本ノ國ヲ起スカ、或ハ又亡ボスカト云フヤウナ極メテ重大ナル職責デアルト云フコトヲ考ヘルノデアリマス、ソコデ經濟安定本部ハ綜括的ニ我が日本ノ産業復興ノ爲ニ努力ヲシナケレバナライノデアリマスルガ、過般星島商工大臣ガ本會議ニ於テ答辯トシテ言ツテ居ル所ニ依リマスルト、我が日本ノ生産設備約一千二百萬「トン」ガ賠償ト致シマシテ海外ニ輸出サルコトニナツテ居ルサウデアリマス、現ニ經濟安定本部ガ我が日本ニ許サレテ居ル範圍内ニ於ケル所ノ生産設備ニ依ツテ、ドノ程度ノ勞働階級ヲ收容ナシ、ドノ程度ノ國民生活ノ安定ヲ圖ルコトガ出來ルカ、此ノ點ニ付テノ見透シヲ一應御聽カセ願ヒタイト思フノデアリマス

○膳國務大臣

此ノ問題ハ結局國家ノ戰爭ニ關シマス國民ノ債權ノ打切ラドノ程度ニスルカ、又我が國ガ賠償トシテドウ云フ程度ノ設備其ノ他ヲ提供シナケレバナライカト云フ問題ト、又將來ドウ云フ程度ノ原料材料等ニ付キマシテ國際的ニ我が國ヘノ同情ト申シマスカ、我が國ガ協力ヲ願ヒ得ルカ、是等ノ問題ニ絡ミ合ハセマシ

テ、經濟安定本部デハ第一番ニ取上ゲテ、深ク考究シナケレバナライ問題ダラウト思ツテ居リマス、但シ差當リ今回ノ種々ノ事情ニ依リマス經濟ノ變動ニ基イテ參リマスル、或ハ外地カラ戻ツテ參リマスルサウ云フ人達ノ問題ニ對シマスル就職ノ問題、或ハ職業ノ配置ノ問題等ニ付キマシテノ應急ノ施設ハソレ、關係各省デ策ヲ練ツテ皆様ニ色々御答辯申上ゲテ居ルノダラウト思ヒマス、私共ノ經濟安定本部デ練リマスルモノハ、兎ニ角是カラ長イ間、少クトモ此ノ何年間カノ、其ノ間ノコトヲ大局のカラ研究シテ居リマスルノデ、折角ノ御問ヒデアリマスルケレドモ今何千何萬人ニ對シテドウ、何百萬人ニ對シテドウト云フコトヲ私ノ口カラ御答ヘ申上ゲルノニハマダ少シ時期ガ早過ギルト存ジマスノデ、御用捨願ヒタウゴザイマス

○土井委員

サウ云フコトニナリマスナラバ、經濟安定本部ハマダ發足シテ居ラナイ狀態デアルガ故ニ、現在ノ實情ニ於キマシテハ、我が日本ニ於ケル産業並ニ其ノ他ノ點ニ付テノ見透シト云フモノハ全然付カヌト云フ風ニ拜承シテ差支ヘゴザイマセヌカ

○膳國務大臣 經濟安定本部トシテハマダ付イテ居ルト申上ゲラレマセヌ、併シ日本政府トシテハ既ニ付イテ居ルモノガアルガ故ニ、

各省大臣カラ御答ヘ申上ゲテ居ルノダト斯ウ御諒承願ヒタウゴザイマス

○土井委員

其ノ點ニ付キマシテハ一應諒ト致シマスルガ、次ニ私ガ質問シタイト思ヒマスルコトハ、膳國務大臣ガ當初此ノ會議ノ席上ニ於キマシテ、自分ノ考ヘテ居ル點ハ、今後ノ産業ハ國家社會、即チ日本民族ノ安寧幸福ヲ齎ス爲ニ總テガ行ハレナケレバナライト云フコトヲ御話ニナツテ居ツタノデアリマス、サウ云フ點カラ考ヘマスルナラバ、我々ガ今回勞働法ヲ通ジマシテ生産管理ト云フモノガ是ガ眞ニ我が日本ノ所謂民族ノ安寧秩序ヲ破壞スルト云フコトハドウシテモ考ヘラレナイノデアリマス、斯ウ云フ點カラ勞働法ガ全面的ニ全日本ノ勞働階級ノ名ニ依ツテ反對サレテ居ルト云フコトハ御承知ノ通りデアリマス、ソコデ特ニ御伺ヒシタイト思ヒマスル點ハ、膳國務大臣ハ生産ニ對スル一ツノ見解ト致シマシテ、過般「ラジョー」ノ對談會ニ於キマシテ生産ト云フモノハ丁度一家ニ譬ヘテ見ルナラバ主人ヲ出シ置イテ、サウシテ女中ガ自分ノ家庭ノ一切ヲ切盛スルヤウナモノデアルト云フコトヲ發表シテ居ラレノデアリマス、私ハ斯ウ云フ點ニ付キマシテ國務大臣ハ、例ヘバ女中ガ主人ヲ出シ抜イテ一切ノ家庭ノ處理ヲスルト云フヤウナ考ヘ方ヲ

現在デモ果シテ持ツテ居ルノカドウカ、此ノ點ヲ御伺ヒシタイノデアリマス

○膳國務大臣

先日カラ數次申上ゲマスルヤウニ、私ノ公人トシテノ議會壇上ニ於ケル答辯ハ、私ガ唯公人トシテ考ヘ、公人トシテ行ツタコトノミニ限ツテ臧キタウゴザイマス

○土井委員 我々ハ固ヨリ國務大臣ガ公人トシテ話シタ事柄ニ付テノミ其ノ責任ノ所在ヲ問フト云フコトハ是ハ一應考ヘラレル點デアリマス、併シナガラ公人ハヤハリ私人ノ延長デアリマシテ、過去ニ於テ行ツテ居ル事柄、ソレ自體ヲ全然無視致シマシテ論議ヲスルト云フコトハ考ヘラレナイノデアリマス、此ノ意味ニ於キマシテ、要スルニ過去ニ於テ行ツタ事柄ヲ前提ト致シマシテ、將來此ノ問題ニ付テノ考ヘヲ問フト云フコトハ私ハ何等差支ナイコトデアラウト斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、ソコデ生産ノ問題ニ付テサウ云フヤウナ意見ガアリマシタ、過般同僚議員デアアル所ノ赤松君カラ質問ガアリマシタヤウニ、例ヘバ一家ノ主人ガ其ノ家庭ヲ顧ミズシテ自分ガ逃亡シテシマフ、例ヘバ正田製作所ノ如ク従業員全體ノ意思ヲ無視シテ、サウシテ何等ソレノ善後措置モ考ヘナイデ自分ガ姿ヲ晦マサウナ場合ニ於キマシテ、已ムヲ得ザル一ツノ結果トシテ其ノ跡

始末ヲスル、官換ヘレバ主人ガ女中ヤ子供ヤ其ノ他ノ者ヲ顧ミナイデ何處カヘ雲隠レヲスルト云フヤウナコトガアリマスレバ、將來後ニ殘サレテ居ル所ノ人々ガ其ノ一家ノ切廻シヲスル爲ニ其ノ處置ヲスルト云フコトハ極メテ妥當ナルコトデ、サウ云フ場合デアルト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、生産管理ノ面ニ於キマシテモ御承知ノ通り我々ガ一ツノ限界點ヲ設ケテ之ヲ許スベキデアルト云フコトヲ屢ニ言ツテ居ル點ハ、惡資本家、即チ責任ヲ廻避スルガ如キ資本家階級ガ存在シマスル場合ニ於キマシテハ、ソレニ取ツテ代ツテ國家ノ生産ヲ一日モ忽セニ出來ナイト云フ立場カラ、勞働階級ガ眞摯ナ氣持ニ於テ生産ヲスルト云フコトハ當然ナ措置デナケレバナライ、ソレヲ單ニ政府ガ畫一的ニ「ペーパー・プラン」デ、其ノ事實ヲ無視シマシテ生産ニ對シテ之ヲ彈壓シ、禁止スルト云フコト自體ガ、甚ダ我々トシテハ受取リ難イノデアリマス、斯ルガ故ニ、此ノ點ニ付キマシテハ一應膳國務大臣トシテノ一應程個人的ナ云々ト云フヤウナコトガアリマスケレドモ、實際的ニハ私ハサウ云フ觀點カラ生産ノ問題ヲ論議シテ居ルノデアリマシテ、更ニ一應ノ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○膳國務大臣 私ハ自分ノ職務ヲ今度拜命シマス時ニ深ク考ヘタコ

トガアリマス、ト云フコトハ兎ニ角經濟安定本部ノ長官トシマスルト、事各省ニ互ツテノ調整ヲモ掌ルノデアリマス、私ノ職務ハ重大デアラウト思ヒマス、併シナガラ私ハ謙虛ナ氣持ヲ持ツテ各省ノ施設ヲ見テ、其ノ間ノ國策トシテノ統一調整ヲ圖ルノガ私ノ仕事ナノデアリマス、假ニ或ル一省或ル二省デヤツテ居リマスルコトニ對シマシテ、私が國務大臣トシテノ見解ガアリマシテモ、私ハ之ヲ避ケテ申上ゲナイ積リデ居リマス、私が自分デ今例ヲ設ケマシタヤウナコトガ果シテアルノカナインカ、アツタニシマシテモ、ドウ云フ風ニスベキカト云フコトニ付テハ、ソレハ權限ガアリ熱心ニ此ノ爲ニヤツテ居ラレマス各省ノ大臣及ビ其ノ下僚ノ方々ガアルノデアリマスカラ、其ノ人ノ權限ニマデ犯シテ私ハ申上ゲタクアリマセヌ、但シ國務大臣ヲ離レテ臍桂之助ノ私見ガ御聽キニナリタイト云フコトデアリマスレバ、是ハ此ノ議政壇上ノ貴重ナ時間ヲ使ハズニ、他ノ適當ナ、個人的ニ御話ヲ申上ゲル機會ガアラウト存ジマス

ト致シマシテ、綜合的ニ國家ノ施策ヲ決定スルノデアリマスガ、聞ク所ニ依リマス、政府ノ下ニ從事シテ居リマス各勞働階級ニ對シマシテ、大藏省デハ之ニ對スル所ノ給與局カ何カサウ云フヤウナモノヲ作ラウト云フヤウナ意圖ガアルヤウニ聞イテ居ルノデアリマス、將國務大臣ト致シマシテハ、全般的ニ國家經營ニ從事シテ居リマス所ノ從業員諸君全體ノ待遇上ノ問題ヲ、國策ノ見地カラ見マシテ、綜合的ニ、各省々々ニ分割サレテ居リマスモノヲ綜合致シマシテ、之ヲ一ツノ例ヘバ處遇委員會ナリ或ハ待遇委員會ト云フ風ナモノヲ將來作リマシテ、サウシテ官業ニ働イテ居リマス所ノ勞働者諸君或ハ職員官公吏ニ對スル待遇上ノ均衡ヲ圖リ、全體ノ「バランス」ヲ取ルト云フヤウナコトニ對スル何カ適當ナ案ヲ考ヘテ居ラレカドウカ、此ノ點ヲ御伺ヒシタイト思ヒマス

○膳國務大臣 御意見ノ程ハ篤ト拜聽致シマシテ、將來有力ナ參考資料ト致シマス、併シナガラ其ノ點ニ付テハマダ何トモ申上ゲル時期ニ參ツテ居リマセヌ

○土井委員 尙ホ綜合的ニ斯ウ云フヤウナ委員會等ガ作レラマスル場合ニ於テ、若シ幸ヒニシテ是ガ取上ゲラレマスナラバ、其ノ中ニハ少クトモ勞働階級ノ代表、官換レバ國鐵ノ代表デアルトカ、或ハ通信從業員組合ノ代表デアルトカ或ハ煙草勞働組合等ノ代表デアルトカ云フヤウナ、總テ勞働階級ノ代表者ガ此ノ構成サレル委員會ノ中ニ多分ニ入ツテ行クコトガ妥當ダト私ハ思ヒマスガ、サウ云フヤウナ場合ニ於テ膳國務大臣ハ十分考慮スル御意思ヲ有シテ居ラレカドウカ、此ノ機會ヲ通ジテ御伺ヒシテ置キタイト思ヒマス

○膳國務大臣 此ノ一點ダケハ將來ノ問題デハナイノデアリマスレドモ、御答ヘ申上ゲテ宜イダラウト思ヒマス、今マデノ日本ノ經濟ハ何ト申シマシテモ、資本ガアリマシタ、又多カレ少カレ國內及ビ海外植民地等カラ確保出來マス天然資源ガゴザイマシタ、之ニ對シマスル勞働ト申シマスルカ、勤勞ノ力ト云フモノハ色々ノ意味カラ言ヒマシテ、資本及ビ資源ト云フヤウナモノノ際ニ非常ニ小サク過小視サレタ傾キガアツタト思ヒマス、併シナガラ是カラ「經濟ノ再建」ハ、日本ニ何ガ殘ツテ居ルカ、所謂振興資本ハ整理ヲサレマス、日本ハ植民地ノ保有ガナクナツテ居リマス、是等ノ點カラ我が國ノ經濟ノ再建ヲナスベキ天然資源ハ要スルニ國際間ノ同情ト協力ニ依ラナケレバ得ラレナイコトハ申スマデモアリマセヌ、隨テ是カラ日本ノ經濟再建ニ對シマスル勞動ト申シマスカ勤勞ト申シマスカ、是ハ日本ニ幸ヒ豊富ニアリマスル水力電氣ノ淵源ト共ニ日本ノ經濟ノ再建ニ大キナ力ガ「軍」ノ非常ナ大キイ役割ヲシテ貰ハナケレバナラナイノデアリマス、隨テ是カラ私ノ經濟ノ再建ニ關シマスル色々ナコトヲ考ヘマスル際ニハ、其ノ面ハ今マデノ日本ノ經濟ノ經濟ノ考ヘ方ト是カラハ相當違ツテ考ヘナケレバナラナイト私ハ存ジテ居リマス、但シ此ノ大キナ勤勞ノ力ガ果シテ日本再建ニドレダケ本當ニ役立ツカト云フ事ハ、勞働ノ規律ト統制、秩序、是ガ前提デナケレバナラヌト存ズルノデアリマス、私ハ此ノ勞働關係調整法案ガ實ハ以前カラ問題ニナツテ居リマスガ、是ガ將來ノ經濟安定ト云フモノニドウ云フ役割ヲ直接スルカドウカト云フコトヲ申スノデハアリマセヌケレドモ、ヤハリ本當ニ勞働、勤勞ト云フ面ガ産業ノ再建ニ力強ク片棒ドロコカ大變意味ノ大キイ役割ヲ果ス爲ニハ、ソコニ本當ニ落着イタ冷靜ナ秩序ト、ソレニ基ク本當ニ燃エ上ル勤勞意欲ノ本當ノ行クベキ途ノ指示シガナケレバナラヌト思フノデ、其ノ點ニ於テ將來私ノ考ヘマスル凡ユル機關ニ於テ、勞動ト云フ方面ガ相當大キイ役割ヲ勤メルノデハナイカト考ヘテ居リマス

○達澤委員長 ソレデハ上井君、此ノ程度ニ願ヒマス

○原(佈)委員 議事進行ニ付テ發言ヲ御許シ願ヒマス

○達澤委員長 簡單ニ御願ヒ致シマス

○原(佈)委員 先般ヨリ赤松君其ノ他ノ長イ質問ガアツテ洵ニ他ノ人達ガ迷惑ヲスルト云フノデ、委員長ヲ初メ理事會ヲ開カレテ、一ハ、其ノ面ハ今マデノ日本ノ經濟ノ經濟ノ考ヘ方ト是カラハ相當違ツテ考ヘナケレバナラナイト私ハ存ジテ居リマス、但シ此ノ大キナ勤勞ノ力ガ果シテ日本再建ニドレダケ本當ニ役立ツカト云フ事ハ、勞働ノ規律ト統制、秩序、是ガ前提デナケレバナラヌト存ズルノデアリマス、私ハ此ノ勞働關係調整法案ガ實ハ以前カラ問題ニナツテ居リマスガ、是ガ將來ノ經濟安定ト云フモノニドウ云フ役割ヲ直接スルカドウカト云フコトヲ申スノデハアリマセヌケレドモ、ヤハリ本當ニ勞働、勤勞ト云フ面ガ産業ノ再建ニ力強ク片棒ドロコカ大變意味ノ大キイ役割ヲ果ス爲ニハ、ソコニ本當ニ落着イタ冷靜ナ秩序ト、ソレニ基ク本當ニ燃エ上ル勤勞意欲ノ本當ノ行クベキ途ノ指示シガナケレバナラヌト思フノデ、其ノ點ニ於テ將來私ノ考ヘマスル凡ユル機關ニ於テ、勞動ト云フ方面ガ相當大キイ役割ヲ勤メルノデハナイカト考ヘテ居リマス

人一時間ト云フコトニ決定シタノデアリマスガ、本日聽イテ居リマス、ヤハリ時間ヲ經過致シマシテ、洵ニ無秩序極マルト私ハ考ヘルノデアリマス、我々モマダ質問ヲヨウシナイデ待ツテ居ルノデアリマス、唯一人獨斷的デハイカヌト思ヒマス、委員ガ質問スベキモノハドウ位ノ時間ニ於テ質問スルト云フコトハ委員長ニ報告シテ、當リ勝手ニ質問ヲサレコトハ我我甚ダ迷惑ニ感ズルノデアリマス、而モ假想マデ考ヘル、實現サレルカサレヌカハ別デアルガ斯ウ云フモノガ起ツテ來タ場合ニハト云フヤウナ假想ヲヤル、或ハ時代的ナ一ツノ豫言ニナルガ如ク質問ヲヤラレルト云フコトハ、我々洵ニ迷惑ヲスルノデアリマス、我々ハ國家對策ヲ此處ニ於テ練ルノデアリマス、シツカリシタ態度ヲ以テ、一ツ國策ヲ互ヒニ審議致スト云フ態度ニ依ツテ進行シテ戴キタイト思フノデアリマス、唯區々タル一小部分ヲ捉ヘテ、サウシテ政府委員ノ一ツノ失言ヲ取り、或ハ何カノ缺點ガアレバト云フヤウナ質問ノ如キハ、私ハ國策ヲ審議スル上ニ付テハ洵ニ遺憾ニ存ズル次第デアリマス、而モ理事會決定セラレタコトヲナゼ委員長ハ行ハレナイカ、茲ニ委員長ノ御反省ヲ願ヒタイト思ヒマス(拍手)

○達澤委員長 時間ヲ勵行スルヤウニ致シマス

○原(佈)委員 先般ヨリ赤松君其ノ他ノ長イ質問ガアツテ洵ニ他ノ人達ガ迷惑ヲスルト云フノデ、委員長ヲ初メ理事會ヲ開カレテ、一

ハ、其ノ面ハ今マデノ日本ノ經濟ノ經濟ノ考ヘ方ト是カラハ相當違ツテ考ヘナケレバナラナイト私ハ存ジテ居リマス、但シ此ノ大キナ勤勞ノ力ガ果シテ日本再建ニドレダケ本當ニ役立ツカト云フ事ハ、勞働ノ規律ト統制、秩序、是ガ前提デナケレバナラヌト存ズルノデアリマス、私ハ此ノ勞働關係調整法案ガ實ハ以前カラ問題ニナツテ居リマスガ、是ガ將來ノ經濟安定ト云フモノニドウ云フ役割ヲ直接スルカドウカト云フコトヲ申スノデハアリマセヌケレドモ、ヤハリ本當ニ勞働、勤勞ト云フ面ガ産業ノ再建ニ力強ク片棒ドロコカ大變意味ノ大キイ役割ヲ果ス爲ニハ、ソコニ本當ニ落着イタ冷靜ナ秩序ト、ソレニ基ク本當ニ燃エ上ル勤勞意欲ノ本當ノ行クベキ途ノ指示シガナケレバナラヌト思フノデ、其ノ點ニ於テ將來私ノ考ヘマスル凡ユル機關ニ於テ、勞動ト云フ方面ガ相當大キイ役割ヲ勤メルノデハナイカト考ヘテ居リマス

○達澤委員長 ソレデハ上井君、此ノ程度ニ願ヒマス

○原(佈)委員 議事進行ニ付テ發言ヲ御許シ願ヒマス

○達澤委員長 簡單ニ御願ヒ致シマス

○原(佈)委員 先般ヨリ赤松君其ノ他ノ長イ質問ガアツテ洵ニ他ノ人達ガ迷惑ヲスルト云フノデ、委員長ヲ初メ理事會ヲ開カレテ、一

ハ、其ノ面ハ今マデノ日本ノ經濟ノ經濟ノ考ヘ方ト是カラハ相當違ツテ考ヘナケレバナラナイト私ハ存ジテ居リマス、但シ此ノ大キナ勤勞ノ力ガ果シテ日本再建ニドレダケ本當ニ役立ツカト云フ事ハ、勞働ノ規律ト統制、秩序、是ガ前提デナケレバナラヌト存ズルノデアリマス、私ハ此ノ勞働關係調整法案ガ實ハ以前カラ問題ニナツテ居リマスガ、是ガ將來ノ經濟安定ト云フモノニドウ云フ役割ヲ直接スルカドウカト云フコトヲ申スノデハアリマセヌケレドモ、ヤハリ本當ニ勞働、勤勞ト云フ面ガ産業ノ再建ニ力強ク片棒ドロコカ大變意味ノ大キイ役割ヲ果ス爲ニハ、ソコニ本當ニ落着イタ冷靜ナ秩序ト、ソレニ基ク本當ニ燃エ上ル勤勞意欲ノ本當ノ行クベキ途ノ指示シガナケレバナラヌト思フノデ、其ノ點ニ於テ將來私ノ考ヘマスル凡ユル機關ニ於テ、勞動ト云フ方面ガ相當大キイ役割ヲ勤メルノデハナイカト考ヘテ居リマス

○辻井委員 一寸議事進行ニセテ……

○辻井委員 辻井君、簡單ニ願ヒマス

○辻井委員 今原君カラ議事進行ニ付テノ御發言ガアリマシタガ、或ル程度ニ於テハ私モ賛成致シマス、成ベク簡潔ニ要領ヲ得テ短イ時間ニ切上ゲルヤウニ、無制限ニ何時マデモ續ケル譯ニ行カナイノデアルカラ、此ノ點ハ同意致シマスガ、併シ一時間ト云フノハ絕對的ナ制限デハナイト思ヒマス、成ベク一時間ト云フ中合ハセガ出來タノデアリマス、必ズシモソレニ囚ハレル必要ハナイト思ヒマス、殊ニ此ノ法案ハ申スマデモナク、爭議ノ制限ニ該當スル官公吏或ハ公益事業ノ従業員ダケニ付テ見テモ百五十萬、延イテ是等ハ何レモ全國的ナ組合ニ關係シテ居ルノデアルカラ、殆ド全勤勞階級ガ之ニ重大關心ヲ持チ、又舉ツテ反對ヲシテ居ルモノデアリマス、ソレダケニ是等ノ階級ヲ各色々ナ形代代表シテ居ル赤松君ヤ我々ニ取ツテハ、實ニ豫算案以上ノ重大問題デアリマス、十分ニ質ス所ハ質シ、徹底スルマデ質問ヲシナケレバ、是等多クノ大衆ニ對シテモ我々ハ申請ガナイ、政府ニ於カレマシテモ、ハツキリ態度ヲ表明スル機會ヲ保持タレル方ガ却テ得策デハナイカト考ヘマス、斯ウ云フ重大問題デアリマスカラ、二、三日ノ中

ニ必ズシモ切上ゲル必要ハナイ、必要ガアレバ、多少時間ガ經過シテモ之ヲウルサク制限スル必要ハナカラウカト思ヒマスカラ、皆ガ努メテ成ベク一時間デヤルト云フ態度ヲ持ツツ、場合ニ依レバ多少ノ超過ハ委員長ニ於テ適當ニ御計ラヒ願ヒタイト思ヒマス

○辻井委員 委員長ニ於テ大體常識ヲ加ヘマシテヤリタイト思ヒマス、成タケ簡單ニ御願ヒシマス、運輸大臣ニ對スル質問カラ御願ヒシマス——赤松君

○赤松委員 今朝カラノ私ノ質問ハ……（討論ヲヤツテルノカ）ト呼ブ者アリ）僕ノ今朝カラノ質問ハ討論カ

○辻井委員 長 言語ヲ禁ジマス

○赤松委員 時計ヲ計ツテ見タ所ガ、十二分デス、極メテ簡潔デス、而モ國務大臣ノ答辯ガ非常ニ長イ、其ノ點ヲ混同シナイデ下サイ

私ハ只今カラ運輸大臣ニ對シテ質問ヲ續行致シマス、實ハ本日十時カラ原宿ノ國鐵勞働組合ニ於テ全國ノ國爭委員會ガ開催サレテ居リマス、此ノ質疑ニ關シテ非常ナ

關心ヲ持ツテ居リマスル關係上、運輸大臣ノ極メテ誠意アル御答辯ヲ御願ヒシタイト思ヒマス、今回ノ國鐵ノ大量整理ニ關シテ、現業員ヲ整理シナケレバナラス所ノ其ノ具體的基礎ト云フモノハ一體何處ニ置カレテ居ルノデアルカ、鐵

道省自身ガ示シマシタ大量整理ノ根據ハ、昭和十一年ノ統計數字ヲ基礎ニシテ居ルノデアリマス、昭和十一年度ノ統計數字ヲ基礎ニシテ昭和二十一年度ノ而モ長期ノ戰爭ノ過程ヲ經テ現在ノ國鐵ニ對シテ、其ノ數字ヲ基礎ニ大量ノ整理ヲ行フト云フコトハ極メテ暴舉デアリマス、私ハ此ノ具體的ナ資料ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、一體運輸大臣ハ如何ナル統計ニ基キ、又何年度ノ統計ニ基イテ大量整理ヲオヤリニナルカト云フコトヲ一應御尋ネシテ見タイト思ヒマス

今日ノ狀態デハ急速ニソコマデ行カスモノト思ヒマス、隨テ不必要ナモノヲ大勢抱ヘ込ンデ居ルト云フコトハ、國有鐵道デアリマスル關係カラ行キマシテ、ヤハリ其ノ費用ト云フモノハ國民ノ負擔ニナルノデアリマス、隨ヒマシテドウシテモ此ノ際人員ノ整理ヲシナケレバナラスノデアリマス、又一方鐵道ト致シマシテ收支計算ノコトヲ一寸申述ベテ見タイト思ヒマスガ……（赤松委員「ソレハ又後デ伺ヒマス」）サウ云フコトカラシテ、ドウシテモ整理ガ必要デアルノデアリマス、ソレデ第一回ノ整理ト致シマシテハ、大概七萬五千人程度ノ整理ヲシテ行キタイト云フ考ヘデアリマス

○平塚國務大臣 人ノ整理ノ問題デアリマスガ、國有鐵道ト致シマシテハ、現在従業員ガ五十五萬人居リマス、更ニ復員其ノ他ガ歸ツテ參リマスルト、本年ノ暮ニハ恐ラク六十一萬ニ達スルモノト考ヘテ居リマス、サウシテ現在ノ鐵道ノ輸送力カラ言ヒマシテ、果シテ何人ノ従業員ガアレバ運營ガウマク行カカト申シマス、大概四十七、八萬人アリマスレバ完全ニ動クコトニナルノデアリマス、隨ヒマシテ此ノ六十一萬人ト云フモノハ約十二萬人餘リノ過剩人員ガ居ルト云フコトデアリマス、之ヲ如何ニスルカト云フコトデアリマス、若シモ資材ナリ石炭ガ十分ニアリマスラバ、モツト輸送力モ殖エマシ、隨テ人ノ使ヒ方モアルノデアリマスガ、遺憾ナガラ

○赤松委員 私人ノ質問ニ對スル的外レノ答辯ヲ戴イタノデアリマスガ、私ハ其ノ七萬何千人ノ過剩人員、所謂過剩ト云フコトガ何ニ依ツテ過剩ト言ハレルノデアアルカ、一體ドウ云フ事實ヲ基礎ニシテ過剩ト言ハレルノデアアルカ、即チ先程運輸大臣ガ言ハレマシタヤウニ、所謂大量裁減、大量整理ヲヤラナケレバナラス其ノ具體的ナ事實、基礎、ソレハ何ニ基イテサウ云フ判定ヲ下シタノデアアルカ、何カラ割出シタノデアアルカト云フコトヲ御聽キンタイノデアリマス

○平塚國務大臣 御承知ノ通り、戰爭中非常ナ輸送力ガ必要デアツタノデ、平時ヨリ非常ニ大キナ從

業員ヲ要求サレテ居ツタノデアリマス、ソレガ戰時中必要デアツタ、終戰後ノ今日ソレダケノ人ノ必要ガナイト云フコトデゴザイマス

○赤松委員 極メテ簡潔ナル御答辯ヲ戴キマシテ、能ク分リマシタ、戰時中ハ非常ニ龐大ナ人員ヲ要シテ居ツタガ、戰爭ガ終ツタノデ、人員ガ過剩ニナツタノダト仰シタルノデアリマスガ、私ハ只今運輸大臣ノ御答辯ニナリマシタ其ノ御答辯ト、事務當局ガ具體的事實ニ基カズシテ、所謂昭和十一年ノ統計數字ヲ基礎ニシテ、今回ノ整理ヲ行ハウトシテ居ルト云フ所ニ大キナ「ギャップ」ヲ見出スノデアリマスガ、第一ニ私ハ御尋ネシタイノデアリマス、一戰戰時中ニ龐大ナ人員ヲ要シテ居ツタガ、戰爭ガ終ツタカラソレガ過剩ニナツタト仰シタルノデアリマスケレドモ、現在品川ノ工場ニ於キマシテハ、三月、四月、五月ト漸次不良貨車、或ハ客車ガ激増致シマシテ、五月ニ至リマシテハ、窓硝子及ビ座席ガナイ爲ニ動力ナイ車ガ五十六輛、更ニ輪軸ガナクテ動力ナイノガ十五輛、バネ製造關係ガナクテ動力ナイノガ四輛、此ノ車ガ動キマスラバ、一日約七千人ノ人員ヲ輸送スルコトガ出來ルノデアリマス、是ガ現在品川ノ工場ニ於キマシテ資材ガ足ラナイノト同様ニ人員ガ足ラナイノデ、此

ノ修理ガ出来ナイト云フ事實ガアルノデアリマス、私ハ此處ニ詳細ナル記録ヲ持つテ居リマスガ、更ニ眼ヲ轉ジマシテ之ヲ市ヶ谷ノ驛ニ見テミタイと思ヒマス、市ヶ谷驛ニ於キマシテハ當局ノ指示ニ依リマシテ、從來三十二名使ツテ居リマシタノヲ、今回二十四名ニ減ラスノデアリマシテ、其ノ中ノ荷物係ト云フノガ全然ナクナツテシマフノデアリマス、私ハ今度ノ整理ガ如何ニ暴舉デアルカト云フコトノ一ツノ事實ヲ提供シテ見タイと思ヒマス、尤モ斯ウ申シマスナラバ、運輸大臣ハソレハ市ヶ谷驛ノミノ現象デアルト云フ風ニ言ハレルト思フノデアリマスガ、私ハ決シテ市ヶ谷ダケノ現象デハナイト思フ、更ニ新橋ニ於キマシテモ、或ハ品川ニ於キマシテモ、蒲田ニ於キマシテモ、横濱ニ於キマシテモ、各主要驛ニ於キマスル所ノ數ヲ現在持つテ居リマス、市ヶ谷ノ例ヲ舉ゲテ見マスルト、市ヶ谷ニ於キマシテハ從來使ツテ居リマシタ三十二人ノ人員ヲ二十四人ニ減ラスト、一人デ九百五人ヲ受持タナケレバナラスト云フコトニナルノデアリマス、ソレモ便所ヘモ行カズ、飯モ食ハズニ高速八時間労働制ニ致シマシテ、一時間一人デ百十二人受持タナケレバナラストデアリマス、即チ一分ニ約二人ヲ擔當シナケレバナラスト云フ状態デアリマス、今度ノ整理ガ如

何ニ無理デアアルカト云フコトハ、例ヘバ出札係ノ例ヲ一ツ申上ゲマスルト、御承知ノ如ク出札係ハ徹夜デヤツテ居リマス、此ノ出札係ガ一日市ヶ谷驛ニ於テ取扱フ件數ハ一千七百七十件、是ガ高速八時間労働ニ致シマシテ一時間七十三枚ノ切符ヲ賣ルノデアリマス、更ニ一分間ニ割ルトハ、二枚ノ切符ヲ賣ルノデアリマス、此ノ一分間、二枚ノ切符ヲ賣ルノデアリマスケレドモ、是ガ例ヘバ追徴金或ハ拂辰ナドガ澤山アリマス、尙ホ不正乗車ノ數ハ實ニ龐大ナ數字ニ上ツテ居リマシテ、此ノ連中ノ整理モヤラナケレバナラスト云フコトニナルノデアリマス、又小荷物係デアリマスガ、小荷物係ハ從來一人デ四十件取扱ツテ居リマス、此ノ小荷物係ガナクナリマスルト、勢ヒ他ノ方カラ之ヲ補充シナケレバナラスト云フコトニナル、斯ウ云フヤウナ現在八時間労働制ニ致シマシテモ、斯クノ如キ過重ナル勞働強化ヲ行ハナケレバナラスト、ソレニモ拘ラズ此ノ人員ヲ變更ニ縮減スルト云フコトノ必要ガ一體何處ニアル、單ニ運輸大臣ガ之ヲ戰時中龐大ナル人員ヲ要シテ居ツタガ、戰爭ガ終ツタノデ其ノ過剩人員ヲ切捨テルノダ、斯ウ云フ風ニ仰シタル致シマスナラバ、此ノ統計數字ガ示シテ居リマスル事實ハ、運輸大臣ノサウ云フ御答辯ヲ根本的ニ覆スモノデアルト思フ

ノデアリマス、併シナガラ國鐵ノ大量裁員ハ別個ノ意味ニ於テ必要デアルト云フコトニナリマスルナラバ、又問題ハ別デアリマスケレドモ、現在ノ國鐵ノ状態ハ、更ニ私ハ北海道カラ九州マデ全部現場調査ヲヤルコトニナツテ居リマスガ、此ノ東京都周邊ニ於ケル一ツノ事實ヲ見マシテモ、決シテ人員ハ過剩デナイ、寧ロ人員ガ足りナイデ困ツテ居ルト云フ現状デアリマス、之ニ對スル運輸大臣ノ御答辯ヲ戴キタイと思フノデアリマス

○平塚國務大臣 御説ノ通り部分的ニ過剩デナイ所モ勿論ゴザイマス、所謂是ハ輸送力ノ減退シナイ所ニハ更ニ人ヲ殖ヤス場合モアルト思ヒマスガ、國有鐵道全線カラ見マスルト、ヤハリ多イト云フコトニナツテ居リマス、今日デモ線路ニ關係スル勞務者ガ不足デ困ツテ居リマス、併シ一方ニ於テ各驛ニ居リマス者ハ相當餘ツテ居ル處モアルノデアリマス、例ヘバ赤松君ノ言ハレタ通り、東京附近ノ非常ニ輸送ガ難カスルヤウナ驛ニ於キマシテハ、恐ラク減ラナイダラウト思フノデアリマス

○赤松委員 昨日ノ東京新聞ニ於テモ書イテ居リマシタガ

○蓬澤委員 赤松君、成タケ簡潔ニ願ヒマス

○赤松委員 更ニ論旨ヲ進メマシテ、運輸大臣ニ御尋ネシタイ、鐵

道ノ現在ノ支出ガ八十一億、營業收益ガ五十四億、二十七億不足ト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、當局ハ十三億ノ赤字ヲ十月カラ値上スルト十五億增收ニナルト云フ、所ガ二十七億ノ赤字ハ決シテ是ハ人件費ガ其ノ一、パーセンテージノ多クヲ占メテ居ルノデアリマス、殆ド物件費、工事費ガ龐大ナル數字ヲ占メテ居ルノデアリマス、而モ私ガ特ニ遺憾ニ堪ヘナイ點ハ、國鐵ハ現在是等ノ物件費、或ハ工事費ヲ資材ノ面カラ削減緊縮ヲ策サウトハシテ居ナイ、舊態依然デアリマシテ、國鐵ノ高級官僚ハ退職致シマスルヤ、是等ノ國鐵ノ周圍ニ鈴ナリニブラ下ツテ居ル、ソシテ國鐵ノ生血ヲ吸ツテ居ル、例ヘバ土木建築請負業或ハ國鐵電氣土木工業、其ノ他澤山ノ「トンネル」會社ガアリマスガ、ソレ等ノ「トンネル」會社ガ國鐵ノ必要トスル所ノ經費ノ非常ニ大キナ割合ヲ食ツテ居ルト云フ事實ガアルノデアリマス、若シサウ云フ赤字ヲ埋メ合ハセルト云フ意味ニ於キマシテ、國鐵ノ大量ノ整理ヲスル、或ハ運賃ノ値上ヲ必要トスルト云フナラバ、先ヅ運輸大臣ハ國鐵ノ周圍ニ鈴ナリニナツテ居ル多クノ「トンネル」會社、或ハ「トンネル」會社ヲ通ジテ國鐵ノ生血ヲ吸ツテ居ル是等國鐵ノ外郭組織ニ對シマシテ徹底的ノ緊縮整理ヲ行ツテ、其ノ上ニ

立ツテ、従業員ニ對スル對策ヲ御發表ニナルコトガ妥當ナヤリ方デハナイカト思フノデアリマス、一體ソレ等ノ「トンネル」會社ニ對シマシテ、運輸大臣ハドウ云フ御考ヘヲ持チ、又ソレ等ニ對スル整理方針ニ關シマシテハ、ドノヤウナ方策ヲ御持チニナツテ居ルカラ御尋ネシタイ

○平塚國務大臣 鐵道ノ經營ニ付キマシテハ、今日ノ時代ニ於テ考ヘナケレバナラストコトハ、民主的ノ經營ヲセナケレバナラスト思ツテ居リマス、鐵道運賃ノ値上ト同時ニ其ノ職員ノ整理ヲ行ヒ、一方ニ於テ民主的ニ國有鐵道ノ經營ヲシテ行カナケレバナラスト云フ方針ノ下ニ、何等カソコニ障礙ガアルナラバ之ヲ排除シマシテ、國民環境ノ下ニ只今御話ノ「トンネル」會社ノヤウナ存在ガ不都合ダト云フコトナラバ改メナケレバナラスト思ヒマス、併シナガラ國有鐵道ハ何デモ自分一人デヤル譯ニ行カヌノデアリマシテ、車ヲ新シケ作ル、發動機ヲ作ル、ト云フヤウナコトマデモ國有鐵道ハ直接ヤツテ居リマセヌ、サウ云フモノガ「トンネル」會社ダト云フ考ヘラ私ハ持つテ居リマセヌ、併シナガラ若シソコニ缺陷ガアツタナラバ、勿論改メル積リデアリマス

○赤松委員 缺陷ガアルナラバ改メルト云フノデナク、先ヅサウ云フモノニ最初ニ手ヲ著ケテ、ヤ

ベキコトヲ行ツテ、然ル後ニ運賃ノ値上或ハ整理ガ客觀的ニ妥當デアルカナイカト云フコトノ基本的ナ政策ヲ決メナケレバナラヌト思フ

時間ガアリマセヌカラ、更ニ私ハ次ニ進メマスルガ、大體鐵道ガ特別會計ノ枠内ニ於テ此ノ赤字ヲ論ズルカラ間違ツテ居ル、今日國鐵ガ多クノ赤字ヲ出シテ居ル原因ハ色々アルノデアリマス、私ハ其ノ點ニ詳細ナ資料ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、ソレハ避ケマス、唯一言申上ゲテ置キタイコトハ、戰爭中ニ鐵道特別會計中カラ七億五千萬圓ヲ一般會計ニヤツテ居ルノデアリマス、所謂戰爭ニ依ツテ受ケマシタル被害ガ今日國鐵ノ大キナ赤字ノ原因ヲナシテ居ルト思ヒマス、隨ヒマシテ其ノ戰爭ノ被害ニ依ツテ生ジタ赤字デアアルナラバ、之ヲ國庫ニ於テ負擔スルノガ、即チ一般會計ニ於テ之ヲ解決スルコトガ妥當ナルヤリ方デハナイカト思フノデアリマス

同時ニ又其ノ一般國民ノ負擔ガ「インフレ」ノ波ヲ潜ツテ、二重三重ニ負擔サレテ行クコトハ言フマデモナイコトデアリマス、サウ云フ「インフレ」ノ拍車ニナルヤウナ運賃値上ヲスルコトハ、中小商工業者ハ現在ドノヤウナ狀態ニアルカト云フコトハ御承知ノ通りデアリマスガ、特ニ中小商工業者ニ對スル影響ハ非常ニ甚大デアリマス、而モ政府ハ當面ノ失業ヲ救済スルコト云フコトヲ、ソシテ又失業者ヲ出シテモ、ソレヲ合理的ニ救済スルコト云フコトニ重點ヲ置イテ、此ノ社會的危機ヲ突破シナケレバナラヌト言ツテ居ルノデアリマスガ、一體國營事業デアリ、政府事業デアアル國鐵自ラガ十萬ニ垂ントスル龐大ナル失業者ヲ作ルト云フコト、而モ打ツベキ手ヲ打タズシテ、ヤルベキコトヲヤラズ

ニ、眞先ニ其ノ一切ノ犧牲ヲ從業員大衆ニ轉嫁スルコトハ不當ナリト思フノデアリマス、又其ノ犠牲ノ對象トナツテ居ル少年及ビ婦女子、是等ニ對スル誠意ノ理由ト致シマシテハ、是等ノ人々ガ素質體力ガ低下シテ居ル、又同時ニ是等ノ人々ガ一家ノ支柱ヲナシテ居ナイト云フ理由ヲ以テ、解雇ノ對象ニシテ居ルノデアリマスケレドモ、是等ノ婦女子及ビ少年ノ素質體力ノ低下致シマシタノハ一體其ノ責任ハ誰ニアルノカ、此ノ責任ハ戰爭中散々酷使ヲ致シマシタ國鐵自身ニアルノデヤナイカ、之ニ對シテ十分ナル素質ノ向上ヲ圖ル爲ノ教育、或ハ體力向上ノ爲ノ勞働條件ヲ作ツテヤラナカッタ國鐵ニ責任ガアルト同時ニ、政府自身ガ當然負ハナケレバナラナイ所ノ責任ダト思ヒマス、若シ國鐵ガサウ云フ理由ヲ以テ、是等ノ青少年或ハ婦女子ヲ誠意セントスルナラバ、全國的ニヤハリ青少年婦女子ニ對スルサウ云フ理由ヲ妥當ナリトシテノ大量減薪ガ勃發スルコトハ火ヲ賭ルヨリモ明カデアルト思ヒマス、運輸大臣御承知ノ如ク、現在ノ國鐵從業員ノ一般年齡ニ付テ全國ノ統計ヲ見マスト、茲ニ其ノ數字ガアルノデアリマスガ：

〔發言スル者アリ〕

○達澤委員長 此ノ數字ニ依リマス

○赤松委員 此ノ數字ニ依リマス

ト、非常ニ從業員自身ガ年ヲ取ツテ居ル、或ハ非常ニ若い、中間層ガナイノデアリマス、隨ヒマシテ今青少年ヲ誠意致シマスト、次ノ國鐵ハ一體誰ガ背負ツテ立ツノデアアルカ、結局從業員ハ老人バカリガ殘ルヤウナ結果ニナルノデアリマス、隨テサウ云フ意味カラシマシテモ、サウ云フ大量減薪ヲ避ケマシテ、別個ノ方法ニ於キマシテ國鐵ノ赤字克服ニ御專念ナサルコトガ我が國現下ノ客觀的情勢ヨリシテ極メテ必要デハナイカト考ヘルノデアリマス

考ラナリマシタガ、今度ノ整理ハマダ具體的ニ決定シテ居ラスノデアリマシテ、一應案ヲ立テテ是カ十分檢討シテ、其ノ上デ實施スル積リデアリマス、鐵道ガ損ガ行ツタカラ、困ルカラ人ヲ整理スルト云フコトダケデハナイノデアリマス、鐵道ノ經營ヲ民主的、合理的ニシマスルニハ、先程申シマシタヤウニ、ヤハリ剩員ハ整理ヲシナケレバナラヌ、是ガヤハリ合理的ニ民主的ニ經營スル一ツノモノデアリマス、其ノコトニ依ツテ赤字ヲ埋メルナドト云フコトハ、ソレモ幾ラカアルデセウケレドモ、鐵道ノ赤字ト云フモノハ非常ニ龐大デアリマス、ドウシテコンナニ赤字ガ出ルカト申シマスルト、鐵道ノ運賃ハ今年ノ三月多少上ツテ居リマス、上ツテ居リマスケレドモ、上ル前ノ鐵道運賃ハ非常ニ安カツタノデアリマス、サウシテ其ノ後、本年三月以後ノ物價ノ上リ方ト云フモノハ、例ヘバ石炭ニシテモ本年三月末マデ國有鐵道ノ便ツテ居タ石炭ハ「トン」二十一圓デアツタガ、今ハ公定價格百五十圓デ、ソレヲ實際鐵道ガ消費スルニハ百八十圓ニ該當シテ居ル、此ノ石炭ノ値額ダケデモ十億以上ニナツテ居リマス、ソレカラ鐵道從業員ノ收入ト云フモノハ三月以後三倍ニナツテ居リマス、或ハ鐵鋼ニシテモ七倍モ八倍モニナツテ居ル、サウシテ運賃ハ大體据置キニ

ナツテ居リマス、是ハドノ角度カラ、素人ガ計算シテモ明カナコトデアリマス、併シ此ノ赤字ガ多イカラ從業員ヲ整理スルコト云フコトニハナラヌノデアリマシテ、先程申上ゲマシタヤウニ民主的、合理的ニ經營ヲスルコトガ當然デアアルノデアリマシテ、其ノ一端トシテ從業員ノ整理ヲ幾ラカ行ハナケレバナラヌト云フコトデアリマス

○赤松委員 運輸大臣ニ對スル質問ハ此ノ程度デ打切りマスガ、私ハ此ノ質問ガ終リマシタ後、國鐵ノ全國關爭委員會ニ臨ムノデアリマス委員會ニ於キマシテハ恐ラク値上反對、大量減薪反對、勞調法反對ノ三綱領ヲ掲ゲテ大臣トノ具體的ナ折衝ニ移ルト思ヒマスガ、此ノ勞調法ト關聯シテ、大量減薪ノ問題ニ付テハ、運輸大臣ハ其ノ及ボス社會的影響ヲ十分御考慮下サイマシテ、御善處下サランコトヲ御願ヒ致シマス

○達澤委員長 商工大臣ニ對スル赤松君ノ質疑ハ二時頃極ク短時間ダケ御許シシマスカラ：ソレデハ午前中ノ質疑ハ之ヲ以テ終リマシテ、午後一時半カラ繼續スルコトニ致シマス、暫時休憩致シマス

午後零時十五分休憩

午後一時五十二分開議

○達澤委員長 午前ニ引續キ是ヨリ會議ヲ始メマス——辻井民之助君

○辻井委員 私人厚生大臣ニ生産管理外一件ニ付テ成ベク簡單ニ御伺ヒシタイト思ヒマス、先ヅ最初ニ先達テカラ厚生大臣、又商工大臣カラ屢ミ企業權ト勞働權ノ二本建ト云フ言葉ヲ承ツテ居ルノデアリマス、企業權ト勞働權ノ境界ト云ツヤウナ點ニ付テ、簡單ニ一應御説明ヲバ得タイト思ヒマス

○河合國務大臣 企業權ト勞働權トノ境界ト云フ御尋ネデアリマシタガ、是ハ申スマデモナク企業權ト云フハ財産權カラ發シテ居リマシテ、ソレニ對シテヤハリ企業ノ指揮命令ガ中心ニナツタ觀念ダト思ヒマス、勞働權ト云フハ、ソレニ對シテヤハリ勞働ヲ提供シテ仕事ヲシテ行クコトデアリマスカラ、自ラソコニ性質ノ差ガアルサウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、境界ヲハツキリスルト云フヨリモ、ドウ云フ點ニソレハ融合性ヲ持ツテ居ルカ、調和性ヲ持ツテ居ルカト云フ點ガ問題ニナルノデアリナイカト思ヒマス、ダカラ今ハツキリシタ境界ヲ示セト言ハレバ、性質ガ違フテ居ルト申スヨリ外ハナイノデアリナイカト思ヒマスガ、御尋ネニ應ジテ又申上ゲマス

○辻井委員 大體私モサウ云フヤウニ考ヘテ居リマス、所ガ我が國ノ勞働組合ハ、最近ヨク勞働委員ナシカデ組合ヲ認メルカ認メヌカト云フ場合ニ問題ニナルノデアリマスガ、勞働組合ニ職員モ勞働者

ト一本ニナツテ組織サレテ居ルト云フ場合モアレバ、又二本建デ職員組合ト勞働組合トガ併立ラシ、ソレガ提携シテ御互ニ運動シテ居ルト云フヤウナ形ヲ執ツテ居ルモノモアリマス、要スルニ職員ノ多クガ組合ニ澤山加盟シテ居ル「アメリカ」ナドニ於キマシテハ、勞働組合ハ純勞働者ト申シマスルカ今ノ大臣ノ御言葉ノ指揮命令ノ下ニ勞力ヲ提供スルト云フ機械的ナラシメテ從事シテ居ル者ノミニ依ツテ組織サレテ居ルノデアリマスルガ、日本デハサウデハナシニ、職員モ加盟シテ居ル、所ガ職員ノ中ニハ、例ヘバ部長トカ或ハ課長トカニナリマスルト、所謂企業面ニ參畫シテ居ル、指揮命令ノ系統ニ屬シテ居ル者ガ少クナイノデアリマス、是ガ勞働組合ニ相當多數ニ加盟シテ居ルコトハ大臣モ十分ニ御承知ニナツテ居ルト思ヒマス、所ガ此ノ勞働法デモ、勞働爭議ノ手段トシテ合法性ヲ認メテ居ラレマスル罷業或ハ怠業ト云フ場合ニハ、此ノ指揮命令ノ系統ニ屬シテ居ル部長或ハ課長マデガ其ノ罷業ニ參加シテ居ル、或ハ怠業ニ參加スルト云フコトニナレバ、是ハ所謂企業面ノ指揮命令ニ反抗シテ居ル譯ナノデアリマス、義ニ例ニ出テ居リマシタ國務大臣ノ所謂女中ガ勝手ニ主人ノ命令ヲ背カズニ云々ト云フ言葉ガアツタノデアリマスガ、ソレモ同ジコトデアリ

マス、最高ノ指揮者ノ命令ニ反シテ職場ヲ放棄シ、或ハ正常ノ作業ヲバ阻害スルト云フノガ取りモ直サズ勞働爭議デアリ、怠業デアリマス、命令ニ反抗シテヤル、サウシテ正常ナ企業或ハ事業ノ運行ヲバ阻害スル、是ハ明ラカニ勞働爭議デアルト思ヒマス、所ガ生産管理ハドウカト申セバ、私ハ此ノ點デ勞働爭議モ「ストライキ」或ハ怠業ト何等變リガナイト思フノデアリマス、何處ニ區別ガアルカ、都ノ従業員組合ガ行ヒマシタ業務管理ハ、決シテ業務管理デハナイト云フ見解ヲ取ラレテ居リマスルガ上カラノ命令ヲ受ケズ、勝手ニ職場ヲ放棄スルトカ、或ハ罷業ハシナカツタケレドモ、命令ガ中斷サレテ、勝手ニ業務ヲバ運行シテ來テ居ルノデアリマス、隨テ唯暴力ヲ伴ウタリ、脅迫ヲ伴フト云フコトハナカツタケレドモ、明カニ上カラノ命令ガ中斷サレテ、勝手ニ、命令ナクシテ業務ヲバ運行シテ居タノデアリマス、此ノ點ニ於テ業務管理ト罷業或ハ怠業トノ相違ハ唯生産ヲ放棄シ、或ハソレヲバ阻害スルカ、或ハ命令ニ服從セズシテ生産ヲ續ケルカノ一點ニナルノデアリナイカト思ヒマス、當局ハ此ノ點ドウ御考ヘニナルカ、先ヅ承リタイト思ヒマス

○河合國務大臣 職員ガ勞働組合ニ加入スル問題ニ付キマシテハ、其ノ限度ハ是ハ「アメリカ」ナドト日本ノ現狀ト相當ノ相違ノアルコトハ私モ認メマス、是ハドチラガ宜イノカ、又法律ノ解釋ハドコラアタリガ妥當カト云フコトニ付キマシテハ、自然ハ裁判所ノ裁判ノ判例其ノ他ニ依ツテ自ラ茲ニ一ツノ觀念ガ出來テ來ルモノダト私ハ考ヘテ居リマス、其ノ點ニ關聯シテ、職員ノ混ツタ怠業トカ「ストライキ」ハ、生産管理ト殆ド變ラヌデヤナイカト云フヤウナ御話デアリマシタガ、ソレハ私根本的ニ違フト思ヒマス、ト云フハヤハリ命令權トカ指揮權ト云フモノハ、是ハ命令權指揮權自體ト、ソレニ關係シ、ソレニ屬シテ、末端ニ仕事ヲサセルト云フコトトハ、是ハ考ヘテ別ニシナクチヤナラヌ指揮命令ノ權力ト、指揮命令ヲ實行スル其ノ一ツノ機關ト申シマスカ、サウ云フモノトハ自ラ區別ヲシナクチヤナラヌノデアリマス、生産管理ト云フモノハ指揮命令權自體ヲ排除スル形ニナルノデス、結局企業者ノ企業自體ヲ排除ス、ル形ニナリマス、其ノ點ニ於テ根本的ノ問題、ソレカラ其ノ末端ノ職員ガ其ノ組合ノ中ヘ入ラヌノ問題ハ、是ハ本質ノ問題デアリマセヌ、サウ云フ事實ガアルカラト云ツテ、生産管理ト云フモノハ適法ダト云フ風ニ私ハ見ルコトハ出來ナイト思ヒマス

○辻井委員 此ノ職員ノ中ニ前申上ゲマシタヤウニ相當多クノ明カラ

ニ指揮命令ノ系統ニ屬シテ居ル者ガ含マレテ居ル、是ハ爭ハレヌ事實デアリマシテ、例ヘバ通信従業員ノ組合ナシニ於キマシテモ、是ハ非常ニ難カシイ問題デ、截然ト區別サスルト云フ譯ニ行カヌノデアリマス、例ヘバ三等郵便局ノ局長デアリマシテモ、是ハ職員デハナイカト思フノデアリマス、モウ少シ大キナ局ニナリマシテモ、例ヘバ東京都全體ノ通信管轄ノ問題ニナリマスレバ、是ハ各局ノ局長マデガ組合ニ參加シテモ宜イ、是ハ利益代表デハナイト云フヤウナ解釋ヲ一般ニ採ラレテ居ル、銀行ヤ會社ニシマシテモ、一支店ダケヲ取レバ、支店長ハ、是ハ利益代表デアアルガ、併シ全體ヲ見タ場合ニハ是ハ必ズシモ利益代表デハナイ、支配人トカ或ハ專務トカガ利益代表デアツテ、其ノ下ニ付ク支店長ハ利益代表デハナイト云フ風ニ見ラレテ居ルノデアリマスルガ、一支店ダケニ組合ガ出來タ場合ニハ、ヤハリ支店長ガ利益代表ダト云フヤウナ解釋ガ今日一般ニ行ハレテ居ルト思ヒマス、斯様ニ指揮命令ノ系統ニ屬シテ居ルカ否カト云フコトハ、決シテハツキリ區別スルコトガ出來ナイ、此ノ指揮命令ノ系統ニ屬シテ居ル者ガ、場合ニ依レバ「ストライキ」モヤツテ居ルノデアリマス、又怠業モヤルト云フコトデアレバ、「ストライキ」モ怠業モ明カニ企業權ヲ

侵シテ居ルト私ハ考ヘルノデアリマス、其ノ指揮命令ノ系統ニ勤務シテ居ナガラ、ソレカラ逸脱シテ、サウシテ勝手ニ職場ヲ抛棄スルトカ、或ハ持場ヲ抛棄スルノデアリマスカラ、是ハ明カニ指揮命令ノ系統ニ屬シテ居ル者ガ、企業者ニ向ツテ服従シナイト云フ結果ニナラテ居ルノデアリマス、是ハ普通ノ常識デ言ヘバ明カニ企業權ヲ侵シテ居ルト私ハ思フノデアリマス、所ガ「ストライキ」或ハ「サボタージ」ト生産管理ノ違フ點ハ唯仕事ヲシナイカ、生産ヲ續ケルカノ一點以外ニ、私ハ何等ソコニ區別ガナイと思フ、此ノ點今ノ御答辯デ私ハドウモハツキリシナイノデ、モウ少シハツキリシタ御答辯ヲ得タイト思ヒマス

○河合國務大臣 企業權ノ指揮命令ノ屈ケ範圍ト言ヒマスレバ、ソレハ其ノ産業自體全般ニ屬キマスカラ、サウナレバ労働者、勤務者皆ソレハヤハリ企業權ノ範圍ガ届クモノデアリマス、サウダカラ阻害スル、阻害セスト云フ言葉ニ御考ヘニナルナラ、端的ニ言ヘバ一寸企業權ヲ奪フコトニナル、企業權自體ノ問題デス、魂ヲ奪フト云フヤウナ風ニ御考ヘニナレバ、サウスレバ此ノ區別ハハツキリ付クト思ヒマス、私ニハハツキリ分ツテ居ル積リデアリマス

○辻井委員 ドウモ今ノ御説明デハ一向ハツキリシナイノデアリマ

スルガ、此ノ點ハ是レ位ニ打切りマシテ、更ニ進ンデ今私ガ申シタヤウニ、「ストライキ」トカ、企業トカ云フモノハ、要スルニ指揮命令ノ系統ニ屬シテ居ル者ハ固ヨリ、一般ノ労働者或ハ普通ノ職員ニ致シマシテモ、之ヲ若シ労働爭議デナシニヤリマシタナラバ、命令ニ服サズニ職場ヲ抛棄スル、或ハ仕事ヲバ怠ケルト云フコトデ、是ハ明カニ懲戒解雇ニナルベキ行為デアリマス、所ガ是ガ労働爭議ノ手段トナリマスルト、ソコニ合法性ガ認めラレルノデアルガ、私ハ必ズシモ「ストライキ」ヤ或ハ急業方一般ノ社會常識カラ考ヘテモ、ドウ云フ點カラ考ヘテモ、何等合法的或ハ合理的ナ行為デハナイト思ヒマス、併シソレガ労働爭議ニ於テ、労働者ガ自分等ノ生活權ヲ護ル爲メ團體的ナ手段トナル場合ニハ、是ハ合法性ガ認めラレルノデアリマス、サウスレバ生産管理モ同ジデアリマス、ソレカラモウハツハ斯様ニ合法性ガ認めラレルニ至ツタノハ、是ハ「アメリカ」ヤ「イギリス」ノヤウナ資本主義ガ正常ニ發達シタ國ニ於テ、職場ヲ抛棄シ或ハ急業スレバ、資本家ニ取ツテハ非常ナ打撃ヲ與ヘルコトガ出來ル、又産業ノ上ニ縱令數日間或ハ長期ニ互ツテ生産ヲ停止セシメルト云フヤウナコトガアリマシテモ、別ニ國家ニ對シテソレ程重大ナ影響ヲ與ヘナイト

云フヤウナ、正常ナ資本主義ノ發達過程ニアル國ニ於テ認めラレテ來タ所ノ是ハ爭議手段デアリマス、然ルニ我が國ニ於テハ、屢ミ此處デモ問題ニナツテ居リマスルヤウニ、現在職場ヲ抛棄シ、或ハ職場ニ居ツテモ急業ヲヤツテ正常ナ労働ヲシナイト云フヤウナコトニナリマスルナラバ、是ハ一刻ヲ争フ産業ノ復興ノ上ニ重大ナ惡影響ヲ及ボス、若シ是ガ擴大シテ行キマスルナラバ、國ノ運命ニモ拘ハル、斯ウ云フ客觀的ナ情勢ノ下ニ於ケル日本ノ労働運動ノ爭議手段トシテハ、仕事モ休マズ、或ル程度資本家ニ向ツテ威壓ヲ加ヘルコトガ出來ル、斯様ナ方法トシテ、既ニ歐米ノ労働運動ガ「ストライキ」急業ト云フヤウナ爭議手段ヲバ發達シテ來タヤウニ、終戰後ノ短イ期間ニ、モウ事實生産管理ト云フ爭議手段ガ發達シテ來タ譯デアリマス、先達デカラノ生産管理ニ付テノ質問ノ中ニハ、生産管理ハ資本家ノ生産「サボ」ニ對シテ對抗スル方法デアル、又生産管理ヲヤツテモ生産ハ決シテ落ちナイ、寧ロ能率ガ上ツテ居ルト云フヤウナ意見ガ屢々出タノデアリマスルガ、私ハ是ハ根本的ナ問題デハナイと思フ、自分ノ正當ナ生活權ヲ擁護シ、主張ヲ通ス爲メノ爭議手段トシテ生産管理ヲヤルノデアリマスルガ、何モ必ズシモ生産ガ上ラナクテモ宜イノデアリ

マス、場合ニ依レバ生産ガ落ちテモ差支ヘナイ、從來通りノ生産ガ上ツテ居ツテモ宜イ、寧ロ落ちテモ私ハ決シテ差支ヘナイと思フ、唯ソレニ對シテ多少サウ云フ行過ギモアリマシタガ、暴力ガ伴フ、脅迫ガ伴フト云フヤウナコトガアレバ、是ハ此ノ點ニ對シテハ徹底的ナ御取締ガアツテ差支ヘナイト思ヒマス、併シ正常ナ作業ト事業ノ運行ト殆ド變リガナイ勤務ヲ致シテ居リマスル以上ハ、何等是ハ刑法上ノ問題ニ問ハレル理由ハナイノデアリマス、「ストライキ」ハ既ニ命令ニ反抗シテ職場ヲ抛棄シタリ急ケルノデアル、ソレト較ベマスレバ命令ニ服從セズシテ、ソシテ命令ガ中斷サレテソレハ其ノ持場ニアツテ平生通りノ作業ヲ續ケル或ハ業務ヲ續ケルト云フノデアルナラバ、何處ニ「ストライキ」ヤ急業ト生産管理トヲ區別スル必要ガアルカ、一方ヲ抑ヘル必要ガアルカ、日本ノ斯ウ云フ特殊ナ客觀的情勢ノ下ニ於テハ、寧ロ労働者ノ爭議手段トシテ現在デハ是ガ殆ド唯一ノ爭議手段ト思ヒマスガ、之ヲ抑ヘルナラバ、全ク労働者ハ手モ足モ拂ギ取ラレシマフ譯デアリマス、私ハ何處ニ「ストライキ」ヤ急業ト生産管理トノ間ニ、現在ノ産業復興ヲ急務トスル日本ニ取ツテ、ソレ程之ヲ否認シナケレバナラヌヤウナ根據ガアルカ、此ノ點ガ先達デカラノ御

説明ニ依ツテモ全然納得ガ行カナイノデアリマス、此ノ點ヲモウ少シ明カニシテ貰ヒタイト思ヒマス

○河合國務大臣 度々申上ガマス通り、生産管理ハイカスノデス、今御話ノ通り、企業ト云フモノハ殆ド一ツノ有機體ト云ツテ宜イ位デアリマス、企業權ト云フモノ、其ノ指揮命令權ハ全體ノ企業ニ互ツテ、ソコデ業務ノ正常ナル運営モアレバ、生産ノ工程モアル、一ツノ工場ナラ工場ヲ例ニ取ツテ見レバ、是ニハ企業權ハ充滿シテ居ル、企業ノ指揮權ガ充滿シテ居ルソコデ「ストライキ」ヤ「サボタージ」或ハ其ノ正常ナル運営ヲ害シテモ宜シイト云フコトダケハ害スルモノヲ「サボタージ」、「ストライキ」ト云フノデアルナラ、勿論労働者モ企業指揮權ノ下ニ働イテ居ル一ツノ部分デアツテ、ソコマデハ法規デ認めテ居ルガ、併シ企業權自體ヲ奪ツテハイカス、ソレハナゼカト云フト、是ハ憲法ニモ明示サレテ居ル、日本ノ法制ハ全部サウデアル、ソレデアラカラソレ自體ヲ奪ツテハイケナイ、ダカラ私ハ魂ト申シマシタ、極ク抽象的ニ言ツタ言葉デアルガ、ソレヲ取ツテハイカス、是ハ他人ノモノデアル、他人ノ權利デアル、自分ノ權利デナイ、ソレハ二本建ニナツテ居ル法制デアルガ故ニ、若シ國ガソレヲ取ツテモ宜イヤウナ國ニナツタナラバ宜イ

○河合國務大臣 度々申上ガマス通り、生産管理ハイカスノデス、今御話ノ通り、企業ト云フモノハ殆ド一ツノ有機體ト云ツテ宜イ位デアリマス、企業權ト云フモノ、其ノ指揮命令權ハ全體ノ企業ニ互ツテ、ソコデ業務ノ正常ナル運営モアレバ、生産ノ工程モアル、一ツノ工場ナラ工場ヲ例ニ取ツテ見レバ、是ニハ企業權ハ充滿シテ居ル、企業ノ指揮權ガ充滿シテ居ルソコデ「ストライキ」ヤ「サボタージ」或ハ其ノ正常ナル運営ヲ害シテモ宜シイト云フコトダケハ害スルモノヲ「サボタージ」、「ストライキ」ト云フノデアルナラ、勿論労働者モ企業指揮權ノ下ニ働イテ居ル一ツノ部分デアツテ、ソコマデハ法規デ認めテ居ルガ、併シ企業權自體ヲ奪ツテハイカス、ソレハナゼカト云フト、是ハ憲法ニモ明示サレテ居ル、日本ノ法制ハ全部サウデアル、ソレデアラカラソレ自體ヲ奪ツテハイケナイ、ダカラ私ハ魂ト申シマシタ、極ク抽象的ニ言ツタ言葉デアルガ、ソレヲ取ツテハイカス、是ハ他人ノモノデアル、他人ノ權利デアル、自分ノ權利デナイ、ソレハ二本建ニナツテ居ル法制デアルガ故ニ、若シ國ガソレヲ取ツテモ宜イヤウナ國ニナツタナラバ宜イ

宜イヤウナ國ニナツタナラバ宜イ

ガ、今ノ日本ノ建テ方ハサウデナ
イカラ、サウ云フコト私ハハッ
キリ致スト思ヒマス、之ヲ逆ニ御
考ヘニナツテ見レバ宜イ、ソレデ
ハモウ思フヤウニ行カヌカラ、今
度ハ企業者ハオ前等勝手ニシロト
ナツテ、合意デナク、任意ニ「ス
トライキ」ヲヤル人ガ皆企業ヲ奪
ツタラドウナリマスカ、日本ト云
フモノハドウナルカ、一體秩序ガ
保テマセウカ、ソレハ明瞭ナ事實
デス、其ノ秩序ヲ保タナケレバナ
ラヌカラ、假ニソレヲヤツタ爲ニ
生産ガ暫定的ニ増加スルトカ、セ
ストカ、サウ云フ問題ガアツテモ
ソレハ小サイ問題デス、國家全體
トシテ見テ、國家ノ秩序ヲ保ツテ
行カナケレバナラス、併シナガラ
生産「サボ」ガ怪シカラヌ、若シ
サウ云フコトノ爲ニ國家ノ生産ガ
衰ヘ、ソレガ企業家ノ過失デア
ル故意デアルトカ云フヤウナ場合ニ
ハ、進ンデ國家ガサウ云フ風ニ命
令シテ、生産「サボ」ヲ抑ヘヨウ
デハナイカ、其ノ法律ハ近イ中ニ
出シマス、サウ云フヤウニ申上
テ居ルノデアリマシテ、私ハ逆ニ
御考ヘニナツテ見タナラバ、日本
ノ國ガドウナルカ、其ノ點ニ付テ
ハ司令部ノ見解モ新聞デモ御承知
ノ通り、ハッキリ我々ニ指導方針
ヲ與ヘテ居リマス、ソレニ隨テ私
共ハハッキリ國家ノ政策ヲ實行シ
テ行ク譯デアリマス、サウ云フ風
ニ御諒承ヲ願ヒマス

○辻井委員 今ノ厚生大臣ノ御答
辯ハ私ニハ詭辯トシカ取レナイノ
デアリマス、凡ユル多クノ産業ニ
於テ一齊ニ全部ガ生産管理ヲヤル
是ハ要スルニ一ツノ政治的ナ「ス
トライキ」ガアルノト同ジヤウニ
是ハ政治的ナ生産管理デアリマ
ス、是コソ「イタリヤ」ニ於テ行
ハレタ工場占領ト何等變リガナ
イ、現在行ツテ居ルモノハ、或ハ
賃金ノ値上デアルトカ、或ハ労働
時間ノ短縮デアルトカ、或ハ經營
協議會ノ設置ト云フヤウナ、具體
的ナ生活擁護ノ爲ノ労働條件維
持改善ノハッキリシタ目的ヲ保持
シテヤツテ居ルノデアリマス、若
シ是ガ政治的ナ目的ノ爲ニ一齊ニ
生産管理ヲ行フト云フヤウナコト
ガアレバ、如何ナル彈壓ヲ加ヘテ
モ敢テ差支ヘナイ、是ハ單ニ生産
管理ダケデハナイノデアリマス、
「ストライキ」ニシテモ私ハ變リ
ハナイト思ヒマス、政治的ナ目的
ヲ持ツテヤルノト、「インフレ」
ノ爲ニ追詰メラレタ者ノ最低生活
ヲ守ル爲ニ、一定ノ要求ヲ出シテ
ヤル、此ノ已ムニ已マレナイ所ノ
生産管理ヲバゴツチヤニシテ威カ
スガ如キコトヲ仰セニナルノハ、
私ハ怪シカラヌト思ヒマス、併シ
是レ以上追求シテモ始マラスト思
ヒマスカラ、此ノ點ハ是デ打切り
マス

次ニ御尋ネ致シタイト思ヒマス
ル點ハ、是モ屢々此ノ委員會デ厚
生大臣並ニ先程商工大臣ナドカラ
モ承ツテ居リマス政府ノ統一シタ
御意見ノヤウデアリマスガ、此ノ
労働關係調整法ガ決シテ資本家ヲ
利スルトカ、労働者ヲ抑ヘルトカ
云フヤウナ、一方の目的ヲ持ツ
テ居ルモノデハナイト云フコトヲ
屢々言明サレテ居ルノデアリマ
ス、當局ノ意圖サレテ居ル目的ハ
サウデアアルカモ知レナイ、併シ此
ノ一方ヲ利スルノデハナイト云フ
其ノ意圖ハ、事實ノ上ニハ決シテ
現ハレテ居ナイト思フ、サウシテ
又是レ程ハッキリシタコトガナゼ
全國ノ労働者ニ分ラナイノカ、其
ノ點ガ殘念デアルト云フヤウナ言
葉モ屢々伺ハレルノデアリマスガ
全國ノ労働階級ハ決シテ馬鹿ヤ氣
狂ヒバカリデハナイノデアリマシ
テ、常識デ誰ニデモ分ルコトガ分
ラズニ、ワザ／＼全國カラ東京ヘ
絶エズ代表ガ反對ノ陳情ニ參ツテ
居リマス、又數日前ニハ數千ノ關
係組合ノ者ガ此ノ議事堂ノグルリ
ヘ示威運動ヲ行ツテ居ル、決シテ
譯モナシニ斯様ナコトヲヤル等ガ
ナイノデアリマス此ノ猛烈ニ反對
運動ヲヤル裏ニハ、相當ノ理由ガ
アレバコソゴト云フ點ヲナゼ御考
ヘニナラナイノカ、我々ノ方デハ
此ノ點ヲ非常ニ殘念ニ考ヘテ居ル
ノデアリマス、現在此ノ調整法ニ
勤勞階級ガ反對スルノハ内容ニモ
固ヨリ反對デアリマスルガ、ソレ
ト同時ニ之ヲ御出シニナツタ意圖

ガ、要スルニ労働階級ニ對スル反
動、攻撃デアルト云フヤウニ一般
ノ労働階級ハ理解シテ居ル、現在
ノ日本ヲ再建スル爲ニハ、ドウシ
テモ労働階級ガ奮ヒ起ツテ生産ニ
挺身シナケレバナラスノデアリマ
ス、其ノ爲ニハ度々厚生大臣モ申
サレテ居ルヤウニ、全國ノ全労働
階級ト、ソレカラ企業ノ面ニ於ケ
ル資本家或ハ使用人トガ、オ五ヒ
ニ同一ノ立場ニ立チ、同一ノ實力
ヲ以テ其ノ上デ手ヲ握リ合ヒ、協
力シテコノ圓滿ニ産業ノ復興ガ出
來ルノデアリマス、然ルニ我が國
ノ現状ハドウカト申セバ、終戰マ
デハ彈壓ニ彈壓ヲ被ツテ、労働組
合ハ満足ナ發達モシナイ終ヒデ、
戰爭ガ起ルト悉ク解散セシメラレ
テシマツタ、終戰以來約一年足ラ
ズノ間ニ漸ク政治的自由ヲ得テ組
合ハ發達シテ參ツタノデアリマス
ガ、併シ現在ノ労働組合ノ状態ハ
頗ル病弱ナ状態デアアル、言論モ自
由ニナリ、結社モ自由ニナツタカ
ラ、燎原ノ火ノ如ク組合ハ數ノ上
デハ發達ハシテ參リマシタガ、マ
ダ其ノ内容ニ至ツテハ非常ニ弱イ
状態デアアル、此ノ労働者トサウシ
テ資本家側ト比ベマスルナラ
バ、資本家側デハ戰爭前カラ凡ユ
ル封建的、獨裁的ナ方法ニ依ツテ
労働者ヲ搾取シ、或ハ彈壓スルノ
ニ掛ツテ來タ、斯ウ云フ點デハ資
本家側デハ至レリ盡セリデアリマ
ス、此ノ資本家側ニ對抗シテ、

最低生活ヲ守リ、自分ノ自由ヲ守
ツテ、對等ノ地位ニ立ツテ産業復
興ニ協力スル爲ニハ、モット／＼
労働階級ヲ育成スル必要ガアル、
労働組合ヲ發達セシムル必要ガア
ルノデアリマス、其ノ爲ニハ先ツ
労働者ヲ早く設置スル、サウシ
テ労働階級ノ福利ノ爲ニ、又其ノ
育成ノ爲ニ專任ニ力ヲ入レル、
又労働者ガ安樂ニ働キ得ルヤウニ
或ハ労働保護法、或ハ労働法ト云
フヤウナモノヲ早く制定スル、
一方資本家側ノ無茶ナ、時局ヲ認
識シナイ態度ニ對シマシテハ、生
産「サボ」ノ徹底ナ取締ヲヤ
ル、生産命令ヲ出スト云フヤウナ
資本家側ニモ相當徹底シタコトヲ
ヤル、サウシテモツト労働者、勤
勞階級ノ組織ノ状態ヲ高メルヤウ
ニ協力ラシテ、其ノ上デ、尙ホ無
理解ニ、無自覺ニ、労働者ガ國家
ノ基礎ヲ危クスルヤウナ、官吏ヤ
公吏或ハ公益事業ニ従事シテ居ル
者ガ「ストライキ」ヲヤルト云フ
ヤウナコトデアアルナラバ、幾ラ之
ニ彈壓ヲ加ヘラレマシテモ、我々
ハ何等之ニ反對スル理由ヲ持タヌ
ノデアリマス、然ルニ今申上ゲタ
ヤウニ此ノ弱イ、マダ病弱ノ状態
ニアル労働組合、或ハ労働階級ノ
状態ニ對シテ、打ツベキ手ハ十分
打タナイ、サウシテ漸ク發達シタ
組合ニ對シテ、是ハ決シテ一方ヲ
抑ヘル爲デハナイト言ハレテ居ル
ガ、此ノ間中カラ：

○達澤委員長 辻井君ニ注意致シ
マスガ、其ノ點ハモウ屢ニ問題ニ
ナツテ居ルノデスカラ、成タケ簡
單ニ、アナタノ時間モ相當經ツテ
居リマスカラ……

○辻井委員 内務大臣ニモ、司法
大臣ニモ承ツタノデアリマスガ、
團結權、罷業權ヲ奪ヒナガラ、ソ
レニ代ル何等ノ施策モ御持チニナ
ツテ居ラス、唯天降リノニ成ベク
給與ヲ良クスルヤウニ考慮シヨウ
ト思フト云フヤウナ程度デアリマ
シテ、何等民主的ニ今後豫想サレ
得ル生活費ノ暴騰ニ對シテ、對處
スル爲ノ何等ノ施策モ御持チニナ
ツテ居ナイ、罷業權或ハ團結權ヲ
奪ハレルナラバ、今日マデノ例カ
ラ見マシテ、必ズ置去リニサレ
テ、給與ノ問題ニシマシテモ其ノ
他ノ待遇モ良クナラナイノハ明カ
デアリマス、然ルニ之ニ何等ノ施
策モ施サズシテ、サウシテ是等ノ
モノヲ奪ウテシマフ、サウシテ唯
一ノ爭議手段タル生産管理ハ非合
法デアルト云フヤウナ態度ヲ示サ
レル、是デハ勞働階級ガ、公平ト
カ何トカ言ハレテモ、明カニ反動
政勢ト考ヘルノハ當然デアルト思
ヒマス、私等モ幾ラ質問ヲ續ケテ
モ、今マデノ當局ノ言明ニ依リマ
シテハ、此ノ考ヘヲ何等改メルコ
トガ出來ナイ、此ノ點ドウ御考ヘ
ニナツテ居ルカ、私ハ最後ニ是ダ
ケ御伺ヒシタイト思ヒマス、勞働
者ハ非常ニ弱イ状態ニアルカラ、

モットノ育成シナケレバナラス
ノデアリマス、ソレヲヤル間三月
ヤ半期此ノ勞調法ガ遅レタ所デ、
國家ガ動搖スルノドウノト云フ心
配ハナイ、既ニ幾箇年カ是ナクシ
テ大シタ支障モナク來テ居ル、斯
様ナモノヲ出ス前ニ、モット當局
ハ勤勞階級ヲ納得サスヤウナ、心
トカ魂トカ云フコトヲ申サレタノ
デアリマスガ、彼等ノ心ニビツタ
リト食ヒ人ルヤウナ、彼等ノ納得
スルヤウナ態度ヲナゼ御執リニナ
ラスカ、全國ノ勤勞階級ガ、斯様
ニ猛烈ニ反對スルノハ、要スルニ
納得ガ行カナイカラデアリマス、
決シテ馬鹿デモ氣狂ヒバカリデモ
ナイ、相當ナ理由ガアレバコソデ
アル、納得セシメズニ、無理ニ押
通スナラバ、必ズ私ハ「ゼネラル・
ストライキ」ガ起ルカドウカ知ラ
ナイガ、必ズ何等カノ反動ガソコ
ニ起リマシテ、産業復興ノ上ニ重
大ナ支障ハ私ハ免レスト思フノデ
アリマス、此ノ點ニ付テ私ハ最後
ニ大臣ノ明快ナ御答辯ヲ承リタイ
ト思ヒマス

○河合國務大臣 勞働運動特ニ勞
働組合ノ健全ナル發達ヲ希望シ、
ソレニ向ツテ出來ルダケノコトヲ
致シマス政府ノ方針ハ、モウ度々
申上ゲタ通りデアリマシテ、唯組
合ノ健全ナル發達ヲ希望シテ居ル
譯デアリマス、ソレガ横ヘ外レテ
ハ困ルノデアリマス、又國家全體
ノ秩序ノ上カラ必要ナコトハ、自

ラ制限モ加ハツテ來ルト思ヒマ
ス、結局申セバ勞働者ノ健全ナル
自覺ト云フコトノ線ニ向ツテ、健
全ナル發達ヲ期待シテ居ル次第デ
アリマス、ソレデ勞働調整法ノ目
的ハ言フマデモナク、國家ノ現狀
カラ照ラシマシテ、爭議ト云フモ
ノヲ出來ルダケ未然ニ防止スル
云フコトト、公益ノ維持ト云フ二
點ニ盡キルノデアリマシテ、度々
申上ゲマシタ通りニ、資本家ヲ擁
護スルトカ、勞働階級ヲ彈壓スル
トカ云フヤウナコトハ、夢想ダニ
セザル所デアリマス、此ノ點ハハ
ツキリドウ御諒解ヲ願ヒタイト
思ヒマス

○辻井委員 要スルニ幾度承ツテ
モ、罷業權ヲ奪ヒ或ハ爭議權ヲ制
限スル以上ハ、罷業ヲ未然ニ防グ
其ノ源ヲ防止スルコト云フ爲ニ、一
般ノ被打ノ罷業ノ出來ル、爭議ノ
出來ル勞働者或ハ職員ト異ナル何
等カノ施策位ハ講ズベキデアリマ
ス、ソレヲ先ツ行フベキデアリマ
ス、然ルニ幾ラ承ツテモ、サウ云
フ點ニ付テ何等ノ考慮ガ拂ハレテ
居ナイノデアリマス、刑務所ニ勤
メル者トカ、或ハ司法官デアリマ
ストカ、公共事業ニ従事スル者
ニ、賃金ノ値上ナドノ問題ガ起ツ

テ來レバ、ソレガ延イテハ爭議ニ
ナルノデアリマス、之ヲ未然ニ防
グ爲ニ此ノ勞調法ニハ、斡旋トカ
何トカ云フノガアリマスガ、是ハ
既ニ問題ガ起ツテカラノ問題デア
リマス、斯ウ云フ問題ヲ起サヌ爲
ノ、何等ノ施策モ御持チニナツ
テ居ナイノデアリマス、此ノ點
ヲ私ハ聽クノデアリマスガ、何
等サウ云フ施策ヲ御持チニナラ
ス、是デハ反動政勢トシテ反對
スルノハ決シテ無理モナイノデア
リマス、政治ト云フモノハ、唯
理窟ダケ押付ケタノデハ、是
ハ政治デハナイ、納得サシテ行
クノガ、私ハ本當ノ政治デアラ
ウト思ヒマス、決シテ獨斷的ニ
一方ヲ抑壓スベキモノデハナイ、
理解シナイノガ惡イト云フヤウナ
コトデハ、政治ト申スコトハ出來
ナイノデハナイカト思ヒマス、是
レ以上御質問ヲシテモ無駄デア
ルト思ヒマスカラ、私ハ是デ終リ
マス

○達澤委員長 上井君ニ御諮リ致
シマス、内務大臣ガ見エテ居リマ
スカラ、順序ハ村上君ニナツテ居
リマスガ、折角内務大臣ガ御見エ
下サツテ居リマスカラ、アナタニ
許シマス、成タケ簡單ニ……
○土井委員 大村内務大臣ニ二、
三極メテ簡單ニ質疑ヲ申上ゲタイ
ト思フノデアリマスガ、勞働組合
法ノ第一條ニ依リマスルト、勞働
者ガ團體協約權ヲ結ブコトガ當然

ノ權利トシテ認メラレテ居ルノデ
アリマスルガ、特ニ此ノ場合ニ御
聽キシタイ點ハ、内務省管轄ニ於
キマスル所ノ各府縣、之ニ從事シ
テ居リマスル官吏ノ勞働組合ガ、
若シ團體交渉權ヲ要求致シマスル
場合ニ於テ、其ノ對象トナリマス
ル所ノモノ、例ヘバ内務省關係ナ
ラバ内務大臣ガ其ノ代表ニナルベ
キデアルノカ、或ハ府縣ノ場合ニ
於テハ府縣知事ガ其ノ代表トシテ
責任ノ地位ニ立ツノデアルカ、ナ
ゼ斯ウ云フ點ヲ質問スルカト言ヒ
マスルナラバ、地方自治體デア
ル所ノ市町村ニ於キマシテ、過般橫
濱市ノ從業員組合ノ諸君ガ團體協
約權締結ノ要求ヲ提出シタノデア
リマス、當時橫濱市長ノ半井氏ハ
團體交渉ノ相手方トシテ自分ガ擔
當スルコトハ適當デナイ、少クモ
團體交渉權ノ相手方トシテ、市ヲ
代表スル者ハ市會議員デアルト云
フ立場ヲ執ツタノデアリマス、其
ノ爲ニカナリ長イ間紛爭致シマシ
テ、殊ニ半井市長ハ、當時市會ガ
若シ此ノ問題ニ付テ自分ヲ責任者
トシテ交渉ノ締結ニ當レト云フ命
令ガアルナラバヤルケレドモ、市
長自身トシテハ責任ヲ持ツ譯ニ行
カト云フヤウナ言辭ヲ弄シテ居
ツタノデアリマス、サウ云フ觀點
カラ致シマスルナラバ、産業又ハ
公營事業等ニ於キマスル所ノ團體
協約ノ相手方ヲ明確ニ此ノ際シテ
置イテ載クコトガ極メテ妥當デア

一

ルト考へマスノデ、之ニ對スル見解ヲ御聽キ申上ガタイノデアリマス

○大村國務大臣 勞働運動或ハ勞働爭議、要スルニ勞働行政上ノ問題ニ付キマシテハ、私カラ此處デ申上グルマデモナク、今日厚生省ガ所管サレテ居ルコトデアリマシテ、只今ノ御尋ネニ付キマシテハ、法律關係ノ主管デゴザイマセヌノデ、直チニハツキリトシタ御答辯ヲ申上グルコトハ困難デアリマスルガ、御引例ニナリマシタ横濱市ノ實例ノ如キハ、團體交渉權ノ相手ハ市長デアルト考へテ居リマス

○土井委員 私人勞働行政ノ問題ニ付テハ、厚生大臣ガ全面的ニ責任ヲ持つト云フコトダケハ十分承知シテ居ツタノデアリマスルガ、併シ内務大臣管轄下ニ於ケル總テノ問題ニ付キマシテハ、是ハ内務大臣ノ主管ニ屬スベキデアラウ、斯様ニ考へテ居ツタノデアリマス、例ヘバ國鐵ノ問題ハ運輸大臣ガ大體勞働行政ノ面ニ直接今當ツテ居ルヤウデアリマス、或ハ又遞信ノ場合ニ於キマシテハ、一松逕信大臣ガ之ニ當ツテ居ルノデアリマス、サウ云フ關係カラ致シマシテ、之ヲ御聽キシタノデアリマスルガ、若シ勞働行政全般ニ對シマシテ、厚生大臣ガ其ノ衝ニ當ツテ、官吏全體ノ問題ニ付テ當ツテ行クト云フコトデアリマスナラバ、改

メテ厚生大臣ニ御聽キスルヤウニ致シマシテ、内務大臣ニ對スル質問ヲ私ハ打切りタイト思ヒマス、尙ホ順序ノ關係デ、村同上僚議員ニ讓ツテ戴キマシタノデ、村上議員ガヤリマシテ後、厚生大臣ニ引續イテ其ノ問題ニ付テ御質問致シマス

○大村國務大臣 今御述べナリマシタコトニ付キマシテ、私ノ申上ガヤウガ足りマセヌカラ補足致シテ置キマス、固ヨリ内務省ノ關係ニ於テ團體交渉ノ問題ガ起ルヤウナ場合ニ於キマシテハ、内務大臣ガ其ノ責任者ニナル場合モアラウト思ヒマス、サウ云フ場合ニ於キマシテハ能ク勞働行政ノ主管者トモ打合セテ、間違ヒノナイヤウニ運営ハ致シテ參リマス、其ノ下デ固ヨリ内務大臣ニ責任ノアル場合ニハ、十分責任ヲ執ツテ當ル積リデ居リマス、其ノヤウニ御承知願ヒマス

○土井委員 然ラバ其ノ點ニ付テ御聽キ申上ガタイノデアリマス、内務大臣ガ自分ノ主管シテ居ル行政面ニ於テ起ツテ來ル問題ニ付テ、適當ニ責任ヲ持つテ處理サレル、固ヨリ其ノ處理ニ對シテハ、ソレノ關係方面ト打合セテシテ、萬遺漏ノナイヤウニスルト云フ堅實ナル御當辯ヲ受ケタノデアリマス、ソコデ勞働組合法ノ第二十三條ニ、一ツノ工場ニ於テ従業員ガ四分ノ三以上ノ決議ヲ以テ事ヲ行フ場合ニ於キマシテハ、ソレガ全般ニ適用サレルト云フコトニナツテ居リマス、假ニ一ツノ例デアリマスルガ、或ル縣ニ於キマシテ、其ノ縣ニ例イテ居リマスル官吏ノ諸君ガ従業員組合ヲ作りマシテ、「クローズド・ショップ」ヲ締結致シタ、斯ウ云フ場合ニ於キマシテ、此ノ「クローズド・ショップ」ヲ勞働組合ノ工場ト致シマシテ、若シ勞働組合ガ其ノ同ジ従業員ノ中ニ於テ組合ヲ攪亂シ、或ハ組合ノ目的ニ反スルヤウナ行爲ガアツタ場合ニ、之ヲ除名スル場合ガアルノデアリマス、其ノ除名ガ四分ノ三以上ノ賛成ヲ得テ決定サレマシタ場合、勞働組合ガ除名シタ場合ニ、政府ハソレ等ノ除名サレマシタ官吏ノ解雇ヲ斷行スルヤウナコトガ出來ルカドウカ、ヤル意思ガアルカドウカ、サウ云フ點ヲ一應御聽キシタイ

○憲政政府委員 極メテ技術的ノ問題ノヤウデアリマスノデ、私カラ答辯サシテ戴キマス、尙ホ御質問ノ趣旨ニ違ヒマシタラ、改メテ御質問ニ依ツテ更ニ御答辯致シマス、御承知ノ通り「クローズド・ショップ」ノ協定ニ付テノ法律上ノ解釋ハ非常ニ困難ナ問題ニナツテ居リマス、根本的ニ申シマスルト、團體權ノ自由ト云フコトハ團結スル自由ト脱退ノ自由ト云フヤウナ積極消極兩面ノ自由ガアル譯デアリマシテ、隨ヒマシテ組合員

デナイカラアレハ解雇スルト云フヤウナコトハ、組合員デアアルガ故ニ、解雇シチヤイカスト云フコトト同ジヤウニ言ヘルノデハナイカト云フヤウナコトカラシテ、一面ニ於キマシテハ「クローズド・ショップ」ノ協定ニ於キマシテ、組合員デナイ者ヲ解雇スルト云フ勞働協約ガ無効デアアルカドウカト云フコトハ、極メテ有力ニ反對論ガアルヤウニ承知シテ居リマス、併シナガラ現在ノ勞働組合法ニ於キマシテノ大體ノ解釋ハ、此ノヤウナ次ニ申述べマス限度ニ於テ「クローズド・ショップ」ノ協定ハ有

効デアルト云フヤウニ解釋シテ居リマス、ト申シマスノハ「クローズド・ショップ」ノ協定ハ使用者側ト組合トノ約束デゴザイマス、隨テ使用主ハ組合ニ對シテ組合員デナイ者ヲ解雇スル、斯ウ云フ約束ヲスル譯デス、隨テ組合カラ除名サレタ者ハ、使用主ハ組合ニ對シテ解雇スル義務ヲ持つ、其ノ義務ヲ遂行スル爲ニハ、解雇ハ合法的ナ手續ヲ履マナケレバ其ノ義務ノ履行ガ出來ナイ、斯ウ云フコトニナル譯デス、ソコデ一般ノ民間ニ於キマシテ、民法ノ雇傭契約ノ關係デ解雇致シマスル場合ニハ民法ノ規定ニ依リマシテ、或ハ十四日ノ豫告期間トカ、ソレ相當ノ正當ナ理由ニ依リマシテ之ヲ解雇スル、官吏ノ場合ニ於キマシテモ、サウ云フ解雇ト云フモノニ對スル

關係ニ於キマシテハ、解雇ノ合法的ナ手續ヲ經テ之ヲ解雇シナケレバナラヌ譯デアアル、其ノ手續ヲ經ズシテ之ヲ解雇スレバ、是ハ違法ノ解雇ト云フコトデ損害賠償トカ色々ナ問題ガ派生スル譯デアリマス、隨ヒマシテ民間ノ場合ニ於キマシテモ、役所關係ニ於キマシテモ、「クローズド・ショップ」ノ協定ヲ締結致シマス場合ニハ、使用者側ニ於キマシテ合法的ニ解雇シ得ルト云フ條件、サウ云フコトヲ頭ニ置イテ締結スル必要ガアル譯デアリマス、デアリマスカラ一般ニ官吏ノ場合ニ於キマシテハ組合トサウ云フ約束ヲ致シマシテモ、實際ノ場合ニ於テ組合カラ大多數ノ決議ヲ除名ニナツタト云ヒマシテモ、官吏法上之ヲ合法的ニ解雇シ得ルカドウカト云フコトハ、必ズシモ不可能トハ考ヘマセヌケレドモ、實際問題トシテ非常ニ困難ナ問題ニナルト思ヒマス、隨ヒマシテ官吏關係ニ於キマシテハ、最初カラ「クローズド・ショップ」ノ協定ヲ結ブト云フコトガ元々無理ニナル、斯ウ云ツタコトニナルト思ヒマス

○土井委員 只今ノ答辯ニ依リマス、ドウモハツキリシテ居ルヤウナ居ナイヤウナ憾ミガアルノデアリマス、私特ニ官吏ノ問題ヲ舉ゲマシタノデ非常ニ當局ガ答辯ニ困窮シテ居ルノデハナイカト思ヒマスガ、假ニ民間ノ工場ノ場合ノ

關係ニ於キマシテハ、解雇ノ合法的ナ手續ヲ經テ之ヲ解雇シナケレバナラヌ譯デアアル、其ノ手續ヲ經ズシテ之ヲ解雇スレバ、是ハ違法ノ解雇ト云フコトデ損害賠償トカ色々ナ問題ガ派生スル譯デアリマス、隨ヒマシテ民間ノ場合ニ於キマシテモ、役所關係ニ於キマシテモ、「クローズド・ショップ」ノ協定ヲ締結致シマス場合ニハ、使用者側ニ於キマシテ合法的ニ解雇シ得ルト云フ條件、サウ云フコトヲ頭ニ置イテ締結スル必要ガアル譯デアリマス、デアリマスカラ一般ニ官吏ノ場合ニ於キマシテハ組合トサウ云フ約束ヲ致シマシテモ、實際ノ場合ニ於テ組合カラ大多數ノ決議ヲ除名ニナツタト云ヒマシテモ、官吏法上之ヲ合法的ニ解雇シ得ルカドウカト云フコトハ、必ズシモ不可能トハ考ヘマセヌケレドモ、實際問題トシテ非常ニ困難ナ問題ニナルト思ヒマス、隨ヒマシテ官吏關係ニ於キマシテハ、最初カラ「クローズド・ショップ」ノ協定ヲ結ブト云フコトガ元々無理ニナル、斯ウ云ツタコトニナルト思ヒマス

○土井委員 只今ノ答辯ニ依リマス、ドウモハツキリシテ居ルヤウナ居ナイヤウナ憾ミガアルノデアリマス、私特ニ官吏ノ問題ヲ舉ゲマシタノデ非常ニ當局ガ答辯ニ困窮シテ居ルノデハナイカト思ヒマスガ、假ニ民間ノ工場ノ場合ノ

關係ニ於キマシテハ、解雇ノ合法的ナ手續ヲ經テ之ヲ解雇シナケレバナラヌ譯デアアル、其ノ手續ヲ經ズシテ之ヲ解雇スレバ、是ハ違法ノ解雇ト云フコトデ損害賠償トカ色々ナ問題ガ派生スル譯デアリマス、隨ヒマシテ民間ノ場合ニ於キマシテモ、役所關係ニ於キマシテモ、「クローズド・ショップ」ノ協定ヲ締結致シマス場合ニハ、使用者側ニ於キマシテ合法的ニ解雇シ得ルト云フ條件、サウ云フコトヲ頭ニ置イテ締結スル必要ガアル譯デアリマス、デアリマスカラ一般ニ官吏ノ場合ニ於キマシテハ組合トサウ云フ約束ヲ致シマシテモ、實際ノ場合ニ於テ組合カラ大多數ノ決議ヲ除名ニナツタト云ヒマシテモ、官吏法上之ヲ合法的ニ解雇シ得ルカドウカト云フコトハ、必ズシモ不可能トハ考ヘマセヌケレドモ、實際問題トシテ非常ニ困難ナ問題ニナルト思ヒマス、隨ヒマシテ官吏關係ニ於キマシテハ、最初カラ「クローズド・ショップ」ノ協定ヲ結ブト云フコトガ元々無理ニナル、斯ウ云ツタコトニナルト思ヒマス

○土井委員 只今ノ答辯ニ依リマス、ドウモハツキリシテ居ルヤウナ居ナイヤウナ憾ミガアルノデアリマス、私特ニ官吏ノ問題ヲ舉ゲマシタノデ非常ニ當局ガ答辯ニ困窮シテ居ルノデハナイカト思ヒマスガ、假ニ民間ノ工場ノ場合ノ

關係ニ於キマシテハ、解雇ノ合法的ナ手續ヲ經テ之ヲ解雇シナケレバナラヌ譯デアアル、其ノ手續ヲ經ズシテ之ヲ解雇スレバ、是ハ違法ノ解雇ト云フコトデ損害賠償トカ色々ナ問題ガ派生スル譯デアリマス、隨ヒマシテ民間ノ場合ニ於キマシテモ、役所關係ニ於キマシテモ、「クローズド・ショップ」ノ協定ヲ締結致シマス場合ニハ、使用者側ニ於キマシテ合法的ニ解雇シ得ルト云フ條件、サウ云フコトヲ頭ニ置イテ締結スル必要ガアル譯デアリマス、デアリマスカラ一般ニ官吏ノ場合ニ於キマシテハ組合トサウ云フ約束ヲ致シマシテモ、實際ノ場合ニ於テ組合カラ大多數ノ決議ヲ除名ニナツタト云ヒマシテモ、官吏法上之ヲ合法的ニ解雇シ得ルカドウカト云フコトハ、必ズシモ不可能トハ考ヘマセヌケレドモ、實際問題トシテ非常ニ困難ナ問題ニナルト思ヒマス、隨ヒマシテ官吏關係ニ於キマシテハ、最初カラ「クローズド・ショップ」ノ協定ヲ結ブト云フコトガ元々無理ニナル、斯ウ云ツタコトニナルト思ヒマス

例ヲ舉ゲテ見マスナラバ、之ヲ戰
争以前ニ於キマスル所ノ「クロ
ズド・ショップ」ノ工場デアリマ
ス、所謂團體協約權ヲ締結シタ工
場ニ於キマシテ、労働組合カラ除
名サレタ場合ニ於キマシテハ直チ
ニ會社ガ之ニ對シテ解雇ヲスルト
云フコトガ既定ノ事實トシテ行ハ
レテ居ルノデアリマス、固ヨリ解
雇ヲ致シマス場合ニ於テ工場法ノ
示ス所ノ豫告手當ノ十四日分デア
ルトカ、退職手當トカ、サウ云フ
モノハ當然支給サレナケレバナラ
ナイノデアリマス、唯「クローズ
ド・ショップ」工場ヲナゼ締結ス
ルカ、即チ團體協約權ガ法的ニ勞
働組合ノ第一條ニ掲ゲラレテ居
ル理由ト云フモノハ、其ノ工場ノ
安寧秩序ヲ維持スル、又二ツモ三
ツモ團體ガ存在スルト云フコトハ
生産ニ非常ニ影響スルト云フ觀點
カラ「クローズド・ショップ」ノ
工場ト云フモノガ行ハレテ居ル、
例ヘバ労働協約ノ問題ニ付テモ、
四分ノ三以上ノ賛成ヲ得テ協約ヲ
シ、其ノ條件ガ施行サレマスナラ
バ、殘餘ノ四分ノ一ノモノモ此ノ
恩典ニ浴スルコトハ言フマデモナ
イ所デアル、所ガ此ノ「クローズ
ド・ショップ」ノ工場ニ於キマシ
テ、例ヘバ二ツノ團體ガ出來ル、
其ノ場合一方ガ、所謂二ツノ團體
ヲ作ラウトスル意圖ガアツテ、既
存ノ労働團體ニ對シテ少數ノ人々
ガ「フラクシオン」ノ運動ヲヤ

ル、即チ其ノ組合ノ秩序ヲ破壊ス
ルト云フヤウナコトヲ考ヘマシ
テ、組合ガ除名處分ヲスル、サウ
云フ場合直チニ會社ハ之ヲ解雇ス
ルト云フ、此ノ建前ヲ執ラナケレ
バ労働組合ノ完全ナル組織ヲ守ツ
テ行クコトガ出來ナイノデアリマ
ス、デアリマスカラ、官吏ノ場合
ニ於テモ、縣廳ニ於テ、縣知事ガ
其ノ縣ニ勸イテ居ル官吏ノ職員組
合、之ト「クローズド・ショップ」
所謂團體協約權ヲ結ビマス場合ニ
於キマシテ、此ノ組合ノ方針、或
ハ運動ノ内容其ノ他ニ對シマシ
テ、之ヲ破壊シ、或ハ統制ヲ紊亂
スルト云フヤウナ場合ガアリマシ
タナラバ、之ニ對シテ組合ハ默視
スルコトハ出來マセヌカラ、結局
除名スルト云フ場合ガ出來テ來
ル、其ノ場合、官公署トシテハ組
合ノ除名直チニ官吏ノ解雇ト云フ
コトハ出來ナイト云フコトニナツ
タラ、「クローズド・ショップ」ノ
意義ト云フモノハ全ク失ハレテ行
クノデハナイカ、此ノ點ハ將來團
體協約權ト云フモノニ一定ノ指針
ヲ與ヘルモノデアルカラ、是ハ內
務大臣ノ所管デナケレバ厚生大臣
カラ、「クローズド・ショップ」ト
云フモノノ權限、ソレカラ四分ノ
三以上ノ者ニ付テ除名ヲ勸告シ
タ場合ノ處置、之ニ對スル合法性
ヲモウ少シの確ニ御答辯願ヒタイ
ト思ヒマス

○河合國務大臣 「スクローズド・
ショップ」ノ問題ニ付キマシテハ
大體慣例ニ依ツテ大體ノ限度ヲ決
メテ行ク積リデアリマス、只今ノ
所、立法技術ニ於テ其ノ限界ヲ明
示スルト云フ考ヘテ持ツテ居リマ
セヌ、唯官廳ノ問題ニ關聯シマシ
タ「クローズド・ショップ」ノ問
題ハ、官吏ト云フモノノ雇傭契約
ノ性質ト一般民間ノ雇傭契約ノ性
質トノ間ニハ差異ガアルト私ハ考
ヘマスノデ、一般民間デハ差支ヘ
ナイコトモ、官吏ノ社會デハサウ
ハ行カヌト云フヤウナ事例ガアル
ヤウニ私ハ解釋シテ居リマス

○大村國務大臣 労働法規ノ詳細
ナ點ニ付キマシテハ私詳シイコト
ヲ存ジマセヌノデ起リマシタ具體
的ナ場合ニ付テハ厚生省ト能ク打
合セマシテ誤リナキヲ期シテ行キ
タイト存ジテ居リマス

○土井委員 只今ノ御答辯デハド
ウモ私満足ノ行カナイ點ガアルノ
デアリマスガ、政府當局トシテ此
ノ點ニ付テノ答辯ニ非常ニ苦心ノ
點ガアルト思ヒマスノデ、私ハ特
ニ斯ウ云フコトダケヲ申上ゲテ置
キタイト思ヒマス、労働運動ノ健
全ナル發達ヲ冀フ立場デアリマス
ナラバ、此ノ問題ヲ明確ニ致シテ
置クト云フコトガ日本ノ産業復興
ノ爲ニ極メテ重要デアルト云フコ
トヲ御考ヘ願ヒタイノデアリマ
ス、例ヘバ特殊ナル團體ガ特ニ「フ
ラクシオン」的ナ運動ヲ繼續スル
場合、健全ナル労働組合ノ「クロ

ズド・ショップ」ノ工場トシテノ
確立性ガ缺ケテシマヒマスコト
ハ、將來ノ日本ノ産業ニ一大瑕瑾
ヲ貽スト考ヘテ居リマスノデ、適
當ナ機會ニ政府ノ意見ヲ統一シテ
戴キマシテ、他日、書面デモ宜シ
ウゴザイマスカラ、適當ナ機會ニ
御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

更ニ厚生大臣ニ伺ヒタイノデア
リマスガ、労働關係調整法ガ上程
サレマシテカラ後、非常ナ勢ヲ以
テ労働團體ガ之ニ反對ヲシテ居ル
ノデアリマス、此ノ反對ノ理由ニ
付キマシテハ此ノ委員會ニ於テ同
僚各位カラ色々ナ角度ニ於テ論議
サレテ居リマスノデ、此ノ際申述
ベルコトハ避ケタイト思ヒマス、
唯反對ガ斯ク猛烈ニ行ハレテ居ル
ト云フ此ノ事實ノ上ニ立チマシテ
斯ウ云フ案ヲ押切ツテ制定致シマ
シテモ、運営ニ果シテ十分ナル自
信ヲ持チ得ルカドウカト云フコト
ガ非常ニ疑問デアリマス、此ノ點
ニ付テ河合厚生大臣ノ確信ノアル
御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

尙ホ是ハ假想ヲ以テ質問シタト
云フ事柄デアリマス、假想ヲ以テ
質問シテハト云フ御議論モアリマ
スガ、我々ハ萬一ノコトヲ考ヘテ
サウ云フコトガナイコトヲ希望シ
ナガラ、一言意見ヲ申述べルノデ
アリマス、言ヒ換ヘマスルナラバ
此ノ法案ガ萬一通過致シマス場合
ニ於テ、全國的ニ官業労働者ノ「ゼ
ネスト」ガ行ハレル、或ハ民間業

者ノ「ゼネスト」ガ行ハレルト云
フヤウナ場合ガアリマスナラバ、
是ハ國家ノ爲ニ洵ニ山々シキ問題
デアリマス、現ニ製鐵産業労働組
合ニ於キマシテハ、此ノ五日ヲ期
シマシテ全國的ニ一日ノ「ゼネス
ト」ヲヤレト云フ指令ヲ出シテ居
リマス、河合厚生大臣ハ斯ウ云フ
點ニ付テ十分御考ヘテ持ツテヤツ
テ居ラレルカドウカ、此ノ點ヲ先
ヅ第一番ニ御伺ヒ申上ゲタイノデ
アリマス

○河合國務大臣 此ノ法律ノ出來
マシタ後ノ運営ニ付テノ御尋ネデ
アリマスガ、是ハ勿論萬全ヲ圖リ
マシテ、遺漏ナキヲ期シテ居ルノ
デアリマス、サウシテ特ニ此ノ問
題ハ、問題ノ性質上官廳ハ積極的
ニ問題ニ關與スルコトヲ出來ルダ
ケ避ケル立場ニナツテ居リマス、
サウシテ労働委員會ガ中心ニナツ
テ此ノ問題ヲ處理スル形ヲ取ツテ
居リマス、サウシテ労働委員會ハ
申スマデモナク各労働組合、經營
者側及ビ一般社會ノ代表ヲ以テヤ
ツテ居ルノデアリマス、尙ホ労働
委員會ノ構成ニ付キマシテハ、御
承知ノヤウナ事情中間ニ合ヒマセ
ヌノデ、暫定的ノ方法ヲ執ツテ居
リマスガ、目下労働委員會ニ其ノ
案ヲ指示シテ居リマス、ソレガ決
マリ次第、早速、正規ノ軌道ニ乗
ツタ労働委員會ヲ結成シマシテ、
サウシテ労働者側ノ意向ヲ十分之
ニ反映サセマシテ、運営ノ萬全ヲ

期シタイト考ヘテ居リマス
ソレカラ「ゼネスト」ガ起レバ
ドウスルカト云フ御尋ネデアリマ
シタガ、私ハ是ハ社會ノ事實デア
リマスカラ、ドウ云フ風ニドウナ
ツテ來ルカト云フコトニ付テハ、
神様デナクチャ分リマセヌ、分ラ
ヌケレドモ、此ノ法律ノ爲ニ「ゼ
ネスト」ガ起キルト云フコトハ、
私共ノ頭デハドウシテモ考ヘラレ
ナイ、斯ウ申シマスルノハ、今ノ
勞調法ハ勞働者ヲ壓迫シテ居ルノ
デハナイ、此ノ法律ヲ制定ナサツ
タ御關係ノ御方々ハ能ク知り抜イ
テオイデデアリマセウガ、當時ハ
公聴會ニモ聴キ、勞働者ノ意向モ
聴キ、是ハ元々政府ハ何ノ指示モ
シテ居リマセヌ、勞務法制調査會
ナド小委員モ作ツテ、民間ノ意
向デ出來上ツタモノヲ、政府ガ
H.Q.ト一字一句御相談シテ、
サウシテ、此處ヘ出シテ居ルダケ
ノコトデアリマシテ、元々政府ガ
「イニシアテイヴ」ヲ取ツタモ
ノデハアリマセヌ、ナゼ是ガ御分
リ願ヘヌノカト云フコトニ對シ
テ、非常ニ残念ニ思ツテ居ル次第
デアリマス、ト申シマスノハ、是
ハモウ全ク「ストライキ」ノ豫防
ト、ソレトモウ「公益上困ルカ
ラデ、此ノ二ツ以外ニ全クナイ、
ドウシテ是ガ御分リニナラヌノ
カ、私ハ段々心ノ中デ分ツテ呉レ
ルモノト思ヒマス、日本ノ方ナラ
分ツタ呉レル筈デス、此ノ問題ノ

爲ニ私ハ「ゼネスト」ガ起ルトハ
考ヘラレマセヌ、色々ナ問題ガア
リマスカ、併シ此ノ國家非常ノ興
亡ノ岐ル、秋、殊ニ増産ハ一刻モ
忽セニ出來ヌ時ニ、日本國民トシ
テソレヲ自覺シテ下サルナラバ、
サウ云フ「ゼネスト」ノ如キ行爲
ハ恐ラク起キヌト云フ確信ヲ持ツ
テ居リマス

○土井委員 本案ガ勞働階級ノ全
面的反對ヲ受ケテ居ルノデアリマ
スカ、特ニ小サナ問題デ恐縮デス
ガ、此ノ案ガ提出サレルニ至リマ
シテ、資本家階級ノ團體カラ何カ
反對ノ陳情ナリ、意見ナリヲ提出
シタコトガアルカドウカ、サウ云
フ點ヲ御聴キシタイト思ヒマス
○吉武政府委員 別ニゴザイマ
セヌ

○土井委員 大體資本家階級カラ
反對ノ聲ガナイト云フコトト、
方勞働團體ガ反對シテ居ルト云フ
コトニ依ツテ、勞調法ノ性格ト云
フモノガ明確ニナツタト私ハ考ヘ
ルノデ、之ニ對シテ特ニ質問致シ
マセヌ

次ニ勞調法第一條ニ「經濟の興
隆に寄與することを目的とする」
ト云フコトガアリマスカ、此ノ
「經濟の興隆」經濟ト云フ問題ニ
付キマシテ特ニ厚生大臣ハ、之ヲ
在來ノ資本主義的經濟ノ興隆ヲ指
シテ居ルノカ、或ハ又他ニ例ヘバ
社會主義的ナ或ハ共產主義的ナ、
或ハ其ノ他ノ經濟機構ヲ目指シテ

居ルノカ、現段階ノ經濟機構ト云
フモノハ一體ドウ云フ所ノ性格ヲ
有シテ居ルノカ、其ノ點ニ付テ御
伺ヒ致シマス
○河合國務大臣 一寸私御質問ノ
趣旨ガ分リマセヌデシタガ、モウ
一度ドウゾ：其ノ「イズム」ト
云フコトハドウ云フヤウニ結付ケ
ルノデスカ

○土井委員 第一條ノ中ニ「經濟
の興隆に寄與する」ト云フコトヲ
書イテアリマスカ、此ノ經濟機
構ト云フモノハ、現段階ノ經濟機
構ヲ指シテ居ルコトハ言フマデモ
ナイト私ハ思ツテ居リマスカ、
現段階ノ經濟機構ハ資本主義的ナ
ル經濟機構ト認定スベキデアルノ
カ、或ハ又サウデナイカト云フ
點ヲ伺ヒタイノデアリマス、尙ホ
敷衍シテ申シマスナラバ、御承知
ノ通り我ガ日本ノ經濟ト云フモノ
ハ是ハ「マツカサ」司令部ノ
制約ニ會ヒマシテ、將來自由主義
ノ資本主義經濟ニ依ツテ發展スル
ト云フコトデハ、國民ノ生活ノ安
定ヲナスコト云フコトガ不可能デア
ル、勢ヒ是ハ好ムト好マザルトニ
拘ラズ、社會主義的ナル經濟組織
ニ進ンデ行カナケレバナラナイト
云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマ
ス、我々ハ左様ニ考ヘテ居ル、而
シテ勞調法ノ第一條ノ「經濟の興
隆」ト云フコトハ、今日ノ資本主
義的經濟ノ段階カラ將來社會主義
的ナル經濟ノ段階ニ發展スル所ノ

一ツノ見透シヲ持ツテノ所謂「經
濟の興隆」ト云フコトヲ此ノ條文
ノ中ニ加ヘテ居ルノカドウカト云
フコトヲ御聴キシタイトデアリ
マス

○河合國務大臣 此ノ「經濟の興
隆」ト云フコトハ、現在ノ興隆ヲ
意味スルノデアリマスカ、此ノ
第一條ノ「經濟の興隆」ト云フコ
トニ付テハ今ノ御論旨ト同様、何
モ問題ハナイノデアリマス、唯御
質問ノ趣旨ハ現段階ノ經濟ハ、是
ハ資本主義カ、社會主義カ、共產
主義カト云フ御尋ネト拜承シテ宜
シウゴザイマスカ、ソレナラ其ノ
問題ハ各自ノ見解所デアリマス

○土井委員 見解ノ相違ト云フ言
葉ニ依ツテ逃ゲラレタノデアリマ
スカ、是ハ見解ノ相違以上ニ議論
ダケデアリマスカ、單ニ時間ヲ費ヤス
ニ付テハ是デ止メテ置キマス

次ニ御伺ヒ致シタイト思ヒマス
コトハ「公益事業」ノ内容ノ問題
デアリマス、條文ニ依リマスト、
公益事業ヲ可ナリノ範圍ニ於テ言
ツテ居リマスカ、特ニ私ガ御伺ヒ
シタイト思ヒマスノハ、「ストライ
キ」ノ制限ヲサレテ居リマス公
益事業中ニ於テ、ハ例バ「運輸事
業」ノ範圍デアリマス、此ノ運輸
事業ノ範圍ト云フモノハ是ハ言フ
マデモナク國鐵カラ小運搬業ニマ
デ及ボスノデアリマスカ、例ヘバ
民間ニ於ケル運輸事業デハアルケ

レドモ、公益ニ反シナイヤウナ小
運搬送デアルトカ、或ハ船舶海上
小運送ト云フヤウナモノマデモ、
此ノ公益事業ニ入り、爭議ノ制限
ヲ受ケナケレバナラナイノカドウ
カ、此ノ點ニ付テ御回答ヲ願ヒ
マス

尙ホ其ノ次ニ同ジヤウナ問題デ
アリマスカ、「醫療又は公衆衛生
の事業」ト云フコトヲ言ツテ居リ
マスカ、此ノ醫療ノ中ニ於キマシ
テモ、例ヘバ民間ニ於キマシテ衛
生消毒其ノ他ノ事業ガ行ハレテ居
ル、或ハ民間ノ療養所等ガ行ハレ
テ居ル、單ニソレハ「ストライ
キ」ヲヤリマスコトノ爲ニ、左程
公益ニ影響ノナイヤウナ場合等ガ
アルガ、是等ヲ「範圍マデドウ
云フ風」ニ規定付ケテ居ルカ、細カ
イ問題デアリマスカ、一應内容
ニ御伺ヒシテ置キタイト思フノデ
アリマス

○吉武政府委員 今ノ御尋ネノ公
益事業ノ運輸事業ニ付テノ範圍デ
アリマスカ、是ハ汽車トカ軌道、
船舶等ニ依ル運輸デアリマス、隨
ヒマシテ今御話ノ小運送モ之ニ直
接關係アル小運送ハ之ニ包含サレ
ルト思ヒマス、個々ノ一々ノ細カ
イ點ニ付キマシテハ、ヤハリ具體
的ニ段々ト慣例ニ依ツテ明確ニシ
テ行ク外ハナイカト思ツテ居リ
マス

ソレカラ今ノ醫療又ハ公衆衛生
ニ付キマシテハ、公立ノモノバカ

ニ付キマシテハ、公立ノモノバカ

リデハアリマセス、民間ノ療養所、病院等モ勿論入リマス

○達達委員 土井君ニ申上ゲマスガ、司法省ニ對スル質問ガ今後アリマスカ、如何デスカ

○土井委員 アリマス

○達達委員 ソレデハ局長ガ見エテ居リマスカラドウゾソレハ

一ツ……

○土井委員 司法省ノ方ニ御伺ヒシタイノデアリマスカ、勞働法カラ申シマスカラバ、官公吏ノ人々ハ大體勞働組合ヲ結成スルコトモ出來ナケレバ又一ストライキ」ラ

ナスコトモ禁止サレテ居ルノデアリマス、前々カラ同僚議員等ニ依ツテソレノ議論サレテ居リマスガ、要スルニ官公吏ノ諸君カラ基

本的人權デアアル所謂勞働組合ヲ作ル權利又ハ爭議ヲ行フ權利ヲ剝奪致シマス限リニ於キマシテハ、是

等ノ人々ニ對スル生活ノ保障、言ヒ換ヘレバ爭議ヲ起サナイデ宜シ

イヤウナ状態ニマデスルコトガ妥當デハナイカト云フコトヲ主張シ

テ居ル、之ニ對シテ當局ハ出來ルダケサウ云フ趣旨ニ副フベク努力

シテ居ルト云フテ居リマス、是ハ經濟的關係デハナイノデアリマス

ガ、是等ノ人々ノ所謂禁止サレテ居ルコトカラ關係シテ、其ノ身分

ニ對スル保障ヲ確立サレナイ憾ミガ多分ニアルノデアリマス、斯ウ

云フ場合ノ處置ヲ一概ドウスルカト云フコトニ付テデアリマス、特

ニ私ハ具體的ナ問題トシテ申上ゲテ見タイト思フコトハ、官僚ハ非常ニ階級的觀念ニ強イノデアリマス、位階勲等ヲ持チ、或ハ其ノ他

ノ點カラ官吏トシテ使ハレテ居ル、下級ノ者ニ對シマシテハ之ヲ

奴隸視シ、或ハ蔑視スル憾ミガ多分ニ存在シテ居ルト云フコトダケハ言ヒ得ルノデアリマス、具體的

ナ例ヲ申上ゲルナラバ、高知刑務所ニ於ケル問題デアリマス、高知

刑務所ニ於テ看守諸君ガ自分達ノ待遇ヲ改善スルコトノ爲ニ、ソレ

ゾレ要求書ヲ提出シテ居ルノデアリマス、所ガ此ノ要求書ヲ提出致

シマシタ指導的地位ニ立ツテ居ツタ看守ニ對シマシテ解雇ヲ斷行シ

テ居ルノデアリマス、斯ウ云フ點カラ考ヘマスカラバ、官吏ノ所謂

生活權ノ本障ト云フコトハ全ク蹂躪サレテ居ルノデアリマス、私ノ

手許ニ參ツテ居ル書類ニ依リマスレバ、高知刑務所ノ看守ノ人々

ガ、全體ガ團結致シマシテ配給ノ公平ヲ主張シテ居リマス、ソレハ

終戦後ニ於キマシテ日章飛行基地カラ受領致シマシタ軍ノ米ヲ幹部

ガ一斗、一般職員ニハ五升シカ配給シテ居ラナカッタ、又人格ノ尊

重ト云フ點ニ於テ所長ガ職員ニ對シマシテ人格ヲ尊重セズ、恰モソ

レガ受刑者同様ニ考ヘ、所嫌ハズ何等ノ理由モナクシテ之ヲ叱責シ

タリ、或ハ侮蔑シタリスルヤウナ場合ガアル、或ハ又宿直ノ施設ノ

改善等ニ付キマシテモ、看守ノ休憩所、夜勤宿舎ナドハ山賊小屋

ノヤウデアリマス、又蒲團ナドハ全ク受刑者ト同ジヤウナ、取扱ヒ

ヲ受ケテ居ル、更ニ宿直室ノ電燈デアルトカ、設備デアルトカハ數

年來破壊サレタ儘デアアル、或ハ窓硝子ガ殆ドナクナツテ居ツテ、寒

風ガ、ドン／＼侵入シテ來ル、之ニ對シマシテモ十分ナ設備ヲシナ

イ、風邪ヲ引ク者ナド方出來ル、斯ウ云フ點ナドヲ考慮ノ中ニ入レ

マシテ是ノ改善方ヲ要求シマシタ所ガ、之ニ對シマシテ當局ハ高松

刑務所トシテ出來ルダケ要望ニ副フヤウニト云フ答辯ガアリマシタ

ガ、上司ノ方ニ付ツテ行クニ從ヒマシテ、其ノ點ガ薄クナリマシ

テ、遂ニ斯ウ云フコトヲ提出シマシタ所ノ一看守ニ對シマシテハ解

雇ヲ斷行シタノデアリマス、是ガ高知方面ニ於ケル新聞等ニ於テ、

喧シク論議サレテ居ル事柄デアリマス、私ハ此ノ點ヲ司法大臣ニ質

問シテ居リマスル理由ハ、斯ウ云フ巡查ダトカ、看守ダトカ云フ弱

イ、又階級的ニ非常ニ段階ノアリマス所ノ者ガ、其ノ自ラノ生活ヲ

擁護スル爲ニ、今言ヒマシタヤウナ形ニ於テ問題ヲ起シマスルト、

其ノ生活ノ基礎ニナリマス職業ヲ奪ツテシマフト云フヤウナコトヲ

致シマスコトハ、看守デアアルトカ、巡查デアアルトカ云フヤウナ人

人ニ團結權ヲ與ヘナイデ置イテ、自由

爭議權ヲ與ヘナイデ置イテ、自由

自在ニ誠首スルト云フヤウナコト

ハ人權ノ蹂躪デハナイカ、斯ウ考ヘルノデアリマス、此ノ點ニ付テ

ノ明快ナル御答辯ガ願ヒタイト思ヒマス

○岡田政府委員 只今ノ御質問ニ付テ御答辯申上ゲマス、只今ハ高

知刑務所ニ於ケル島崎看守ノ問題ヲ引例サレマシタ、刑務官吏ナド

ガ勞働組合ヲ結成出來ナイ、サウ云フ弱イ立場ニアル者ガ、ソレデ

ハ生活ノ保障トカ、或ハ改善トカニ非常ナ支障ヲ來タスデハナイカ

ト云フ御趣旨ノヤウニ承ツタノデアリマス、先ヅ島崎ヲ解雇致シマ

シタ理由ニ付テ申上ゲタイト存ジマス、實ハ只今ノ御質問デハ島崎

ガ待遇改善ヲ叫ンデ起ツタト言ハレマシタガ、島崎看守ヲ解雇致シ

マシタノハ、決シテ本人ガ待遇改善要求ヲシタカラト云フ理由デハ

ゴザイマセス、寧ろ本人ガ軍隊生活ノ氣風ヲ未ダ拂拭致シマセス、

動モスレバ看守部長以上ノ監督者ヲ輕視致シマシテ、又監督者ノ無能無理解ヲ放言致シマシテ、一部

不平等分子ヲ糾合スルト云フヤウナ言動ガ現ハレマシテ、勤務上不適

當ナリト考ヘマシテ解雇致シタ次第デアリマス、只今ノ御質問デハ

要望ニ副フヤウニ下情ヲ上通サセルト云フ考ヘノ下ニ、在來カラゴ

ザイマシタ職員會議ヲ更ニ活用シテ行ク、又各階級ノ代表者ヲ選ン

デ會議ヲ作ツテ行ク、殊ニ只今御尋ネノヤウニ、配給物資ナドニ付

キマシテ色々誤解ナリ或ハ不公平ナリヲ生ズル處ガゴザイマスノ

デ、其ノ點ニ付キマシテハ特ニ本年ノ一月ニ通牒ヲ出シマシテ、職

員ノ福利施設ノ役職員ニ付テハ、各階級ヨリ委員ヲ選ビ、特ニ公平

無私ナル人材ヲ配置スルコト、或ハ職員ヘノ配給ノ目的ヲ以テ他ヨ

リ食物ノ獲得ヲシタル場合ニ於テモ、前記協同會若シカハ消費組合

ニ於テ品目、數量ヲ明カニシ、公正ニ配給スルコトナドト云フ風ナ

趣旨ヲ中傳ヘマシテ、出來ルダケ下ノ職員ノ方々ノ利益ヲ圖ツテ行

キタイト云フ風ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○土井委員 只今島崎看守ニ對スル敵首ハ、上司ニ對シソレノ反抗

的態度云々ト云フコトデアリマスガ、得テシテ官吏ノ場合ニ於キ

マシテ、例ヘバ色々ナ問題ヲ爭議の形態、或ハ上司ニ反抗のナ形ニ

於テ行フ、斯ウ云フ場合ニ於テハ、何時デモ敵首ヲナシ得ルト云

フコトニナリマスナラバ、一ツノ待遇改善ノ問題ヲ取上ゲル場合ニ

於テモ、其ノ待遇改善ト云フノハ、必ず上司ニ對シテ反對のノ立場ヲ執ルト云フノハ當然デアリマ

ス、殊ニ問題が起ツテ此ノ直後解雇スルト云フハ、少クトモ此ノ爭議ト關聯シテヤツト見ラレテモ、答辯ノ餘地ガ私ハナイノデハナイカ、眞ニ其ノ人ガ辭メナケレバナラナイ、罷メサセナケレバナラナイト云フ理由ガアルナラバ、時機ヲ選ブベキデアル、或ハ又之ヲ輿論ニ懸ヘテ、十分納得スルヤウニシナケレバナラナイ管デア、所ガ所開紙上等ニ傳ハリマス所ニ依リマスナラバ、悉ク其ノ刑務所長ノ態度ト云フモノヲ難詰シテ居リマス、無論ハ新聞ニ書イテアルコトデアリマスカラ、私ハソレヲ正シク妥當ナ批判ダト云フ風ニ全面的ニハ申シマセヌガ、少クトモ新聞ノ立場ト云フモノハ、公平ニモノヲ取扱フノガ新聞ノ使命デアリマス、此ノ新聞ガ高松刑務所ノ所長ガ行ヒマシタ今度ノ誠首問題ト云フモノハ、極メテ不當ナモノデアルト云フ此ノ立場ニ立ツテ、總テノ者ガ論陣ヲ張ツテ居ル所カラ見マスナラバ、此ノ内容ハ推シテ知ルベキモノガアルノデハナイカト私ハ考ヘルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ待遇改善ト力、或ハ物資ノ配給ニ對シテ、上司ノ方ガ餘計取リ過ギテ居ル、下級官吏ニ對シテ少イト云フヤウナコトヲ持出セバ、勢ヒ上同ニ對シテ反抗的ノ態度ニナラザルヲ得ナイノハ、萬已ヲ得ザル立場デハナイカ、サウ云フコトニ對シテ一々

解雇サレルト云フコトナラバ、基本的ナ生活權ナク人權ヲ全ク蹂躪スルモノデアル、多クノ場合ニ於テ、官吏ノ場合ニ於テハ斯ウ云フコトガ屢々行ハレテ居ルト云フコトデアリマス、是ハ速カニ解雇ヲ取消シ、復職セシメル、若シテハ其ノ人ガ眞ニ復員軍人デアツテ又復員軍人ト書イテアリマス、此ノ人ハ大體ニ於テ昭和十一年ノ四月ニ看守ヲ拜命シテ、昭和十二年ノ八月ニ應召シテ昭和二十年ノ十月ニ復員シテ來テ居ルノデアリマス、斯ウ云フ長イ開帝國ノ軍人トシテ從軍シテ居ツテ、而モ昭和二十年ノ十月ニ復員シテ來テ居ル、此ノ人ガ直ダ此ノ間解雇サレタ、半歳モ出ナイ中ニ解雇サレルト云フコトガ一體善イコトカ惡イコトカ、此ノ紛爭ヲ中心ニシテ解雇スルト云フノハ以テノ外デアリマス、而モ此ノ人ノ行動ト云フノハ、昭和十一年ニ就職シテ十二年ニ是ガ應召サレテ居ル、サウシテ二十年ノ十月ニ歸ツテ來テ居ル、其ノ間ニ於テ屢々ト云フ言葉ハ、結局此ノ問題ヲ通ジテ起ツタ問題ダト私ハ思フノデアリマス、サウ云フ諸辯ヲ弄スルト云フコトハ、司法當局ノ所謂頑冥固陋ナル態度デアルト思フノデアリマス、速カニ是ハ解雇ヲ取消スベキデアルト考ヘテ居リマスガ、ソレニ對シテドウ考ヘルカ、責任ノアル御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○岡田政府委員 只今ノ島崎看守ノ解雇問題ニ付キマシテ、待遇改善ヲ叫ンダガ爲ニト云フコトデゴザイマスガ、其ノ理由ニ付キマシテハ、新聞ハ兎モ角ト致シマシテ、私ノ方ノ立場ト致シマシテハ、只今申シマシタヤウナ理由デアリマス、唯今後斯様ナ誤解ヲ受ケナイヤウニ、十分ニ御趣旨ヲ了承致シマシテ、遺憾ノナイヤウニシテ参リタイト存ジマス

○土井委員 先程ノ解雇ノ理由ハ極メテ抽象的デアリマスガ、恐ラク當局ニ對シマシテハ詳細ナル報告ガ參ツテ居ルト思ヒマスガ、其ノ書面ニ依リ報告ヲ今此ノ席上デ發表シテ戴カナイデモ宜シウゴザイマスガ、アトデ高松刑務所長カラ司法當局ニ報告サレテ居リマス内容ヲ、具體的ニ詳細ニ御知ラセヲ願ヒタイト思ヒマス

○岡田政府委員 調査ノ上御回答申上ゲタイト思ヒマス

○達澤委員長 司法省ニ對スル質問ハ是デ済ミマシタカ、土井君ニ一寸御諮リ致シマス、大變アナタニ御迷惑デスガ、閣下質問トシマシテ、達澤修作君ガ文部大臣ニ對スル質問ラズツト前カラ待ツテ居リマス、文部大臣多忙ナ所ヲオイデ下サツテ居リマスカラ一寸御許シテ願ヒマス——達澤修作君ニ御許シ致シマス、出來ルダケ簡單ニ御願ヒ致シマス

○達澤(情)委員 文部大臣ニ御尋

ネヲ致シタイト思ヒマス、先般文部大臣ニ於カレマシテハ本法ニ非常ニ關係ガ深い勞務者教育ト云フコトニ付キマシテ、青年學校ヲ中等學校ニ早ク直結シタイ、ソシテ勤勞者教育ノ徹底ヲ期シテ行キタイ、斯ウ云フ風ニ仰シヤツテ居ツタヤウデアリマス此ノ勤勞者教育ニ付キマシテハ他ノ教育方法ヲモ御考ヘ戴キタイト思フノデアリマス、御承知ノ通り戰時中ノ勤勞者教育ハ青年學校ニ重キヲ置イテ居リマシテ、德育ト云フモノヲ主體トスル公民教育デナケレバナラナカツタノデアリマス、ソレガ而モ軍事教育ノ多分ニ織込ンダ青年學校教育デアツタノデアリマシテ、其ノ德育教育モ終戰ト共ニ消エテシマツタノデアリマス、ソシテ再建日本ノ第一條件デアリマス所ノ生産ノ増強ヲ阻礙致シマス所ノ道義ノ廢壞ト云フ恐ロシイモノガ唯一ツダケ殘サレテ居リマス、政府ガ今カラ行ハレント致シマスル勤勞者ニ施ス教育方針ハ、此ノ廢壞ノ極ニ達シテ居リマスル道義ヲ昂揚シ導ク點ニ對シテ自信ガアリマスカ否カ、且ツ其ノ方法ヲ御聽カセ願ヒタイト思ヒマス

○田中國務大臣 只今御指摘ニナリマシタヤウニ、今日ノ青年教育ト云フモノガ甚ダ内容ノナイ、謂ハバ虛脱狀態ニナツテ居リマシテ殊ニ地方ノ青年學校ハ軍事教練ノ機關ノヤウニナツテ居リマシテ、

此ノ軍事教練ガ今日ナクナツタノデアリマスカラシテ、全クナイヤウナ狀態ニナツテ居リ、殘ルモノハ道義ノ廢壞ケケト云フヤウナ御觀察、大イニ中ツテ居ルト存ジマス、此ノ狀態ヲドウ云フヤウニシテ改メタガ宜イカト云フコトニ付キマシテハ、文部當局ト致シマシテハ常ニ苦慮致シテ居ル次第デアリマス、制度論カラシマシテハ青年學校制度ヲ再檢討致シマシテ色々關係者ノ間、又一般ノ輿論ト致シマシテモ實ニ澤山ノ意見ガ出テ居リマスノデ、サウ云フ意見ヲ考慮致シマシテ尙ホ「アメリカ」側カラ殘シテ行カレマシタ教育使節團ノ報告書ト云フヤウナモノモ參考ニシ且ツ最近發足スルコトニナツテ居リマス教育刷新委員會デ十分檢討致シテ善處致シタイ、實ハ早急ニヤリタイト存ジテ居ル次第デゴザイマス、ソレカラ道義ノ廢壞ヲドウ云フ風ニ是正シテ參ルカト云フ問題デゴザイマスガ、廢壞ハ極メテ速カニ、急「テンポ」ニ參リマスガ、併シナガラ之ヲ元ニ戻スト云フコトハ非常ニ忍耐強イ努力ヲ要スルコトデアリマシテ、是ハ教育、政治、總テノ面カラ努力シナケレバナラナイコトデアリマス、此ノ公民教育ノ精神ガ何處ニ置カレ、ドウ云フ風ニシテ努力スベキカト云フコトニ歸着スルノデアリマシテ、此ノ點ハドウシテモ從來ノ道徳ト云フモノニ對スル

觀念ヲ是正シテ掛ラナケレバナラ
ナイト存ジマス、從來ノ名バカリ
ノ形式主義ニ流レタ所ノ道德ヲ尙
ホ一層肉面的ニ良心的ノモノニス
ルト云フコトガ第一ニ肝要ナコト
デアルト存ジマス、ソレカラモウ
一ツハ單ニ自己ノ變動シ易イ、墮
落シ易イ良心ノミニ頼ツテハイケ
ナイ、茲ニ古今東西ヲ通ジテ論ラ
ナイ正邪善惡ノ基準ガアルト云フ
コトヲ大イニ強調シナケレバナラ
ヌト思ヒマス、第二點ニ於テ從來

甚ダ道義ト云フモノガ「ルーズ」
ニナツテ居ルト云フコトヲ我々ハ
痛感シテ居ルノデアリマス、此ノ
點ハ學校教育ニ於テ、社會教育ニ
於テ大イニ強調シ、殊ニ此ノ宗教
教育ノ重要性ヲ認メマシテ、憲法
ノ許ス範圍内ニ於テ徹底的ニ凡ユ
ル方面カラ道義ノ頌揚ヲ是正シ、
眞ニ眞理ヲ愛シ、平和ヲ愛スル國
民ニ仕立テナケレバナラヌト云フ
風ニ存ジテ居ル次第デゴザイマス
○瀧澤(情)委員 明快ナ御答辯ヲ
戴キマシテ、又宗教教育ニ付テモ
御答辯ヲ戴キマシタガ、之ヲ具體
的ニ現ハシテ戴キタイト思ヒマス
ノデ 御承知デモアリマス通り
宗教ハ各家庭ノ奥深クマデ侵入致
シマシテ、道義ノ最も根源デアリ
マス所ノ方面ニ働キ掛ケルモノデ
アリマス、御承知デモアリマス通
リ、我が國ニ於テハ神社ハ宗教團
體ニ移リ變ツテ參ツタノデアリマ
ス、尙ホ昔ヨリ殘ツテ居リマス所

ノ神道、佛教等ニ於キマシテハ、
我々生活シテ居リマス所ノ一番大
切ナ祖先ト子孫ニ對スル所ノ信念
ヲ植付ケテ居ルノデアリマス、此
ノ邊ヲ宜シク御考ヘ下サイマシテ
一日モ早ク家庭ノ奥深ク滲込ミマ
ス所ノ宗教ノ活潑ナル活動ヲシテ
戴キタイト思フノデアリマス、之
ニ付テ大臣ニ於カレマシテハ何カ
具體的ナ御方策ヲ御持チデアリマ
セウカ

○田中國務大臣 此ノ宗教教育ヲ
徹底サセマスコトニ付キマシテハ
ヤハリ新タニ制定セラルベキ憲法
トノ關係ニ於キマシテ、相當「デ
リケート」ナ問題ガアルト存ジマ
ス、併シナガラ從來我が國ニ於キ
マシテ宗教ハ餘リ重ンゼラレズ、
又更ニ寧ろ國家トノ關係ニ於テ彈
壓セラレ、抑壓セラレテ居ツタヤ
ウナ觀ガゴザイマシタ、今後ニ於
キマシテハ各宗教トモ或ハ神社、
神道マデモ宗教トシテ自由ヲ得ル
コトニナツタ譯デアリマス、隨テ
潑刺タル生命ヲ各宗教ガ發展サセ
ルト云フコトハ大イニ期待出來ル
コトト存ジマス、隨テサウ云フ意
味ニ於キマシテ各宗教ガ一種ノ社
會教育トシテ、只今御話ガアリマ
シタヤウニ家庭ノ内部マデ滲込ム
ヤウナ風ニ段々ナツテ行クノデハ
ナイカト存ジマスガ、併シ特ニ文
部省ト致シマシテハ學校教育ノ方
面ニ於キマシテモ、或ハ教科書ノ
内容ニ乾燥無味デナイ本當ノ宗教

的偉人ノ傳デアルトカ、或ハ逸話
デアルトカ云フヤウナモノモ採入
レタリ、或ハ又宗教的ノ特色ヲ持
ツテ居ル學校ノ個性ヲ大イニ助長
スル、從來ノヤウニ彈壓シナイノ
ミカ助長ノ方針ヲ執ルトカ、是
ハ私立學校全體ニ對スル政策トシ
テデゴザイマスガ、好意的ニサウ
云フ方面ヲ助長スルトカ或ハ又各
官立學校ナリ或ハ公立學校ニ於キ
マシテモ、科外トシテ宗教方面ノ
權威アル人々ノ御話ヲ學生生徒ニ
聽カセントカ云フヤウナ方面ニ於
テ大イニ便宜ヲ圖リタイ、マダ色
色考ヘマスレバ方策モアルカト存
ジマスガ、只今思ヒ付イテ居リマ
スモノハサウ云フヤウナ方向デ參
リタイト存ジテ居ル次第デアリ
マス

○瀧澤(情)委員 只今ノ御答辯ヲ
戴キマシタ中ニ地方ノ學識經驗ア
ル人カラ御話ヲ聽クトカ、教ヘテ
戴クト云フヤウナ御言葉ガアリマ
シタガ、之ヲ一ツ勤勞者教育ニウ
ント利用シテ戴キタイト思フノデ
アリマス、現在ノ中小工業ノ勤勞
者、青年徒輩ハ地方ノ青年學校ヘ
モ通ツテ居リマセヌ、サウシテ工
場トシテモ事業場トシテモ何等教
育施設ハアリマセヌ、特ニ異郷ノ
地カラ引揚ガテ歸ラレタ方トカ、
或ハ戰災ノ爲ニ國ヘ歸ツテ居ラレ
ル御方トカ、斯ウ云ツタ御方ノ中
ニ多數ノ學識經驗ヲ持ツテ居ラレ
ル方ガ居ラレマス、此ノ方達ヲ文

部省ノ囑託ト致シマシテデモ工場
等ニ派遣サレ、サウシテ勤勞者教
育ノ徹底ヲ期スルト云ツタヤウナ
御考ヘハアリマセヌカ、若シアル
トスルナラバ早急ニ御實施ガ願ヒ
タイト思フノデアリマス

○田中國務大臣 中央或ハ地方ノ
宗教家ノ方々ヲ動員シテ、ソレ等
ノ方々ニ御願ヒ致シマシテ各學校
ナリ或ハ地方ノ青年等ニ對シ、又
工場等ニ於キマシテモ有益ナル訓
話ヲ御願ヒスルト云フヤウナコト
ハ非常ニ意義アルコトト存ジマ
ス、唯之ヲ囑託トシテ御願ヒスル
ト云フコトハ憲法ノ規定ト色々睨
ミ合ハセテ考ヘマシテ、或ハ各宗
教宗派ノ間ノ公平ヲ守ルト云フヤ
ウナコトデアリマスナラバ差支ヘ
ナイデハナイカトモ存ジマスガ、
サウ云フ點ハ十分考慮致シマシ
テ、兎ニ角名義ハ別問題ト致シマ
シテ實質ヲ此ノ方向ニヤツテ行キ
タイト云フ風ニ存ジテ居ル次第デ
アリマス

之ニ對シテ失業對策トシテ萬全ナ
措置ヲ講ジツ、アルト云フヤウナ
御言葉デアリマシタガ、此ノ補導
所ヲ完全ナモノニシテ戴キタイト
私ハ思ヒマス、ソレニ付テ現在厚
生省ニ於テ補導所ニ對スル所ノ御
考ヘガ那邊ニアルカ、御伺ヒ致シ
タイノデアリマス

○河合國務大臣 補導所ハ只今ノ
狀態ニ於テモ、或ル程度マデヤツ
テ居リマスケレドモ、今御示シ
通りニ、失業對策ト關聯シテ餘程
之ヲ強化シタイ積リデ居リマス、
其ノ數ノ如キモ、只今正確ナコト
ヲ記憶シマセヌガ、千數百ノモノ
ヲ作りタイト云フ氣持デ居リマ
ス、サウシテ豫算モ只今大藏省ト
折衝中デアリマスガ、二億圓餘リ
ノモノハ之ニ投ジタイト考ヘテ居
リマス、六十億ノ公共事業費ト云
フモノガアリマスガ、此ノ補導所
ノ如キ事業ハ何處ノ失業對策ノ計
畫ヲ見テモ、ヤハリ立派ナ公共事
業ノ部類ニ入ツテ居リマス、殊ニ
只今ノ日本ノ失業對策ノ性格ハ度
度申上ゲマスガ如クニ、昭和六、
七年、「アメリカ」「イギリス」
デ申シマス、一九三〇年カラ三
四、五年アタリノ失業對策トハ餘
程性格ガ違ツテ居リマシテ、ドウ
シテモ増産面ニ行カナクテハナラ
ナイト云フコトニ非常ニ大キナ特
徴ガアリマス、隨テ補導所ニ於テ
或ハ大工デアルトカ、或ハ石炭ノ
先山ヲヤルトカ、其ノ外建築ノ部

類、造船ノ部類トカ色々其ノ目標
目標ニ應ジテ補導所ヲ作り、サウ
シテ、補導所ヲ作り、サウシテ之
ニ數箇月ノ教養ヲ施シテ、ソレヲ
實社會ニ直グ出シテ失業救済旁ミ
生産ノ増強、能率増進ト云フ面ヲ
圖ツテ行クト云フ點ニ只今ノ計畫
ヲ進メテ居ル所デアリマス、必ズ
御期待ニ副フコトガ出來ルト考ヘ
テ居リマス

○**瀧澤(情)委員** モウ一ツ御尋ネ
致シタイト思ヒマス、洵ニ結構ナ
コトデアリマスガ、借テ從來此ノ
補導所ノ設備ト補導所員ノ待遇ト
云フコトニ付テハ非常ニ低位ナモ
ノガアツタノデアリマス、此ノ點
ニ付テ先ツ設備モ相當ニシテ職カ
ナケレバナリマセヌガ、補導所員
ノ待遇ニ付テハ普通官吏並ノ昇給
或ハ手當ト云ツタヤウナ方面ノモ
ノガ載ケルカドウカ、ドウ云フ御
考ヘデアルカ、其ノ點ヲ御伺ヒ致
シマス

○**河合國務大臣** 設備ノ點ニ付テ
ハ只今資料不足ノ現狀デアリマス
カラ、出來ルダケ既設備ヲ利用
シテヤツテ行ク、新規ノ建築ナド
ハ成ベクヤライデ、出來ルダケ
既設備ヲ利用スルト云フ點ニ重
點ヲ置イテ居リマス、ソレカラ機
械其ノ他ノ點ニ付テハ、遊休機械
ナドヲ巧ク轉用シテ其ノ目的ヲ達
シテ行クト云フ考ヘデ居リマス、
補導所員ノ待遇問題ニ付テハ勿論
只今ノ官吏ノ俸給ノ増加ナドニ伴

ヒマシテ、相當ノコトモ致シテ行
キマスルシ、又はモヤハリ普通ノ
官吏ト大差ナイ狀況ニ置キマセヌ
ト、旨ク行カヌコトハ能ク承知シ
テ居リマスルカラ、出來ルダケ待
遇ノ改善ト云フコトモ圖ツテ行ク
積リデ居リマス

○**瀧澤(情)委員** ドウモ有難ウゴ
ザイマシタ、是デ私ノ質問ヲ打切
リマス
○**達澤委員長** 大變上井君ニ御迷
惑デアリマシタ——上井君
○**土井委員** 法案第八條ノ末尾ニ
公益事業ニ對スル所ノ規定、例ヘ
ベ委員會ニ於テ賛成ヲ得ルコトガ
出來レバ、一年以内ニ限ツテ之ヲ
公益事業トシテ指定スルコトガ出
來ルコトニナツテ居リマスガ、此
ノ場合ニ於テ、例ヘバ將來我ガ日
本ノ産業上ニ於テ極メテ重要ナ地
位ヲ占メルデアラウト思ヒマス所
ノ紡織産業ノヤウナ場合ニ於テモ
見様ニ依ツテ、例ヘバ見返リ物資
ヲ生産スル立場ニ於テ之ヲ強ヒテ
公益事業ト看做セバ看做セルヤウ
ナ場合モアリ得ルト思フノデアリ
マスガ、公益事業トシテ將來取扱
ハレマス産業ノ範圍ト云フモノニ
付テ、大體ノ「アウトライン」ガ
決マツテ居ルナラバ、此ノ際御答
ヘ願ヒタイト思ヒマス

○**吉武政府委員** 此ノ第八條ニ掲
ゲテ居リマス公益事業ノ範圍ハ、
後ノ條文ニ關係シテ居ルヤウニ、
第三十七條等ノ拔打爭議ノ制限ト

云フコトニ重大ナ關係ガアル譯デ
アリマス、隨テ其ノ趣旨カラ之ヲ
考ヘナケレバナラナイト思フノデ
アリマス、是ニ於テモ公衆ノ日常
生活ニ缺クコトノ出來ナイト云フ
ハツノ棒ガアル譯デアリマス、隨
テ此ノ第二項ニ依テ指定スル場
合ニ於テモ、「業務ノ停廢が國民
經濟を著しく阻害し、又は公衆の
日常生活を著しく危くする事業」
ト云フヤウニナツテ居ルノデア
リマス、今御指摘ニナツタヤウ
ナ紡績ナドハ豫定致シテ居リマ
セヌ

○**土井委員** 更ニ細カイ問題デ恐
縮デアリマスガ、一年以内ノ期間
ヲ限ツテ公益事業トスルコトガ委
員會ニ於テノ決定ニ依レバ出來ル
ノデアルガ、例ヘバ一年間指定致
シテ、ソレカラ後又必要アル場合
ニ更新スルコトガ出來ルノカドウ
カ、言換ヘマセレバ、期間ノ點、
例ヘバ十二月三十一日ガ滿一年ノ
指定期間デアツタ、所ガソレヲ一
月措イテ、或ハ二月措イテ翌年ノ
一月ノ二日ナリ、三日ナリニ公益
事業トシテ指定スルコトニナレバ
公益事業ハ一年以内ノ期間ト云フ
コトニ限定サレテ居ルガ、二日カ
三日デ以テ更ニ一年ト云フコトニ
ナルト、永久的ニサウ云フコトガ
起リ得ル可能性モアルト思ヒマス
ガ、之ニ對スル見解ヲ御聽キ致シ
タイト思ヒマス

○**吉武政府委員** 是ハ例外トシテ

擴張スル譯デアリマスノデ、一應
一年ト云フコトニシテ、隨テ一年
經ツテ尙ホ必要アレバ更新スルコ
トモ出來マス、ソレハ其ノ時ノ事
情ニ依ツテ勞働委員會ガ判斷シテ
決メルコトデアリマス

○**達澤委員長** 土井君ニ一寸御諮
リ致シマスガ、厚生大臣ガ豫算委
員會ノ方ニ御用ガアリマスノデ、
二三十分間駄目デセウガ、政府委
員ノ方デ答辯ラシテ戴イテ居ツテ
ソレデ又歸ツテ來ラレテ答辯ラシ
テ戴クコトヲシテハ……
○**土井委員** 政府委員ダケデ宜シ
ウゴザイマス
○**達澤委員長** 他ニモマダ質問者
モアリマスノデ、大臣ニ關スル事
項ハ、大臣ガ戻ラレテカラシテ戴
キマス

○**土井委員** 二十三條ノ二項ニ依
リマス「調停委員會は、使用者
を代表する委員及び労働者を代表
する委員が出席しなければ、會議
を開くことはできない。」ト云フコ
トニナツテ居リマスガ、例ヘバ公
益事業ノヤウナ場合ニ於テ、調停
スルト云フ場合ニ於キマシテ、若
シ調停委員ノ一方ガ消極的ノ反對ノ
立場カラ、故意ニ出席シナイト云
フヤウナ場合ノ措置ハ、一體ドウ
云フ風ニ執ラレハ積リデアルカ、
御伺ヒシタイト思ヒマス
○**富樫政府委員** 調停委員ノ中、
一方ガ缺席致シマスレバ、コ、ニ
書イデアル通り調停委員會ハ流會

ニナル譯デアリマス、サウ云フ事
態ガ御話ノヤウナ事情デ何回招集
シテモ工合ガ悪いト云フヤウナ見
透シガ付キマスレバ、調停委員ノ
人選替ヘヲヤルコトニ形式上ナル
ト思ヒマスガ、併シ實際問題トシ
テ、勞働委員會ト云フモノハ、或
ハ勞働委員會ノ委員ト云フモノ
ハ、公正ナ調停ニ付テ審議ニ當ル
ト云フ義務ヲ持ツテ居ルカラ、初
メカラ審議ヲ忌避スルト云フヤウ
ナコトハアリ得ナイト私共信ジテ
居リマス

○**土井委員** 固ヨリ私モ初メカラ
是等ノ人々ガ出席シナイト云フコ
トハ考ヘテ居ラナイノデアリマ
ス、唯公益事業デアリマスカラ、
或ル一定期間ダケハ「ストライキ」
ヲ拔打的ニヤルコトガ出來マセヌ
カラ、或ル期間ガ限ラレテ居ルノ
デアリマス、例ヘバ此ノ法案ニ依
レバ三十日ト云フコトニナツテ居
リマス、ソコデ一回々々ノ委員會
ニ於キマシテハ、ソレハ「出マス
ルケレドモ、利害關係ガ非常ニ隔
タツテ居ル、或ハ又委員會ニ出席
スルコトガ、一方ガ考ヘテ全面的
ニ不可能ダト云フヤウナ場合ガア
リマスルナラバ、勢ヒ消極的ノ反
對ノ立場ニ於テ出席シナイト云フ
場合ガアリ得ルト思フ、サウ云フ
場合ニ於キマスル措置ニ明確サガ
ナケレバ、委員會ガ流レテシマ
ツテ、期間ガ三十日マデ來デシマ

フ、サウシテ「ストライキ」ヲヤ

リ得ルト云フコトニナレバ、此ノ
調停ノ趣旨ニ反スト云フ現象モ
生レテ來ルコトモ考ヘナケレバナ
ラナイ、サウ云フ點ニ付テハドウ
カト云フコトデアリマス

○吉武政府委員 今ノ御話ノヤウ
ナコトガナイトモ限リマセヌケレ
ドモ、大體爭議ト云フモノハ、ツ
ノ條件ヲ主張シテ、ソレガ容レラ
レナイ時ニ起ル問題デアリマスカ
ラ、調停モ双方ノ意見ヲ公正ニ納
マルヤウニ持ツテ行カナケレバナ
ラヌト思ヒマス、極端ナ例ヲ取ル
ナラバ、調停ガ一方のデアアルナ
ラ、ソレハ片方モ不滿デアラウ
シ、隨テ今御話ニナリマシタヤウ
ナコトモ起ラナイトモ限リマセヌ
ケレドモ、ソコニ公正ニ調停委員
會ガ動キマスナラバ、若シ爭議
スル方ニ於テ、初メカラ主張ハシ
タケレドモ、ソレハ問題デナイノ
ダ、唯爭フダケダト云フコトデア
レバ、是ハ何ヲカ言ハンヤデアリ
マスガ、主張ヲ貫徹スルト云フコ
トデアレバ、其ノ主張ヲ合理的
ニ取上ゲテ解決スルト云フコトハ
ナイノデハナイカト存ジテ居リ
マス

特ニ國營事業ニ從事スル勞働者、
官公吏ニ對シマスル所ノ待遇上ノ
問題デアリマス、御承知ノ通り國
營事業ニ從事スル所ノ官吏ノ諸君
ハ、「ストライキ」ヲ禁止サレテ居
ルノデアリマス、而モ是等ノ所謂
官吏ノ中ニハ、是ハ極メテ露骨
ナ、率直ナ意見デアリマスガ、役
得ト云フモノガ相當アルノデアリ
マス、假リニ鐵道ノ場合ニ於テ
ハ、鐵道ノ官吏或ハ從業員ハ全部
只デ何處ヘデモ乘ツテ行ケルト云
フ特典ガアルノデアリマス、今日
ノヤウナ鐵道運賃ノ非常ニ高イ時
ニ於テハ、此ノ役得ハ龐大ナルモ
ノニナツテ居ルコトハ想像ニ難ク
ナイノデアリマス、殊ニ買出し其
ノ他ニ於テ極メテ利便ヲ得テ居ル
ト云フコトガ考ヘラレルノデアリ
マス、所ガ遞信省等ニ働イテ居ル
諸君ハ、私ハ餘リ詳しく知りマセ
ヌガ、役得ハナササウニ考ヘラレ
ル、專賣局ニ働イテ居ル人ニ於テ
モサウデアリマス、斯ウ云フコト
ハ、待遇上ニ於ケル表面賃金ノ上
カラ見レバ平等化サレテ居ルガ、
役得上カラ見レバ、極メテ不平等
ナル形ガアルト云フコトガ考ヘラ
レルノデアリマス、ソコデ官吏ニ
對シマスル是等ノモノノ全體ヲ考
ヘマシテ、綜合的ニ官吏ニ對スル
所ノ待遇ノ改善トカ、調査トカ、
研究トカ云フモノハ、恐ラク經濟
安定本部ニ於テヤツテ行カレルノ
デハナイカト考ヘテ居ルノデアリ

マスガ、膳國務大臣ハ明快ナル答
辯ヲ避ケラレテ居ツタノデアリマ
ス、ソコデ厚生省ト致シマシテ、
其ノ所管事務デアル是等ノ人々ノ
待遇上ノ問題ニ付テ「アンバラ
ンス」ヲ是正スルヤウナコトニ付
テノ何カ適當ナ對策ヲ御持チニナ
ツテ居ルカ、此ノ點ヲ伺ヒタイノ
デリマス

○吉武政府委員 只今ノ御意見ハ
御尤モナ御意見ダと思ツテ居リマ
ス、其ノ點ニ付キマシテハ、政府
ト致シマシテモ、先般大藏省內ニ
給與局ヲ設置致シマシテ、從來主
計局ノ一課ノ一部門ニ於テ取扱ツ
テ居リマシタモノガ、一躍一ツノ
局ヲ作ツテ各官廳間ノサウ云フ給
與ノ調整ナリ或ハ又待遇上ノ改善
ニ付テ專ラ干涉スルト云フ機構ガ
出來タ位デアリマス、併シ是ハ役
所ノ機構デアリマシテ、是等ニ付
テ所謂官吏其ノ他ノ意見ガ反映ス
ルヤウナ方法ヲ考ヘルコトハ、至
極ク必要ナコトデアラウト存ジテ
居リマシテ、我々モ又ソレニ努力
致シタイト存ジテ居リマス

○土井委員 大藏省ニ給與局ガ設
ケラレタト云フコトニ付テ私モ其
ノ點ニ付テ研究シタノデアリマス
ガ、更ニ之ヲ役所全體ト致シマシ
テ、纏ツタモノトシテ所遇局ト
カ、所遇委員會ト云フモノヲ作ル
必要ガアルノデハナイカ、又其ノ
委員會ヲ構成スル上ニ於テモ、此
給與局ノ中ニハ勞働階級、例ヘバ

ソレノ各省內ニ於テ構成サレ
テ居リマス所ノ官吏ノ組合ノ代表
者ガ參加シテ居ルカドウカ、此ノ
點ヲ聽キタイノデアリマス

○吉武政府委員 今申シマシタ給
與局ト云フノハ、是ハ役所ノ機構
デアリマスノデ、サウ云フ組合ノ
幹部ヲ人レルカドウカト云フ組織
デハアリマセヌ、只今ノ御主張ニ
ナリマシタノハ、サウ云フ所決
メル場合ニ、組合其ノ他ノ意見ガ
反映スルヤウナ方法ヲ講ジタラド
ウカト云フ御趣旨デアラウト思ヒ
マス、ソレハ別途サウ云フ意見ガ
反映スルヤウナ方法ヲ考ヘレバ宜
イコトデアリマシテ、給與局ノ中
ニ必ズシモ人レル必要ハナイと思
ヒマス

○土井委員 給與局ガ最モ公正妥
當ナル官吏ノ待遇問題ヲ決定スル
コトノ爲ニ、別ニ委員會ヲ構成ス
ルト云フヤウナ意圖ガアルカドウ
カ、ソレカラ若シサウシタ委員會
ヲ作ル場合ニ於キマシテハ、單ニ
ソレニ關聯アル所ノ從業員、或ハ
官吏ノ組合ノ代表者ノミヲ人レル
ト云フコトデナクテ、モツト遠ツ
タ角度カラ、即チ全國的ナ勞働團
體ノ代表者ナリ、或ハ又別ニ第三
者ナ學識經驗アル者等ヲ入レマ
シテ、公正妥當ナル所ノ委員會ノ
構成ニ依ツテ、官吏ノ待遇問題ニ
付テ、少クモ官吏ノ諸君ガ「スト
ライキ」ヲヤルコトガ出來ナイト
云フ立場ニ置カレテ居ルコトヲ考

ヘマシテ、極メテ公正ニ官吏ノ身
分ヲ保障スル、生活權ヲ確保スル
ト云フ立場ガ必要デナイカ、御承
知ノ通り今マデノ官吏ト云フモノ
ハ所謂官吏ト云フ一ツノ名稱ニ依
ツテ、ソレガ爲ニ安イ所ノ賃金
ト、惡イ所ノ待遇ニ甘ンズルコト
ニナツテ居ツタノデアリマス、典
型的ニ其ノ點ハ日本ノ官吏ガ國家
ニ大イニ貢獻シテ居ツタト云フコ
トガ言ヒ得ルノデアリマスガ、併
シ將來ハ官吏ト雖モ一般ノ人々ト
同等ノ待遇、或ハ同等以上ノ待遇
ヲシナケレバラスト云フコトハ
當然デアリマス、斯ウ云フ建前カ
ラ考ヘマシテ下級官吏諸君ニ對ス
ル待遇上ノ問題ニ付キマシテハ、
公正妥當ナル委員會ヲ作りマシテ
其ノ決定ヲ參酌シテ行ク、内閣ノ
下ニ或ハ處遇委員會ナリ、或ハ待
遇委員會ナリ、斯ウ云フモノヲ作
ツテ、之ニ依ツテ問題ノ決定ヲ見
テ行ク必要ガアルト思ヒマス、此
ノ點ニ對スル見解ヲ御聞カセ願ヒ
タイト思ヒマス

○吉武政府委員 只今ノ御意見極
メテ貴重ナ御意見デアルト存ジマ
シテ、私共モ十分參考ニ致シタイ
ト存ジマス

○土井委員 尙ホ御質問致シタイ
點ガアリマスルガ、大藏省關係ノ
モノガ二、三殘ツテ居ル程度デア
リマスノデ、ヒト先ツ厚生省ニ對
スル質問ヲ打切りマス

○蓬澤委員長 村上君ニ御諮リ致

シマス、簡單デアリマスレバ繼續シテ載キタイト思ヒマスガ……

○村上委員 簡單デアリマス

○邊澤委員長 ソレデハ御繼續願ヒタイト思ヒマス、大臣ニ對スル答辯が必要デアリマシタラ大臣ガ戻ラレマスカラ其ノ際ヤツテ載キマス

○村上委員 本案ニ付キマシテハ、各委員カラ大變熱心ニ論議ガ繰返ヘサレタノデアリマスカラ、私ハ簡單ニ二、三ノ點ニ付テ政府ニ御尋ネテ致シタイト思ヒマス、先ヅ其ノ第一ハ、本會議ニ於ケル文部大臣ノ御説明ノ中ニ、教育者ハ其ノ職務ノ性格ニ鑑ミテ罷業ヲ行フコトハ好マシクナイ、唯之ヲ法律ニ其ノコトヲ規定スルコトハ適當ナラストシテ、政府ハ本法ニ於ケル爭議禁止ノ業務ノ項カラ除外シテ、教育者ノ自肅ニ俟ツコトニシタトノコトデアリマス、同様ナコトハ官公吏ニ付キマシテモ言ヒ得ルト私ハ思ヒマス、即チ官公吏ニ付テモ、官公吏自身ノ自肅ニ依ツテ爭議ヲ避ケルコトトシテ、本法ノ禁止業務ノ項カラ創除スルコトガ適當デアルト思フガ如何デセウカ、此ノコトヲ主張スル他ノ理由ハ、假ニ法律ニ依ツテ爭議ヲ禁止シタト致シマシテモ、事實上「サボタージュ」ヲ行フコトニナレバ、ドウニモナラヌノデアリマス、況シテ官公吏ノ「サボタージュ」ハ其ノ仕事ノ性質上中々認

識スルコトガ出來難イカラデアリマス

第二ハ本案制定ハ一方的デアルト稱ヘル反對論者ノ聲ニ呼應致シマシテ、此ノ聲ニ依ツテ起チ上ル從業者ノ、所謂勞働者ノ精神的影響ニ付テドウ云フ御考ヘヲ持ツテ居ラレカ

第三ハ企業者、即チ經營者ト從業者トノ間ニハ、從來ノ感覺ニ依リマスレバ唯單ニ一本ノ線ヲ引イテ居ツタト云フ位デナクテ、洵ニ深い溝デ隔テラレテ居タヤウニ思フノデアリマス、此ノ溝ヲ埋メ戻シテ、厚生大臣ノ言ハレマシタヤウニ一本ノ線ニスル爲ニハ、其濟勞資ノ精神的結合ヲ圖ラナケレバナナナイト思ヒマス、此ノ點ニ付キマシテ企業者ノ經營方針モ相當切換ヘナケレバナナナイト思ヒマスガ、政府當局ハ如何ナル御考ヘヲ持ツテ居ラレマセウカ、固ヨリ企業ノ運営ニハ、選舉ノ場合ニ於ケル如キ多數決主義ノ觀念ヲ持込ムコトハ間違ヒデアリマス、企業ニ於ケル經營者ト從業者ノ立場ニハ自ラ秩序ガナケレバナナナイコトハ世界何レノ國ニ於キマシテモ同様デアリマス、隨テ經營者ハ指導ノ立場ニ立ツテ全責任ヲ負フ義務ガアリマス、從業者ハ此ノ指導ノ下ニ働ク責任ヲ負フ者デアリマス、此ノ意味ニ於キマシテ、所謂生産管理ハ企業ノ秩序ヲ破ルガ故ニ私ハ賛成出來難イノデアリマ

ス、併シナガラ單ニ秩序ヲ立デルト云フコトダケデハ十分デアリマセヌ、兩者ハ常ニ一體の平等感ヲ味ハヒツ、仕事ヲスルノデナケレバナリマセヌ、此ノ點ヲ忘レテハ如何ナル法規モ産業ノ平和的發展ヲ實現スルコトハ出來ナイノデアリマス、私ノ體驗ニ依リマスレバ、爭議ノ絶無ヲ圖リ生産ノ増強ヲ圖ル爲ニハ、經營者ノ指導ガ人格的ニモ亦道德的ニモ尊敬スベキカ否カニ依ツテ決マルト思ヒマス（ヒヤ、其ノ通り）ト呼ブ者アリ、我々日本人ハ血ノ氣ハ多イガ情ニハ洵ニ脆イモノデアリマス、故ニ經營者ハ從業者トノ間ニ常ニ溫カイ血ノ通ヒヲ持タナケレバナリマセヌ、特ニ經營者ノ常住坐臥銘記スベキコトハ、從業者ノ幸福ノ爲ニハ自己ノ身命ヲ賭シテモ敢テ辭セヌ覺悟ガナケレバナリナイノデアリマス、ソコニハ如何ナル法案モ一片ノ反古ニ等シイモノデハナイカト私ハ思フノデアリマス、私ハ二十年來經營者ノ立場カラ常ニ數百數千ノ勞働者ヲ指導シテ來マシタガ、只今マデ一回モ爭議モナク小サナ討論ノ如キモノモ何モアリマセヌ、常ニ和氣霽々トシテ今日ニ至ツテ居リマスガ、此ノコトハ極ク簡單デアリマス、決シテ自慢スベキモノデハナイデセウガ、私ハ日夜神ニ感謝シ、從業者ニ感謝スル、ソレハ主從ノ深イ縁デアルト云フコトハ、此ノ廣

イ世ノ中ニ何カノ因縁デナケレバ結ブコトノ出來ナイモノデアルト思フカラデアリマス、隨テ山ノ臨時小屋ノ中デモ彼等ニ數クベキ疊ガナクテ板ノ間デ寢ル時ニハ私モ其ノ板ノ間デ寢ル、彼等ニ吊ルベキ蚊帳ガナイ時ニハ自分モ蚊ニ食ハレテ寢ルト云フヤウナ氣持デ、或ル者ガ病氣ニナレバ自分ノ肉親ノヤウナ氣持デオ世話ヲスル、斯ウ云フ常ニ溫カイ血ノ通ヒト強イ結合サヘアレバ、絶對ニ爭議ナド起ルモノデハアリマセヌ、經營ニ參加セズトモ、生産管理ヲシナクテモ、從業者ハ自分ノ從事シテ居ル仕事ニ付テハ、其ノ經濟狀態ハ大體ニ知ツテ居リマス、併シナガラ經營者ガ個人的欲望ニ汲々トシテ、從業者ノ幸福ヲ顧ミズ經營ヲ續ケテ居ル場合ニハ、必然的ニ爭議モ起リマセウ、併シ其ノ場合ニドンナ立派ナ強イ法律ガアリマシテ、之ヲ調整出來タトシマシテモ、ソレハ唯一時的ノ痛ミヲ抑ヘタ「モルヒネ」注射ノ役ニシカナラナイト私ハ思ヒマス、其ノ次ニ來ル最も恐ルベキ勞働「サボ」ヲ拂拭スルコトハ到底出來ナイノデアリマス、故ニ私ハ爭議ヲ未然ニ防グ爲ニハ企業者ノ道義的、人格的經營方針ヲ喚起セシメナケレバ再建日本ノ平和的産業ノ發展ハ期シ得ラレナイト思ヒマス、以上三ツノ點ニ付キマシテ政府當局ノ御考ヘヲ伺ヒタイノデアリマス

○吉武政府委員 御答ヘヲ申上ゲマス、第一點ノ教職員ニ付テ爭議權ヲ奪ハナイデ専ラ自肅ニ俟ツコトニシタト云フ文部大臣ノ御答辯デアツタガ、一般官吏ニ付テモ同様ニ考ヘタラドウカト云フ御話デアリマスガ、實ハ官吏ノ爭議權ニ付テ制限ヲ加ヘマシタノハ、屢々申シマシタヤウニ國家ノ行政、司法重要ナ國務ノ遂行ニ支障ガアツテハナラナイト云フ所デ公共ノ爲ニ已ムヲ得ズ設ケテ制限デアリマス、教育モ其ノ性質上重要デアリマスルケレドモ、若シ假ニ教育事務ガ一時停頓致シマシテモ、ソレハ國家ノ國務ノ遂行ガ直チニドウナルト云フ譯デハゴザイマセヌ、此ノ爭議權ハ新憲法ニ於テモ認メラレテ居ル所デアリマシテ、出來ルダケ制限ハ少クシタイノガ趣旨デアリマスノデ、教育者ニ付テハ制限ヲ設ケナカツタノデアリマス、此ノ點ハ多少性質ヲ異ニ致シテ居リマスノデ御諒承ヲ載キタイト思ヒマス

第二ニ、本案ニ勞働者ガ反對ヲシテ居ルノダガ勞働者ニ與ヘル影響ハドウカト云フ御質問デゴザイマス、是ハ厚生大臣モ屢々申シテ居リマスヤウニ、私共ト致シマシテハ實ハ甚ダ遺憾ニ存ジテ居リマス、此ノ法律ハ今勞働組合アタリデ唱ヘラレテ居ル如ク決シテ彈壓ノ法律デアルトハ存ジマセヌ、是ハ先般山下委員カラ御質問ガアリ

マシタ時モ私ガ續ニ御話申シマシ
タヤウニ、本法律ノ建前ハ、爭議
ガ起ツタ時如何ニシテ之ヲ公正ニ
解決スルカト云フ一ツノ仕組ヲ
考ヘテ居ルノデアリマス、其ノ外
ハ公益事業ニ付テ拔打爭議ヲサセ
ナイヤウニト云フコトト、今御話
ノ官吏ニ付テ爭議ノ制限ヲシタダ
ケデアリマス、一般ノ勞務者ニ付
テハ制限ヲシテ居ナイノデアリマ
ス、併シナガラ是ガ趣旨ノ徹底ヲ
缺イテ居ル爲カ全面的ニ此ノ法律
ガ彈壓デアルカノ如キ印象ヲ與ヘ
ラレテ居リマスコトハ私共ノ趣旨
ノ徹底ヲ缺イタ爲ト存ジテ居リマ
スガ、本案ニ付キマシテハ今後機
會アル毎ニ其ノ趣旨ヲ闡明ニ致シ
マスルナラバ、必ズヤ勞働者ノ間
ニ諒解シテ戴ケルモノト私共ハ信
ジテ居ル次第デアリマス

第三ノ、從前ノ經營者ガ動モス
レバ自己本位ニ陥ツテ相手方ノ人
格ヲ認メナイ、企業權ト勞働權ト
ノ間ハ唯一線アルノミデアリナイ、
深イ溝ガアツタヤウデアルト續キ
御話ガアリマシタ、私共サウ云フ
點ガナカツタトハ存ジマセヌ、企
業權ト勞働權トノ關係ニ付キマシ
テハ、是亦厚生大臣ガ屢ニ述ベテ
居ラレマスルノデ茲ニ私ハ繰返シ
タクゴザイマセヌガ、只今委員ノ
御話ノ如ク、今後ノ産業ガ企業者
ト勞働者トガ相協力シテ行カナケ
レバナラスト云フコトハ御話ノ通
リデアリマス、私共全ク同感デア

リマス、終戦後ヤハリサウ云フ輿
論ガ一般ニアリマシテ、産業民主
化ノ聲ガ高ク、現在數多ク經營協
議會ナルモノガ設ケラレテ既ニ行
ハレツ、アリマス、是等ノ經營協
議會ニ於テ事業主ガ勤勞者ノ創意
ヲ十分ニ汲入レ、サウシテ一體ト
ナツテ企業ヲ運營サレンコトヲ私
ハ衷心ヨリ希望スル次第デアリマ
ス、尙ホ經營ニ當ツテ經營者ガ道
義ノ上ニ立チ、サウシテ勤勞者ノ
人格ヲ認メテ行カナケレバナラス
ト云フコトニ付キマシテハ是亦私
共モ全ク同感デゴザイマス

○村上委員 有難ウゴザイマシ
タ、之ヲ以テ打切りタイト思ヒ
マス

○邊澤委員長 ソレデハ今日ハ此
ノ位ニシテ閉會致シタイト思ヒマ
スルガ、此ノ際委員諸君ニ一言申
上ゲテ置キタイト思ヒマス、大體
質疑者ノ通告ハモウ三、四殘ツテ
居リマス、關聯質問モ三、四アリ
マス、隨ヒマシテ來ル五日ノ月曜
日ヲ以テ大體質疑ハ打切りタイト
思ヒマス、是ハ先般ノ理事會デノ
申合セガ恰モ實現スルヤウニナツ
テ居リマス、質疑ノ通告ト云ヒ、
關聯質問ノ残り數ト云ヒサウナツ
テ居リマス、隨テ各黨派ニ於カセ
ラレマシテハ質問者ノ方々ヲ是非
五日ニハ出席シテ戴クヤウニ御願
ヒ致シマス、御出席ガアリマセヌ
ト機會ヲ失フコトニナリマスカ
ラ、特ニ各黨派ノオ方ニ御願ヒ致

シテ置キタイト思ヒマス、本日ハ
之ヲ以テ散會致シマス

午後四時八分散會

昭和二十一年九月六日印刷

昭和二十一年九月七日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局